ダイハツ工業株式会社

YEFM0413312A

ダイハツ純正

SDナビゲーション

取扱書

ダイハツ純正

SDナビゲーション

「NSZN-Y71DS」
「NSZN-Y71D」
「NSZN-X71D」
「NSZN-W71D」

取扱書

保証書別添付

■この取扱書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全のために」(P.4～7) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

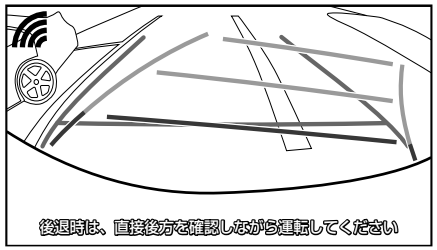
■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。

ダイハツ工業株式会社

主な特長

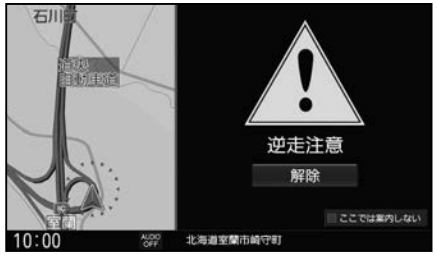
駐車サポート機能

別売のバックモニター・パノラマモニターおよび車両のコーナーセンサーと連携し、後退時に障害物を検知すると、障害物の方向と距離を、の表示とブザー音で案内します。



逆走注意アラーム・逆走警告

SA/PAに駐車してエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。
また、万一高速道路や料金所などを逆走していると検知したときは、逆走のおそれがある旨を表示と音声で警告します。



ボイスコマンド

よく使う機能が、画面を見たりボタンを操作することなく、ボイスコマンドを発声するだけで操作できます。(一部操作のみ)

無償地図更新

新しい道路が開通した場合などに、お客様自身で本機に収録の地図を5年間無償で更新する事が出来ます。

- **部分地図更新：最大5年間可能**
- **全地図更新：期間中2回可能**

※パソコンでインターネットを利用できる環境が必要です。また、ユーザー登録が必要となります。(P.162)

本書の読みかた

- 本書では、NSZN-W71Dを例に説明しています。
- 機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。
  NSZN-W71D / NSZN-X71D / NSZN-Y71D / NSZN-Y71DS
- タッチキーとナビゲーションユニットのボタンを、下記のように描き分けています。
  例：案内スタート 決 定：タッチキー
  ：ナビゲーションユニットのボタン
- NSZN-Y71D のみ、が タッチキーになっています。
  本書の をタッチキーに読み替えてください。
- 本書では、ダイハツ純正 オプション品と、純正用品以外のオプション品を、下記のように区分しています。
  ・**別売**：ダイハツ純正 オプション品
  ・**市販**：純正用品以外のオプション品

もくじ

安全のために 4

はじめに P.8

使用上のお願い....8
各部のなまえとはたらき....10
ステアリングスイッチの設定をする....12
タッチパネルの操作について....14
ご使用になる前に....15
基本操作・準備(確認・調整)....16
取り付け・配線の確認....20
初期設定をする....22
メニュー画面の操作....26
セキュリティ機能を設定する....29

ナビゲーション P.32

地図の紹介....34
地図の見かた....38
ランチャーメニューで操作する....42
ルート・案内・地図・VICSをアレンジする
(ナビチューン)....44
地図の操作....46
行き先までのルートを作るには....54
行き先を探す....56
ルートを探索する....60
全ルート図から設定・確認する....61
ルートを編集する....63
ルートを保存する....65
ルート探索について....66
ルート案内中に....68
注意案内表示の案内....71
逆走注意アラーム・逆走警告....72
地点を登録する(登録地)....73
VICS情報を見る....78

オーディオ P.84

オーディオの基本操作....86
テレビを見る....88
ラジオを聞く....95
交通情報を聞く....96
ディスクを再生する....97
BLUETOOTH Audioを再生する....103
SDメモリーカードに音楽CDを録音する....104
本機で録音した音楽データを再生する....106
本機で録音した音楽データを編集する....107
SDメモリーカード・USBメモリーを
再生する....114
iPodを再生する....120
音質・音場を調整する
(オーディオチューン)....122
映像を調整する....128
現在地画面にオーディオ映像を表示する....129

BLUETOOTH® P.130

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する....132
BLUETOOTH対応機器を
本機に割り当てる....134
BLUETOOTHの接続設定をする....135
スマートフォン連携で使用するアプリを
選択する....135
BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る....136
本機の本体情報を見る....137
ハンズフリーで通話する....138
NaviCon®を利用する
(スマートフォン連携)....142
スマートフォンをリモコンとして使う
(スマートフォン連携)....144
ダイハツコネクトを利用する
(スマートフォン連携)....145

その他 P.146

音声認識機能について....148
Drive T@lkerで目的地を検索する....149
ボイスコマンドで本機を操作する....152
エコ機能を使う....154
メンテナンス情報を設定する....158
運転アシスト機能を利用する....160
地図更新について....162
ETCシステムと組み合わせる....164
ドライブレコーダー使用時のお願い....168
ドライブレコーダーと組み合わせる....170
ドライブレコーダー
(1チャンネル　ナビ連動モデル)
について....180
バックモニター・パノラマモニター
使用時のお願い....183
障害物検知表示....185
バックモニターの映像を見る....186
パノラマモニターの映像を見る....188
後席モニターと組み合わせる....189
ビデオカメラなどと組み合わせる....190
利用に応じた設定に変える....191
よくあるお問い合わせ....198
故障かな!?....199
文字入力のしかた....214
ディスクについて....215
お手入れ....217
SDメモリーカード・USBメモリーについて....218
データ作成時の留意点....219
ナビゲーションシステムとは....223
BLUETOOTHについて....226
DVD言語コード一覧表....227
VICSについて....228
地図ソフトについて....230
ジャンル一覧....234
さくいん....236
商標などについて....240
ソフトウェア、および
オープンソースソフトウェアについて....242
仕様....244
アフターサービスについて....246
無償地図更新サービスのご案内....247

DAIHATSU SDナビゲーション

このたびはダイハツ純正SDナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
本書は紛失しないよう車の中に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

本機は、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。
案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがうとともに道路状況に即した運転を心がけてください。
規制標識の変更などにより目的地案内で表示されるルートは、車両進入禁止などのルートを案内する場合があります

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
⚠ 注意	記載事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。
お知らせ	快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。
お願い	安全にご使用いただく上で守っていただきたいことを記載しています。

安全のために

⚠ 警告

- **本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。**
  不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。
  本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。
- **必ず規定容量のヒューズをご使用ください。**
  規定容量を超えるヒューズを使用すると発煙・発火、故障の原因になります。
  ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- **SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。**
  誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。
  万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

⚠ 警告

- **走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。**
  安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
  操作は安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で行ってください。
  走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
  なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。
  走行中は一部の細街路を消去します。
- **運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。**
  安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- **実際の交通規制を守ってください。**
  本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。
  また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。
  実際の交通規制を必ず守って運転してください。
- **ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを抜き差しするときは、ドライブレコーダー本体の温度を確認してください。**
  高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。
- **通電中のドライブレコーダー本体に長時間直接触れて使用しないでください。**
  低温やけどの原因になることがあります。

⚠ 注意

- **モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。**
  手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。
  また、エンジンを切るとモニターは自動で全閉状態になります。
- **車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。**
  車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因になります。
- **画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。**
  事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。
  また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。
- **本機を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。**
  本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。
- **バッテリーあがりにはご注意ください。**
  エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。
  バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

⚠ 注意

●車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。
冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。
そのまま使用すると故障の原因になります。

●ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。

本機ではFM多重放送のVICS情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。
モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車種設定にてモーターアンテナ車に設定してください。(P.22)
モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。
駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ずオーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。
アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

●AT車/CVT車の場合

- ディスクを取り出す際、Pレンジでモニターとシフトレバーが接近または干渉する場合は、指などを挟むおそれがありますので、Nレンジに切り替えてから操作してください。(コラムATの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

●MT車の場合

- ディスクを取り出す際、1・3・5(R)ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。
- チルト位置を設定する際、1・3・5(R)ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

●プログラム読込みが終了するまで電源を切らないでください。

バッテリーとの接続が断たれた場合や、電圧が下がった場合には本機にダウンロードされているプログラムが消去されてしまいます。この場合には次回起動時の初期画面(オープニング画面)表示中に、再度プログラムのダウンロードが行われます。
プログラム読込みが終了するまでしばらくそのままお待ちください。
プログラムの読込み中に電源が断たれますと、ナビが起動しなくなるなど思わぬ故障の原因になります。

●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。

故障の原因になります。

●サンバイザーやルームミラーの調整時、車種によってはドライブレコーダーに干渉する場合があります。その際、加えた衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音が鳴る場合があります。また、ドライブレコーダーに無理な力がかかると、故障や落下などの不具合が発生するおそれがありますので、ご注意ください。

お知らせ　お願い

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーを外しておいた場合などには、自車の現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。
このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。
何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。
しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

●タッチパネルについて

本機の画面に市販の液晶保護フィルムを貼り付けると、タッチスイッチが反応しなくなる場合がありますので使用しないでください。

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。
ご購入後、お客様が本機に記録される情報内容やデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとったりバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。
②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。
③本機の故障・修理に際し、お客様が本機に記録された情報内容やデータなどが変化・消失した場合。

＊なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

使用上のお願い

車のエンジンをかけてご使用ください

- エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。なお、アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例等に従ってください。

他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 電話の位置や向きにより、映像や音声などに不具合が生じることがあります。その場合は、本機からの距離などを変えてご使用ください。

液晶ディスプレイについて

- 先端が尖ったものや硬いもの(ペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また、たたいたり、強く押さないでください。傷や破損、誤動作の原因となります。
- 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 市販の液晶保護シートを使用しないでください。視認性や操作性が損なわれる場合があります。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。
  そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報(登録地の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。
  当社は一切の責任を負いかねます。
- 番組表などの地上デジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合により、これらの情報が消失した場合、復元できません。また、その内容の補償はできません。
- **次の場合、補償はできません。**
  - **・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合**
  - **・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合**

大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品はコピー防止技術を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- **本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。**

地図SDHCメモリーカードについて

- 本地図SDHCメモリーカードは、使用規定に基づき本機のみで使用する権利が許諾されています。他のナビゲーションに挿入されていた地図SDHCメモリーカードを本機に挿入して使用した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

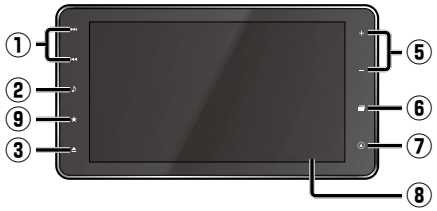
地上デジタル放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニターへ出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式*を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

＊コンテンツ権利保護専用方式は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式です。詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター
http://www.trmp.or.jp/

各部のなまえとはたらき

NSZN-Y71DS

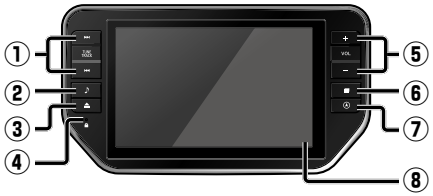


車のエンジンを止める(ACCをOFFにする)と、ボタン照明が消灯し、見えなくなります。

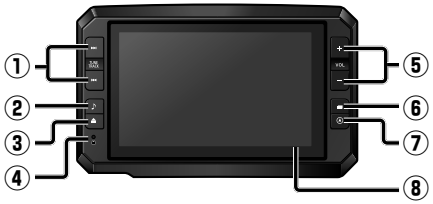
NSZN-Y71D

車のエンジンを止める(ACCをOFFにする)と、ボタン照明が消灯し、見えなくなります。

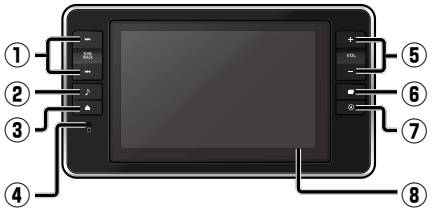
NSZN-X71D MOVE



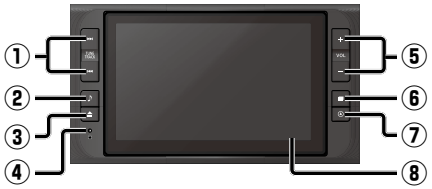
NSZN-X71D WAKE



NSZN-X71D CAST



NSZN-X71D MOVE canbus

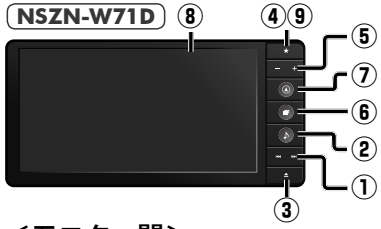


※車種によっては、販売を終了している場合があります。

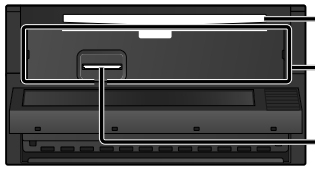
お知らせ

- ハンズフリー通話、音声認識用のマイクは、車室内に外付けで設置されています。

NSZN-W71D



<モニター開>



例：NSZN-W71D

ディスク挿入口

パネルを取り外すと、地図SDHCメモリーカード挿入口(P.163)があります。

SDメモリーカード挿入口

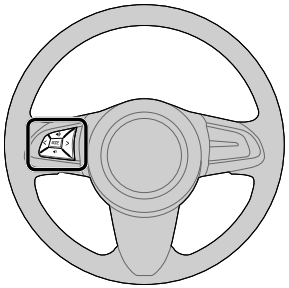
- 付属または別売のSDメモリーカード(P.114、218)を挿入する。

①	⏮⏭ (チューン/トラック)	DVD CD MEMORY MUSIC USB SD BLUETOOTH Audio iPod	● 頭出し ● 早送り・早戻し(押し続ける)
		FM AM	● 選局する ● シーク選局(1秒以上押す)
		TV	● 選局する ● 連続選局(押し続ける)
②	♪ (オーディオ)		● オーディオ画面に切換 ● オーディオメニューを表示 ● オーディオOFF/ON(2秒以上押す)
③	▲ (チルト/イジェクト)		● チルト/イジェクト画面の表示・消去 ● モニターを閉じる
④	セキュリティインジケータ		● セキュリティ機能の設定をすると、お車を離れた際に点滅し、盗難を抑止します。
⑤	VOL(ボリューム)		● 音量を調整
⑥	(メニュー)		● ツートップメニューを表示 ● 画質調整画面を表示(2秒以上押す)
		DVD	● タッチキーを表示(タッチキーを表示していないときに押す) ● ツートップメニューを表示(タッチキー表示中に押す)
⑦	(現在地)		● 自車位置(現在地)を表示 ● 音声認識を開始(2秒以上押す)
⑧	タッチパネル		● タッチ操作時に使用
⑨	★(オプション) NSZN-Y71DS NSZN-W71D ● オプションボタンの設定によって、右記の機能を割り当てることができます。(P.25)		● 自宅までのルートを作る(P.58) ● カメラ画面切換*1(P.188) ● ドライブレコーダー画面を表示する*2(P.170) ● Drive T@lkerを起動する(P.149) ● ボイスコマンド一覧を表示する(P.153)

＊1 別売のパノラマモニター接続時のみ
＊2 別売のドライブレコーダー接続時のみ

ステアリングスイッチの設定をする

純正ステアリングスイッチを装備している場合、お買い上げ時に、下記のオーディオ操作がステアリングスイッチに設定されております。



MODE（モード）	●オーディオを切り換える（オーディオの切り換えについて→P.86） ●一時的に消音する（2秒以上押す）	
(VOL UP)（ボリューム アップ） **(VOL DOWN)**（ボリューム ダウン）	●音量を調整	
＞(TRACK UP)（トラック アップ） **＜(TRACK DOWN)**（トラック ダウン）	DVD CD USB SD MEMORY MUSIC BLUETOOTH Audio iPod	●曲・チャプター・ファイルの頭出し
	DVD CD USB（動画） SD（動画） BLUETOOTH Audio iPod	●早送り・早戻し（押し続ける）
	USB（音楽） SD（音楽） MEMORY MUSIC	●フォルダ・アルバムの頭出し（1秒以上押す）
	FM AM	●選局する ●シーク選局（1秒以上押す）
	TV	●選局する ●連続選局（押し続ける）
（電話に出る/切る）	●電話に出る（着信中） ●電話を切る（通話中）	
＊（音声認識）	●Drive T@lkerを起動する	

お知らせ

●車種やグレードによっては、操作可能な機能やボタン表示などが異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 情報・設定メニュー（P.26）から **システム設定** を選ぶ

2 システム設定画面から **ステアリングスイッチ** ▶ **OK** を選ぶ

3 設定したい機能を選ぶ

割り当て可能な機能	対応する本体ボタン/タッチキー
VOL UP	＋ 大
VOL DOWN	－ 小
MUTE	—＊1＊2 オーディオの音声を一時的に消音
	電話に出る 電話に出る（着信中） ● 通話中に押すと、電話が切れます。（電話を切る）
	電話を切る 電話を切る（通話中）/電話に出ない（着信中）
TRACK UP	▶▶| 次へ
TRACK DOWN	|◀◀ 前へ
カメラ	★＊3＊4 ● パノラマモニターの画面に切換 ● パノラマモニターの表示を切換
MODE	—＊1 オーディオの種類を切換（切り換わりかた→P.86）
音声認識	/★＊3＊5 Drive T@lkerを起動する
現在地	Ⓐ 現在地画面に切り換える
広域	広域 縮尺を広域に切り換える
詳細	詳細 縮尺を詳細に切り換える

● 初期化：設定を初期化
● 設定クリア：すべてを「未設定」にする

4 車のステアリングスイッチで、機能を割り当てたいスイッチを1秒以上押す

●手順**3**～**4**を繰り返し、ステアリングスイッチに機能を割り当ててください。

5 すべての機能を割り当てたら、**完了** を選ぶ

●ステアリングスイッチの設定が完了します。

お願い

●**すべてのステアリングスイッチに機能を登録してください。機能が登録されていないステアリングスイッチがあると、正しく動作しない場合があります。**

お知らせ

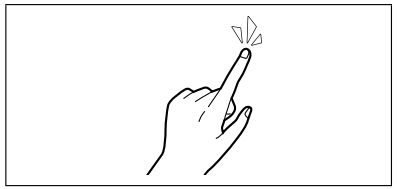
●車種やグレードによっては、操作可能な機能が異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
●ひとつのスイッチに複数の機能を割り当てることはできません。
●ステアリングスイッチ設定画面を表示中は、ステアリングスイッチで本機の操作はできません。

＊1 対応する本体ボタン/タッチキーはありませんが、ステアリングスイッチに機能を割り当てることができます。
＊2 オプションボタンの設定が「MUTE」の場合、本体ボタンでも操作できます。（P.18）
また、ランチャーメニューに「消音」を割り当てると、タッチキーでも操作できます。（P.42）
※ステアリングスイッチに「MUTE」を割り当てる際に、オプションボタンまたはランチャーメニューに「消音」を割り当てる必要はありません。
＊3 **NSZN-Y71DS** **NSZN-W71D** のみ
＊4 オプションボタンの設定が「カメラ画面切換」の場合、本体ボタンでも操作できます。（P.25）
＊5 オプションボタンの設定が「音声認識」の場合、本体ボタンでも操作できます。（P.25）
また、ランチャーメニューに「音声認識」を割り当てると、タッチキーでも操作できます。（P.42）

タッチパネルの操作について

本機のタッチパネルは、必ず指で触れて操作してください。
先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）で操作したり、たたく、強く押すなどして液晶ディスプレイに負担がかかると、傷や破損、および誤動作の原因となります。

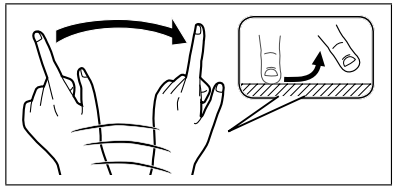
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■タッチ

指で画面に軽く触れる。

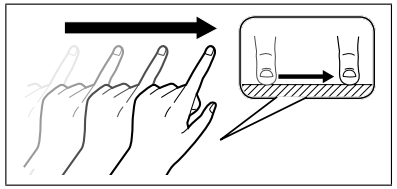
- 本書で「○○**を選ぶ**」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「**○秒以上タッチする**」「**タッチし続ける**」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■フリック

指で画面をはらう。

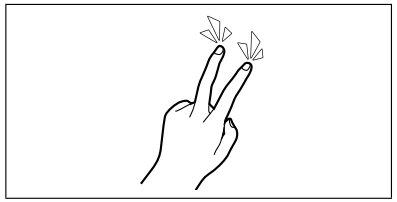
- **メニュー画面**をフリックした方向に切り換える。
- **リストの項目**をフリックした方向に移動させる。
- **地図画面**をフリックした方向にスクロールする。



■ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

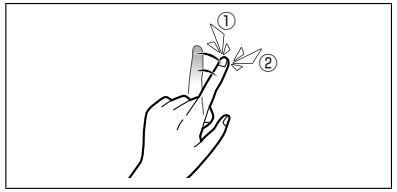
- **メニュー画面**をドラッグした方向に切り換える。
- **リストの項目**をドラッグした方向に移動させる。
- **地図画面**をドラッグした方向にスクロールする。



■2点タッチ（同時に2カ所をタッチ）

同時に2カ所をタッチする。

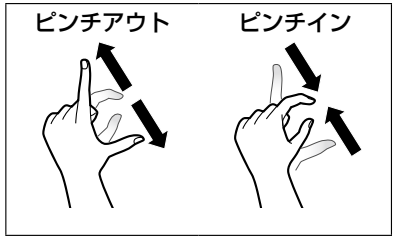
- 地図の縮尺を「広域」に切り換える。



■ダブルタップ（連続して2回タッチ）

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り換える。



■ピンチ

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

- **ピンチアウト（広げる）**
  地図の縮尺を「詳細」に切り換える。
  ・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- **ピンチイン（狭める）**
  地図の縮尺を「広域」に切り換える。

ご使用になる前に

- はじめに車種を選択してから、利用開始を行ってください。
- 通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う設定です。

車種を選択する

本機を車両に取り付けた後、初めて本機を起動したときは、利用開始確認画面（車種選択）が表示されます。
車種選択を選び、本機を取り付けた車種名を選択してください。

- 本機の設定（スピーカー設定・音の匠・オープニング画面・車種別カメラ調整・車両連携機能など）が、選択した車種に合わせた内容に設定・調整されます。
- 設定のしかたについて、詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。
- 車種選択が完了したら、いったん車のエンジンを止め、再度エンジンをかけて（ACC ON）本機を再起動してください。
- 本機を再起動すると、利用開始確認画面が表示されます。
  引き続き利用開始の作業を行ってください。（下記）

お知らせ

- 誤った車種を選択した場合は、お買い上げの販売店に再設定をご依頼ください。
- 車種選択が行われていない、または完了していない場合は、本機が正常に動作しない場合があります。お買い上げの販売店に設定をご依頼ください。

利用開始をする

- 利用開始日は、無料地図更新サービスの有効期限を算出するのに使用します。(P.162)
- 車種選択（上記）を行わないと、利用開始できません。
- GPSを受信しないと、利用開始を選べません。
- 利用開始をすると、部分地図更新の有効期限を確認できます。
  （情報メニュー「バージョン情報」→P.26）

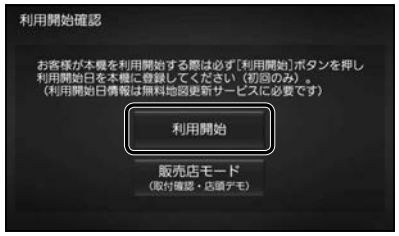
1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

- 本機の電源が入り、利用開始確認画面が表示されます。

2 見晴らしの良い場所に車両を移動し、GPS衛星からの信号を受信させる

- 受信すると、利用開始を選べるようになります。

3 利用開始を選ぶ



4 はいを選ぶ

5 OKを選ぶ

- 利用開始日が設定され、ナビゲーションの利用を開始します。

基本操作・準備（確認・調整）

電源を入れる

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

- 本機の電源が入ります。
- セキュリティコード入力画面が表示されたら→P.30

2 警告画面の注意事項を確認する

- 警告画面が表示された後、現在地画面（自車位置）が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、Ⓐを押すとナビゲーション画面（現在地）に切り換わります。
- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- BLUETOOTH対応機器を本機に接続しているときは、本機の電源を入れるとBLUETOOTH対応機器との接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- メンテナンス情報の設定をすると、本機の電源を入れたときに、メンテナンス情報の案内画面が設定された条件で表示されます。（P.159）

お知らせ

- 起動時に、エコドライブをすすめる音声案内が出力される場合があります。（P.157「エコ運転アドバイス」）
- リモコンエンジンスターターで車外から車のエンジンをかけた場合は、オーディオの音声は人が乗車するまで出力されません。

電源を切るには

車のエンジンを止める（ACCをOFFにする）

- 本機の電源が切れます。
- ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内をお知らせします。（P.167）
- iPodを接続している場合は、iPod抜き忘れ案内をお知らせします。（P.196）
- 盗難多発地点でエンジンを止めた場合は、盗難多発地点音声案内をお知らせします。（P.196）

自車位置を確認する

初めて本機を起動したときは、自車位置と異なる地図が表示されますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。見晴らしの良い場所で下記の操作を行ってください。

1 GPSを受信していることを確認する

GPSを受信すると方位マークの灰色の部分が黄色に変わります。

GPSを受信すると、現在時刻が表示されます。

- 未受信の場合は、--:--と表示されます。

2 見晴らしの良い道路を、そのまま しばらく走行する（60分以上）

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。

お知らせ

- しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報（P.17）から受信状態を確認してください。

GPS情報を確認する

1 ツートップメニュー（P.26）から 情報・設定 を選ぶ

2 情報・設定メニューから 情報 を選ぶ

3 情報メニューから GPS情報 を選ぶ

4 GPS情報を確認する

- 緯　　度：現在位置の緯度を表示
- 経　　度：現在位置の経度を表示
- 捕 捉 数：測位に使用している衛星の数を表示
- 年 月 日：現在の日付を表示
- 現在時刻：現在時刻を表示

自車位置を変更する

通常は、この操作は必要ありません。

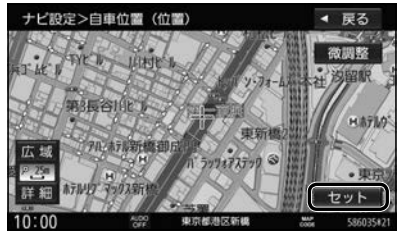
1 ツートップメニュー（P.26）から 情報・設定 を選ぶ

2 情報・設定メニューから ナビ設定 を選ぶ

3 ナビ設定画面から 表示 を選ぶ

4 自車位置の 修正する を選ぶ

5 位置を調整し、セット を選ぶ



- 微調整：位置の微調整ができます。

6 ⇔で自車マークを進行方向に合わせ、セット を選ぶ

ナビゲーションの音量を調整する

1 情報・設定メニュー（P.26）から ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から ナビ案内音量 を選ぶ

3 ナビ案内音量画面から ナビゲーションの音量を調整する

- ー/＋：音量を調整する（15段階）[お買い上げ時の設定：5]
- 消音：音声案内なし
  ・選ぶごとにON/OFFが切り換わります。

本体の音量ボタンでナビゲーションの音量を調整する／しないを設定する

ナビ案内音量画面（上記）から 案内出力中の本体音量ボタンでの音量調整 する/しない を選ぶ
[お買い上げ時の設定：しない]

お知らせ

- 音声案内の詳細な項目（出力するスピーカー、高速走行時の音量など）を設定するには →P.193
- 音声案内および操作音は、リアスピーカーからは出力されません。

オーディオの音量を調整する

ー ＋ を押して調整する（64段階）

お知らせ

- 音量は、オーディオごとに記憶されます。

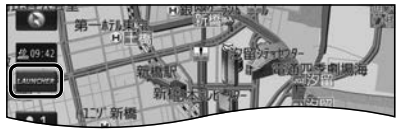
オーディオの音声を一時的に消音する（ミュート）

ランチャーメニューから操作する

準備

- ランチャーメニューに 消音 タッチキーが表示されるように設定してください。（P.42）

1 現在地画面で LAUNCHER を選ぶ



2 ランチャーメニューから 消音 を選ぶ

ステアリングスイッチで操作する

ステアリングスイッチの MODE を2秒以上押す

- もう一度押すと解除されます。

オプションボタンで操作する NSZN-Y71DS NSZN-W71D

準備

- オプションボタンに「MUTE」を割り当ててください。（P.25）

★ を押す

- もう一度押すと解除されます。

お知らせ

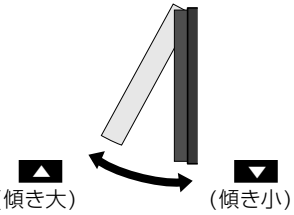
- 消音時は、「消音」と表示されます。
- ナビゲーションの案内音量、音声認識のトークバック、ハンズフリーの音声（通話音・発着信音）はミュートされません。
- オーディオをOFFにするには→P.87

ディスプレイの角度を調整する（TILT）

1 ▲ を押す

2 角度を調整する

- ▲：傾きが大きくなる
- ▼：傾きが小さくなる



3 ▲ を押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

お知らせ

- 車のエンジンを切ると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。（P.128）

画面を一時的に消す

情報・設定メニュー（P.26）から 画面OFF を選ぶ

画面を再度表示するには

◉ ▣ ♪ ▲ のいずれかを押すか、画面をタッチする

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 情報メニュー（P.26）から 車両信号情報 を選ぶ

2 車両信号情報を確認する（下記）

- 前へ：前ページを表示
- 次へ：次ページを表示

センサー学習値初期化
車速パルスと学習レベルを初期化します。初期化後は、車のエンジンを止め（ACC OFF）、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。

項　目	確認内容
走行状態（パーキングブレーキ）	パーキングブレーキ*1をかけると、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか？
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
スモールランプ*2	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変化していますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。12 V（11 V～16 V）になっていますか？
学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ●距離：Level 1～Level 5 ●回転：Level 1-1～Level 5-5 ●３D：Level 1～Level 5
車両情報接続状態*3*4	車両連携車両の場合、「ON」表示になっていますか？
コーナーセンサー状態*3*4	コーナーセンサー搭載車両の場合、「ON」表示になっていますか？
ステアリング連動ガイド線状態*3*4	ステアリング連動機能対応で、バックモニター*5を装備している車両の場合、「ON」表示になっていますか？ 「未判定」と表示される場合は、車のシフトレバーをリバース（R）に入れて、再度状態を確認してください。それでも正しい状態にならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

＊１本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。
＊２車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。
＊３車種やグレードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。
対応していない車両の場合は、常にOFF表示となります。
＊４必ず車のエンジンをかけて表示確認してください。エンジンを止めて、ACC ONの状態では確認できません。
＊５バックモニター以外（パノラマモニターなど）のステアリング連動ガイド線状態は、確認できません。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
  ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す　・右左折が多い
  ・右左折が極端に少ない　・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
  ・別の車に本機を載せかえた　・タイヤを交換した　・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

拡張ユニット情報を確認する

1 情報メニュー（P.26）から 拡張ユニット情報 を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する（下記）

項　目	確認内容
iPod*1	iPodまたはiPhoneを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB*1	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？
ETCユニット*2	別売のETC車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
ETC2.0ユニット*2	別売のETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか？
ドライブレコーダー	別売のドライブレコーダーを接続している場合、ON表示になっていますか？

＊１ 同時には接続できません。
＊２ 同時には接続できません。

初期設定をする

車種を設定する

車種を設定すると、有料道路の料金計算に利用されます。

NSZN-Y71DS NSZN-X71D

●通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う設定です。

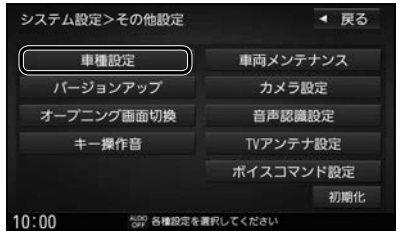
NSZN-Y71D NSZN-W71D

●本機を取り付けた車種に応じて、下記の設定を行ってください。

1 情報・設定メニュー(P.26)から、システム設定を選ぶ

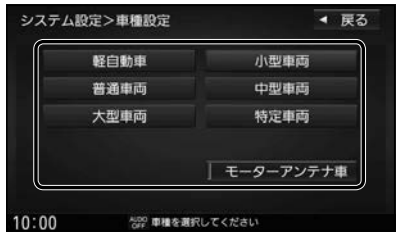
2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 車種設定 を選ぶ



4 車種を選ぶ

- 軽自動車 [お買い上げ時の設定]
- 普通車両
- 大型車両
- 小型車両
- 中型車両
- 特定車両
- モーターアンテナ車
  選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。
  [お買い上げ時の設定:OFF]
  ■モーターアンテナ車の場合＊1
  ONに設定する。(インジケータ**点灯**)
  ●オーディオのON/OFFに連動して、アンテナが伸縮します。
  ■モーターアンテナ車以外の場合
  OFFに設定する。(インジケータ**消灯**)



＊1モーターアンテナ車の留意点

●オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
●モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

車種に応じてオープニング画面を設定する

下記サイトからオープニング画像をダウンロードして、変更することができます。
https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html

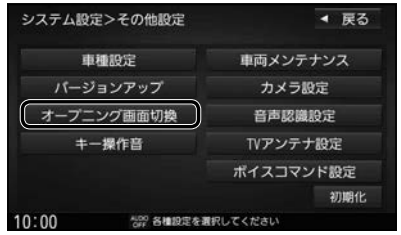
準 備

●ダウンロードしたオープニング画像(ファイル名:Opening.opn)が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.114)

1 情報・設定メニュー(P.26)から、システム設定を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 オープニング画面切換 を選ぶ



4 はい を選ぶ

●オープニング画面が本機に保存されます。

5 オープニング画面の保存が完了したら、車のエンジンを切り(ACC OFF)、約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける(ACC ON)

●本機が再起動し、ダウンロードしたオープニング画像が表示されます。

お願い

●オープニング画像のファイル名は、変更しないでください。
●オープニング画像ファイルは、バックアップとして保管してください。

お知らせ

●「出荷状態に戻す」(P.197)の操作を行うと、設定したオープニング画面もお買い上げ時の状態に戻ります。
●ダウンロードしたオープニング画像以外(カメラで撮影した画像など)は、設定できません。

初期設定をする

自宅を登録する

目的地メニューから登録する

1 自宅が登録されていない状態で、目的地メニュー(P.27)から 自宅 を選ぶ

2 はい を選ぶ

3 自宅の場所を検索する
- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.56～59)

4 自宅登録 を選ぶ
- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 自宅に出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。 はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。
- 引き続き、自宅へのルートを探索できます。

登録地編集画面から登録する

1 自宅が登録されていない状態で、ナビ設定画面(P.17)から 登録地編集 を選ぶ

2 自宅編集<登録されていません> を選ぶ

3 自宅の場所を検索する
- 検索のしかたは、「行き先を探す」と同じです。(P.56～59)

4 自宅登録 を選ぶ
- カーソルの地点が、自宅として登録されます。
- 出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。 はい を選ぶと、出入口の位置が自宅として登録されます。

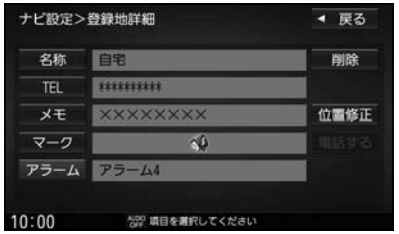
お知らせ
- 登録した自宅を呼び出すには→P.58
- 自宅を別の地点に変更するときは、自宅を削除(右記)してから、再登録してください。

自宅を編集するには

1 ナビ設定画面(P.17)から 登録地編集 を選ぶ

2 自宅編集 を選ぶ
- 自宅の登録地詳細画面が表示されます。

3 自宅の登録地詳細画面から自宅を編集する



- 編集のしかたは、「登録地を編集する」と同じです。(P.76～77)

自宅を削除するには

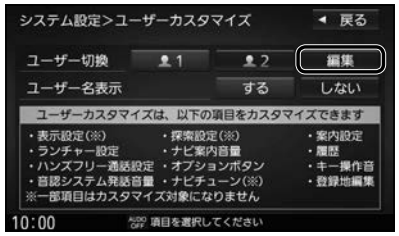
1 自宅の登録地詳細画面(上記)から 削除 を選ぶ

2 はい を選ぶ
- 自宅が削除されます。

ユーザー名を設定する

1 システム設定画面(P.23)から ユーザーカスタマイズ を選ぶ

2 ユーザーカスタマイズ画面から 編集 を選ぶ



- ユーザー切換
  [お買い上げ時の設定：ユーザー1]
- ユーザー名表示
  [お買い上げ時の設定：する]

3 ユーザー名を入力し、決定 を選ぶ
- 全角4文字(半角8文字)まで
- 文字入力のしかた→P.214

ユーザーを切り換える

ユーザーカスタマイズ画面(上記)から 1 / 2 を選び、はい を選ぶ
- 選んだユーザーに切り換わります。
- ユーザー名表示 する に設定すると、地図画面にユーザーカスタマイズタッチキーが表示されます。(P.38)*1
- ユーザーごとに、下記の項目を記憶させることができます。
  - ・表示設定(昼夜切換は記憶されません)
  - ・探索設定(到着予想は記憶されません)
  - ・案内設定
  - ・ランチャー設定
  - ・ナビ案内音量
  - ・履歴
  - ・ハンズフリー通話設定
  - ・オプションボタン*2
  - ・キー操作音
  - ・音認システム発話音量
  - ・ナビチューン
    (ガイダンスの事故多発地点案内の設定は記憶されません)
  - ・登録地編集

＊1 NSZN-Y71DS NSZN-X71D NSZN-W71D のみ

＊2 NSZN-Y71DS NSZN-W71D のみ

オプションボタンを設定する

NSZN-Y71DS NSZN-W71D

本機の ★ (オプションボタン)に割り当てる機能を設定できます。

1 情報・設定メニュー(P.26)から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から オプションボタン を選ぶ

3 オプションボタンに割り当てる機能を選ぶ

- ボイスコマンド一覧 [お買い上げ時の設定]
  ボイスコマンド一覧を表示する
- MUTE
  オーディオの音声を一時的に消音する
- 音声認識
  Drive T@lkerを起動する
- 自宅
  自宅までのルートを探索する
- カメラ画面切換 *1
  バックモニター/パノラマモニターの画面に切り換える
- ドライブレコーダー *2
  ドライブレコーダー画面に切り換える

＊1 別売のバックモニター/パノラマモニター接続時のみ

＊2 別売のドライブレコーダー接続時のみ

メニュー画面の操作

ツートップメニューを表示する

[ ]を押す
- ツートップメニューが表示されます。

- DVD画面では、タッチキーが表示されていない状態で[ ]を押すとタッチキーが表示されます。タッチキーが表示された状態で再度[ ]を押すと、ツートップメニューが表示されます。

オーディオメニュー

メニューカスタマイズ（P.28）

- TV P.88
- DISC（DVD/CD） ..... P.98～102
- iPod P.121
- MEMORY MUSIC＊1 ..... P.106
- SD＊2 ..... P.116
- BLUETOOTH Audio P.103
- FM/AM P.95
- ドライブレコーダー P.170
- USB＊2＊3 ..... P.116
- HDMI＊3 ..... P.190
- 交通情報＊3 ..... P.96

ツートップメニュー

Drive T@lker（P.149）　目的地ショートカット

オーディオショートカット
- AUDIO ON（OFF） P.87
- ハンズフリー P.139
- 情報・設定 ..... 下記
- ルート P.61

目的地メニュー

メニューカスタマイズ（P.28）

- 名称 P.56
- 登録地 P.58
- 電話番号 P.56
- 自宅 P.58
- 周辺施設 P.57
- ジャンル P.58
- 住所 P.57
- 履歴 P.56
- マップコード＊4 ..... P.59
- 緯度・経度＊4 ..... P.59
- 郵便番号＊4 ..... P.59

お知らせ
- 目的地ショートカットおよびオーディオショートカットの項目を変更できます。（P.28）

情報メニュー

- 渋滞情報 P.81
- エコ P.154
- システム情報：ナビID、地図更新IDを表示
- バージョン情報：ソフトのバージョン/無料WEB部分地図更新期限を表示
- GPS情報 P.17
- ETC情報 P.166
- 車両信号情報 P.20
- 拡張ユニット情報 P.21

情報・設定メニュー

- 情報 ..... 左記
- ナビ設定 P.191
- オーディオチューン P.122
- システム設定 P.196
- 画面OFF P.19
- スマホ連携アプリ選択 P.135

フリック/ドラッグ操作での切り換えかた

ツートップメニュー/目的地メニュー/オーディオメニューは、左右にフリック/ドラッグして切り換えることもできます。

フリック

ドラッグ

＊1 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
＊2 パソコンなどで保存したデータ（音楽/静止画/動画）の再生
＊3 オーディオショートカットへの登録はできません。
＊4 目的地ショートカットへの登録はできません。

メニュー画面の操作

ツートップメニューに表示させる項目を変更する（メニューカスタマイズ）

オーディオメニューの並びを変更する

1 オーディオメニュー（P.26）から（カスタマイズ）を選ぶ

2 メニューカスタマイズ画面から入れ換えたい項目を選ぶ

例：
「TV」のかわりに「FM/AM」をツートップメニューに表示するには
① TV を選ぶ
② FM/AM を選ぶ

- AUDIO初期化
  オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー･オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。

オーディオショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

目的地メニューの並びを変更する

1 目的地メニュー（P.27）から（カスタマイズ）を選ぶ

2 メニューカスタマイズ画面から入れ換えたい項目を選ぶ

例：
「名称」のかわりに「履歴」をツートップメニューに表示するには
① 名称 を選ぶ
② 履歴 を選ぶ

- 目的地初期化
  目的地メニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。
- 全初期化
  目的地メニュー･オーディオメニューのレイアウトをお買い上げ時の状態に戻す。

●選んだ項目が入れ換わります。

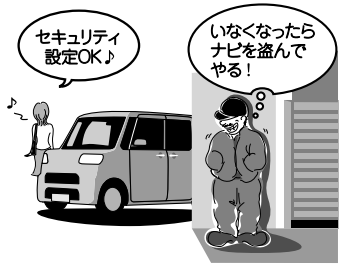
目的地ショートカットとして
ツートップメニューに表示されます。

セキュリティ機能を設定する

セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック（使用不可）することができます。
エンジンスイッチがOFFのときはセキュリティインジケータを点滅させることができます。
また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

**セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなります。
お買い上げの販売店にご相談ください。**

お車を離れる前に



セキュリティインジケータの点滅により盗難を抑止!!

●セキュリティインジケータの設定→P.31

万一盗難にあっても

別の車に装着

セキュリティ設定によりナビゲーションの起動を停止することで個人情報を保護

●セキュリティコードの設定→P.30

セキュリティ機能を設定する

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 情報・設定メニュー(P.26)から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から セキュリティ を選ぶ

3 セキュリティ画面から セキュリティ設定 する を選ぶ

4 (初めて設定する場合のみ)
下記操作を行う

1. OK を選ぶ
2. 初期パスワード「9876」を入力し、決定 を選ぶ
3. はい を選ぶ

5 OK を選ぶ

6 セキュリティコードを入力し、決定 を選ぶ

- 修正 : 1文字削除
- 文字種 : 数字・A～Fの大文字
- 文字数 : 3文字～12文字

7 はい を選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

本機を起動時にセキュリティコード入力画面が表示されたら

バッテリー交換時など、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動した場合のみ、セキュリティコード入力画面(下記)が表示されます。
セキュリティコードを入力してください。

セキュリティコードを入力し、決定 を選ぶ

- ロックが解除され、本機が再起動します。

セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティ設定を解除してください。

1 セキュリティ画面(左記)から セキュリティ設定 しない を選ぶ

2 OK を選ぶ

3 セキュリティコードを入力し、決定 を選ぶ

- セキュリティ設定が解除されます。

セキュリティインジケータを設定する

セキュリティ設定「する」に設定されているとき、セキュリティインジケータを点灯する/しないを設定できます。

セキュリティ画面(P.30)から、インジケータ する / しない を選ぶ
[お買い上げ時の設定 : しない]

お知らせ

- セキュリティ設定「しない」の状態では、インジケータの設定を変更できません。

NSZN-Y71DS NSZN-W71D
- ★ が、セキュリティインジケータとして点滅します。

NSZN-Y71D
- ⓐ が、セキュリティインジケータとして点滅します。

セキュリティに関する案内の設定をする

セキュリティ画面(P.30)から、各項目の する / しない を選ぶ

[**太字** : お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
盗難多発地点 音声案内	「**す　る**」: 盗難多発地点を音声で案内する 「しない」: 盗難多発地点を音声で案内しない
盗難多発地点 表示案内	「**す　る**」: 盗難多発地点を表示で案内する 「しない」: 盗難多発地点を表示で案内しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	「**す　る**」: 市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」: 市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
iPod抜き忘れ案内	「**す　る**」: iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」: iPodの抜き忘れ案内をしない

ナビゲーション

地図の紹介 34
市街地図 34
広域地図 34
標高地図 34
案内図表示 35
拡大図表示 36

地図の見かた 38
地図画面 38
現在地画面 40
地図モード画面 40
ルート案内中の画面 41
注意案内表示 41

ランチャーメニューで操作する 42
ランチャーメニューの項目を変更する 42

ルート・案内・地図・VICSを アレンジする（ナビチューン） 44
ルート 44
ガイダンス 44
マップ 45
VICS WIDE 45

地図の操作 46
地図を動かす（スクロール） 46
縮尺を切り換える 47
向きを切り換える（ノースアップ/ヘディングアップ/3D） 48
3Dの地図を操作する 48
右画面を表示する（2画面） 49
走行軌跡を表示する 50
表示するランドマークを選ぶ 51
ランドマークを表示する 51
地点メニューから操作する 51
地図上に表示されるVICS情報（レベル3） 52

行き先までのルートを作るには 54
ルート案内を中止する 55
ルートを削除する 55

行き先を探す 56
施設の名称で探す 56
電話番号で探す 56
目的地・経由地の履歴から探す 56
周辺の施設から探す 57
住所で探す 57
ジャンルから探す 58
登録地から探す 58
自宅へ帰る 58
マップコードで探す 59
緯度経度で探す 59
郵便番号で探す 59
施設の出入口・提携駐車場を探す 59

ルートを探索する 60
目的地に設定する 60
経由地に設定する 60

全ルート図から設定・確認する 61
手動で全ルート図を表示させる 61
5つの条件のルートから選ぶ 61
ルートの詳細情報を見る 62
ルートをシミュレーションする 62

ルートを編集する 63
経由地・目的地を追加する 63
区間ごとの探索条件を変更する 63
出発地・経由地・目的地を変更する 64
迂回するルートに設定する 64
出発地・経由地・目的地を削除する 64
経由地・目的地を並べ換える 64

ルートを保存する 65
ルートを保存する 65
保存したルートを呼び出す 65
保存したルートを削除する 65

ルート探索について 66
探索条件について 66
ルート学習について 66
細街路探索について 66
曜日時間規制探索について 67
VICS考慮について 67
スマートICを通るルートについて 67

ルート案内中に 68
一般道路走行中の音声案内 68
高速道路・有料道路走行中の音声案内 68
トンネルに入ると 68
前方が渋滞していたら（VICS案内） 69
経由地・目的地の音声案内 69
ルート案内中の曜日時間規制探索 69
ルート案内中のVICS自動再探索（スイテルート案内） 69
新しいルートと前のルートを比較する（新旧ルート比較） 69
次の交差点などの音声案内を聞く 70
ルートから外れたときの自動再探索 70
休憩メッセージ案内 70
エコ運転アドバイス 70
もう一度ルートを探索する 70
走行中の道路を誤って認識したとき（道路切換） 70

注意案内表示の案内 71

逆走注意アラーム・逆走警告 72

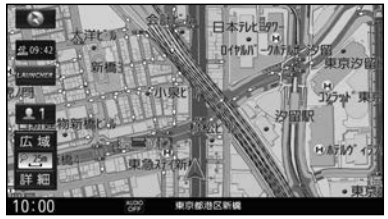
地点を登録する（登録地） 73
登録地について 73
カーソルの地点を登録する 73
現在地を登録する 73
登録地をフォルダで管理する 73
お気に入り地点を登録する 74
登録地の情報を見る 75
登録地を編集する 76

VICS情報を見る 78
VICSとは 78
文字表示型（レベル1）のVICS情報を受信すると 78
図形表示型（レベル2）のVICS情報を受信すると 78
地図表示型（レベル3）のVICS情報を受信すると 79
画像・音声情報のVICS情報を受信すると（ETC2.0） 79
信号情報活用運転支援システム（TSPS）による情報を受信すると 80
VICS情報を受信するFM放送局を設定する 81
VICS情報を確認する 82
事象・規制マークの内容を確認する 82
緊急情報（特別警報）を受信すると 83

地図の紹介

市街地図

縮尺
5 m
12 m
25 m



建物の形まで、詳細に表示されます。（一部地域のみ）

3D表示に切り換える（P.48）と、建物が立体的に表示されます。

広域地図

縮尺
50 m
⋮
250 km

道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。
- 標高地図を表示「する」に設定されている場合は、縮尺を5 ㎞～100 ㎞に切り換えると標高地図が表示されます。

標高地図

縮尺
5 km
⋮
100 km

衛星写真のようなリアルな地図が表示されます。

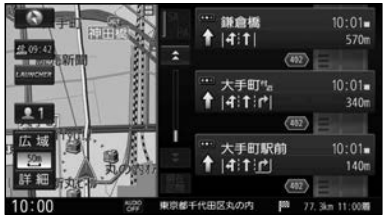
- 標高地図色が「季節連動」に設定されている場合は、季節に連動して、地図の色が切り換わります。（P.191）
- 3Dでの表示はできません。
- 表示する／しないの設定→P.191

案内図表示

■方面看板

一般道を走行中に、交差点の方面看板と進むべき方向の矢印が表示されます。

- 常時表示／ルート案内中のみ表示／常時非表示を選べます。（P.193）



■ルート情報

ルート案内時、道路名・交差点の名称、進むべき方向、距離などが表示されます。
高速道路走行中は、自動的にハイウェイマップに切り換わります。

- ▲ ▼：スクロール
- 現在区間：現在の区間に戻る
- 表示する／しないの設定→P.193

SA・PAの施設情報が表示されます。

■ハイウェイマップ

都市高速、都市間高速道路、一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。
SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、SA・PAの施設がわかりやすく表示されます。

- ▲ ▼：スクロール
- 現在区間：現在の区間に戻る
- SA/PA：SA・PAのみを表示
- 詳：SA・PA・料金所の詳細な情報を表示
- ルート情報の表示が「しない」に設定された状態で、ハイウェイモードの表示を「しない」に設定すると、ハイウェイマップは表示されません。（P.193）

地図の紹介

拡大図表示

●ルート案内中に自動的に表示されます。
●地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

一般道路では

■交差点拡大図

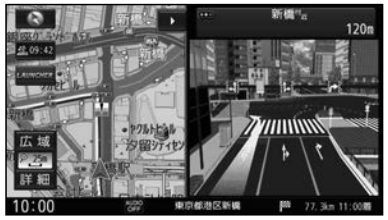
交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向が表示されます。

●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●表示する/しないの設定→P.193

■ 側道拡大図

側道のある分岐点で表示されます。

●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●交差点拡大図の表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.193)



■リアル3D表示

複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。

●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●表示する/しないの設定→P.193

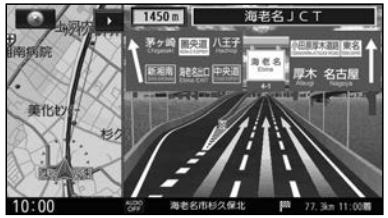
■ハイウェイ入口案内

都市高速の入口付近で表示されます。

●約300 m手前から
●直進でも表示される場合があります。
●リアル3D表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.193)

補助地図
●地図スクロール(P.46)と向きの切り換えができます。(P.48)

高速道路では



■ジャンクションビュー

高速道路や主要有料道路を走行中に、ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向が表示されます。

●約2 km手前から
●直進でも表示される場合があります。
●表示する/しないの設定→P.192

■SA・PA入口案内

SA・PAが経由地または目的地に設定されている場合は、高速道路や主要有料道路を走行中に、SA・PAまでの距離と進入方向が表示されます。

●約2 km手前から
●JCTビューの表示の設定に連動して、表示する/しないの設定が切り換わります。(P.192)

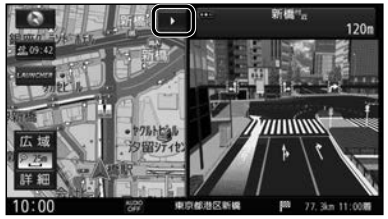
■ ETCレーン案内

料金所手前でレーン拡大図が表示されます。

●約2 km手前から
●表示する/しないの設定→P.192

※表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。必ず、実際の状況に従って運転してください。

拡大図を消去・再表示するには



■ 消去するには

補助地図(P.36)**から▶を選ぶ**
●拡大図が消去されます。

■再表示するには

現在地画面(P.40)**から◀を選ぶ**
●拡大図が表示されます。

地図の見かた

地図画面

方位マーク（地図の向きを表示）
タッチするごとに、地図の向きが切り換わる
→ **ノースアップ**（北が上/2D）
↓
ヘディングアップ
（進行方向が上/2D）
↓
3D（進行方向が上/3D）

GPS受信状態
現在地の測位の状態を方位マークの色で表示
- 黄色：測位完了
- 灰色：測位未完了（測位計算中）

VICS タイムスタンプ
09:42 VICSの情報が提供された時刻を表示（P.52）
ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制の地点の地図に切り換わる

NSZN-Y71DS NSZN-X71D NSZN-W71D のみ
ユーザーカスタマイズ
1 本機の設定を2ユーザー分登録し、切り換える（P.25）
（地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。）

縮尺表示
地図の縮尺が切り換わる（P.47）
広域 50m 詳細
広域
現在の縮尺を表示
詳細

事故多発地点
- 表示する/しないの設定→P.44

冠水注意ポイント
- 表示する/しないの設定→P.192

盗難多発地点
- 表示する/しないの設定→P.196

BLUETOOTH接続状態→P.133

自車マーク
自車位置と進行方向を表示
- 種類と色を変更するには→P.45

吹き出し表示
交差点・高速出入口などを吹き出しで表示
- 表示する/しないの設定→P.191

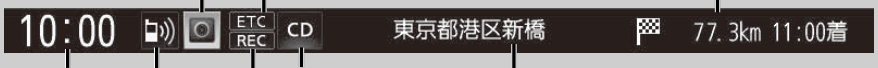
ランドマーク
目印となる施設などを地図上にマークで表示（縮尺5 m～200 mで表示）
- 表示させるランドマークを選ぶには→P.51

立体ランドマーク
全国の有名施設を地図上に立体ランドマークで表示（縮尺50 m～100 mで表示）

エコタッチキー/エコ運転状態表示
- **運転状況** （減点なし）→（減点小）→（減点大）
- **キャラクター** （成長前）→（成長後）
- タッチすると、エコメニューを表示
- 表示する/しないの設定→P.157
- ドライブレコーダー接続時は、手動録画タッチキーが表示されます。手動録画タッチキーを「表示しない」に設定すると、エコタッチキーを表示できるようになります。（P.173）

情報バー
- 情報バーに表示させる項目の設定→P.192

ドライブレコーダー動作状態　ETCカード挿入状態＊1　残距離/到着予想時刻＊3＊4



現在時刻　ハンズフリー通話中＊5　音楽CD録音中＊1　再生中のオーディオ　現在地の地名/道路名称＊2

＊1 どちらか一方のみが有効な場合は、ETC または REC が表示されます。
＊2 地図モード画面（P.40）では、カーソル付近の地名/道路名称が表示されます。
AUDIO情報を表示「する」（P.192）に設定した場合は、オーディオの情報が表示されます。
VICSの緊急情報を受信した場合は、緊急情報タッチキーが表示されます。（P.83）
＊3 地図モード画面（P.40）では、マップコードが表示されます。
＊4 NSZN-Y71D
現在地画面では、この位置には ⏮ ⏭ が表示されます。
残距離/到着予想時刻は、右図の位置に表示されます。

＊5 ダイハツコネクト接続中は、 または Wi-Fi が表示されます。
ダイハツコネクト接続中にハンズフリー通話を開始すると、表示が に切り換わります。ダイハツコネクト接続中は、ハンズフリー通話中でも、データ通信を行う場合があります。

凡例

表示	内容
	都道府県庁舎
	市役所・特別区庁舎
	町村役場・政令指定都市区役所庁舎
	官公署・市町村役場支所（出張所）
	消防署（含む：分署・支署・出張所）
	自衛隊
	学校
	病院
	警察署・交番・駐在所
	図書館
	海水浴場・（湖水、池）水泳場
	デパート・スーパー・ショッピング施設
	スーパーマーケット・その他ショップ
	ホテル・旅館・宿泊施設
	史跡・旧跡、観光名所
	神社
	寺院（仏閣、地蔵）

表示	内容
	教会
	城跡
	美術館
	博物館
	郵便局
	バス停
	飛行場・空港
	港
	フェリーターミナル
	ファミリーレストラン
	山頂
	工場
	一方通行記号
	交差点
SA	サービスエリア
PA	パーキングエリア
IC	インターチェンジ
ETC	スマートIC（本線直結型）＊1
JCT	ジャンクション
	料金所

表示	内容
出入	ランプ（出入口）
出	ランプ（出口専用）
	運動施設
	サッカースタジアム
	墓地
	冬季通行止め
	その他目標施設
	ウインズ
	展望タワー
	動物園
	植物園
	水族館
	ゴルフ場

表示	内容
	温泉
	スキー場
	遊園地・テーマパーク
	テーマパークゲート
	キャンプ場
	スタジアム
	公園
	マリーナ
	事故多発地点
	冠水注意ポイント
	盗難多発地点警告（赤色、黄色、青色）

＊1 SA・PA 接続型のスマートICは、表示されません。

お知らせ
- 道路表示の色の意味は、以下のとおりです。
  青色：高速道路、有料道路
  赤色：国道
  緑色：主要地方道、県道
  灰色：一般道、細街路（道幅5.5 m未満の道路）
  青色（破線）：フェリー航路
- 地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

地図の見かた

現在地画面

を押すと、現在地画面が表示されます。

LAUNCHER

LAUNCHER ランチャーメニューを表示（P.42）
（地図画面の種類によっては、表示されない画面があります。）

交差点情報表示
交差点名称、レーン、踏切などの情報を表示
●常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。（P.192）

地図モード画面

現在地からスクロール（P.46）すると地図モード画面になります。

現在地の方向を赤い直線で表示

微調整
微調整 カーソルの位置を微調整（P.46）

地図の中心にカーソルを表示

緯度・経度
●表示する/しないの設定→P.192

設定
設定 地点メニューを表示（P.51）

マップコード→P.225
●表示する/しないの設定→P.192

施設名
カーソルの地点に施設名の情報がある場合に表示

ルート案内中の画面

目的地マーク
目的地（P.60）に設定した場所を表示

案内ルート
目的地までの案内ルートを表示

交差点情報表示
交差点の通るべき車線を黄色で表示
●常時表示/ルート案内中のみ表示/常時非表示を選べます。（P.192）

経由地マーク
経由地（P.60）に設定した場所を表示

目的地方向直線表示
現在地から目的地の方向を赤い直線で表示
経由地を設定している場合は、次の経由地の方向を表示
●表示する/しないの設定ができます。（P.193）

NSZN-Y71DS NSZN-X71D NSZN-W71D のみ

77.3km 11:00着 残距離/到着時刻表示
目的地または経由地までの距離と、到着する予想時刻を表示
●残距離/到着時刻を、目的地までにするか経由地までにするかを選べます。（P.192）

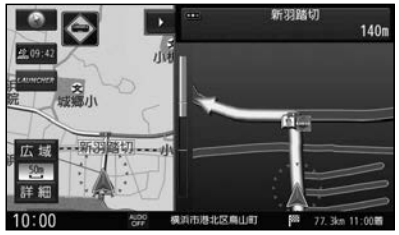
NSZN-Y71D
●この位置には ⏮ ⏭ が表示されます。
残距離/到着予想時刻は、右図の位置に表示されます。

注意案内表示

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。（P.71）

地図画面での割り込み表示

拡大図表示中の割り込み表示



お知らせ
●音声では案内されない情報もあります。
●案内のしかたや頻度を設定できます。（P.44）

ランチャーメニューで操作する

現在地画面で LAUNCHER を選ぶと、ランチャーメニューが表示されます。

- ランチャーメニューによく使う機能を登録しておくと、ランチャーメニューから直接その機能を呼び出すことができます。
- ランチャーメニューの項目は、変更できます。(右記)

ランチャーメニューの項目を変更する

1 ランチャーメニューから 設定 を選ぶ

2 LAUNCHERメニュー配置から項目を変更したいタッチキーを選ぶ

- ナビチューン は変更できません。
- 解　除 : 選んだ項目を解除
- 全解除 : すべての項目を解除

3 メニュー候補 (P.43) から変更する項目を選ぶ

- 複数の項目を変更する場合は、手順 **2**～**3** を繰り返してください。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期化 を選ぶ

■ランチャーメニュー機能一覧

[**太字** : お買い上げ時の設定]

変更できる項目	
項　目	機　能
自宅	●未登録 : 自宅を登録する (P.24) ●登録済 : 自宅へ帰る (P.58)
お気に入り地点	●未登録 : お気に入り地点を登録する (P.74) ●登録済 : お気に入り地点を目的地にしてルート探索する (P.74)
登録地	登録地から行き先を探索する (P.58)
周辺施設	周辺施設検索をする (P.57)
地点を登録	現在地を登録地として登録する (P.73)
登録・履歴消去	登録地・目的地履歴・走行軌跡・登録ルートを削除する
右画面表示	右画面に表示する項目を設定する (P.49)
再探索	再探索を開始する (P.70)
案内スタート/ストップ	ルート案内を開始/中止する (P.55)
ルート編集	ルート編集画面を表示する (P.63)
ルートの全表示	全ルート図を表示する (P.61)
ナビ案内音量	ナビ案内音量を設定する (P.18)
渋滞地点	渋滞している地点を表示する
VICS文字情報	VICS文字情報を表示する (P.78)
VICS図形情報	VICS図形情報を表示する (P.78)
ETC2.0受信情報	ETC2.0受信情報を表示する (P.79)
ETC情報	ETC情報画面を表示する (P.166)
走行軌跡	走行軌跡の設定をする (P.50)
ランドマーク表示/消去	ランドマークを表示/消去する (P.51)
ランドマーク	ランドマークの設定画面を表示する (P.51)
道路切換	自車位置を別の道路に切り換える (P.70)
リダイヤル	リダイヤルする (P.139)
携帯電話登録一覧	登録機器一覧を表示する (P.134)
ユーザー切換	ユーザー1/ユーザー2を切り換える (P.25)
消音	オーディオの音声をミュートする (P.18)
画面OFF	画面を一時的に消す (P.19)
音声認識	Drive T@lkerを起動する (P.149)
ドライブレコーダー動画録画	ドライブレコーダーで動画の録画を開始する/終了する (P.176)
ドライブレコーダー静止画撮影	ドライブレコーダーで静止画を撮影する (P.176)
スマホ連携アプリ選択	スマートフォン連携で使用するアプリを選択する (P.135)

変更できない項目	
項　目	機　能
ナビチューン	ナビチューンを行う (P.44)

ルート・案内・地図・VICSをアレンジする　（ナビチューン）

1 ランチャーメニュー（P.42）から、ナビチューンを選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

[**太字**：お買い上げ時の設定]

ルート

ルートを選び、
ルート探索条件を設定する

- **有料道路優先**＊1［低～**中**～高］
  少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い
- **道幅優先**＊2［低～**中**～高］
  できるだけ距離優先＊3にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い
- **渋滞回避**［低～**中**～高］
  VICSの渋滞情報を考慮する度合い
- **ルート学習**［しない/**する**/アクティブ］
  本機が探索したルート以外を通ったときなどに、ルートを学習して次回の探索に反映させる度合い＊4
  ・アクティブ：より学習しやすくなります。
- **VICS考慮**［しない/**する**/ETC2.0広域］
  VICS情報を考慮する/しない
  ・ETC2.0広域：
  自車位置周辺の道路と前方の高速道路の情報を利用して探索します。＊5
- **スマートIC考慮**［**ON**/OFF］
  スマートICを考慮する（ON）/しない（OFF）
- **季節規制考慮**［**ON**/OFF］
  季節規制区間を回避する（ON）/しない（OFF）

ガイダンス

ガイダンスを選び、
案内について設定する

- **分岐案内頻度**［低/中/**高**］
  IC・JCT・交差点・踏切・料金所・目的地付近などでの案内の頻度

しない/ルート案内中のみする/常時する

- **合流案内**　［しない/案内中/**常時**］
- **踏切案内**　［しない/案内中/**常時**］

する（ON）/しない（OFF）

- **カーブ案内**　［**ON**/OFF］
- **事故多発地点案内**　［ON/**OFF**］

＊1 探索条件が「有料優先」（P.66）のときは考慮されません。
＊2 探索条件が「距離優先」（P.66）のときは考慮されません。
＊3 狭い道や未舗装の道を案内する場合があります。
＊4 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。
＊5 ETC2.0車載器接続時のみ

マップ

マップを選び、
地図表示について設定する

- **地図色**
  昼画面・夜画面の地図の色

ノーマル

（通常の地図）

道路メイン

（道路が見やすい）

ポップ

（地域を色分け）

ハイコントラスト

（夕暮れや夜間など、暗い車内でも見やすい白基調の地図）

- **文字サイズ**［小/**標準**］
  地図の文字サイズ
- **自車マーク**［**赤矢印（大）**］
  自車マークの種類と色

VICS WIDE

VICS WIDEを選び、
VICS情報の表示について設定する

- **情報点滅**［**ON**/OFF］
  VICS情報を点滅する/しない
- **有料道**［**ON**/OFF］
  有料道のVICS情報を表示する/しない
- **一般道**［**ON**/OFF］
  一般道のVICS情報を表示する/しない

駐車場、規制情報、渋滞情報の表示

表示する（ON）/しない（OFF）

- **駐車場**［**ON**/OFF］
- **規制**［**ON**/OFF］
- **範囲**（範囲情報のある規制）［**ON**/OFF］
- **渋滞・混雑**［**ON**/OFF］
- **渋滞なし**（渋滞のない道路の情報）［ON/**OFF**］
- **統計情報**［**ON**/OFF］

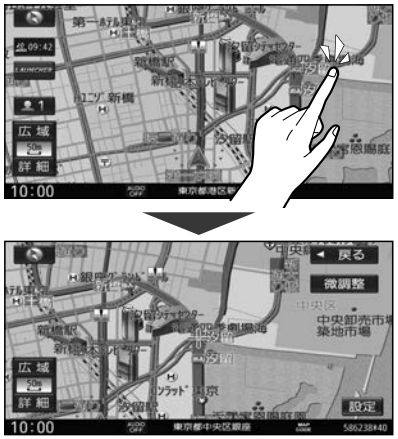
地図の操作

地図を動かす（スクロール）

タッチ、フリック、ドラッグ操作で地図をスクロールできます。（タッチパネルの操作→P.14）

タッチでスクロールする

地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。
- タッチし続けると、タッチしている方向にスクロールし続けます。

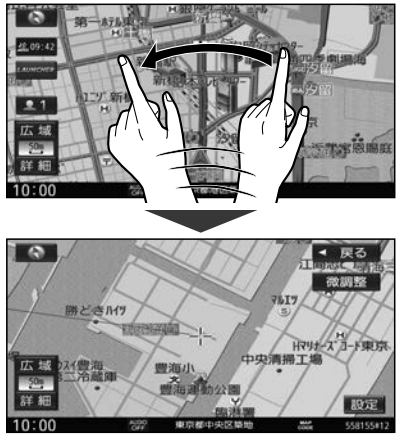
位置を微調整する

1 地図をスクロールさせ、**微調整** を選ぶ

2 位置を微調整し、**調整終了** を選ぶ

フリックでスクロールする

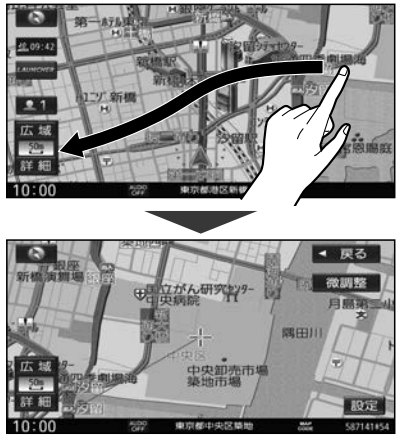
スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

ドラッグでスクロールする

スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 地図モード画面で、地図の向き・縮尺を切り換えても、現在地画面に戻すと、もとの設定に戻ります。
- 走行中はスクロールできません。市街地図（P.34）、3D地図（P.48）以外では、走行中もタッチ操作によるスクロールができます。（フリック/ドラッグでは操作できません。）
- スクロールさせた3Dの地図は、回転させることができます。（P.48）
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

縮尺を切り換える

タッチ、2点タッチ/ダブルタップ、ピンチ操作で縮尺を切り換えられます。
（タッチパネルの操作→P.14）

- 縮尺の範囲：5 m～250 km

タッチキーで縮尺を切り換える

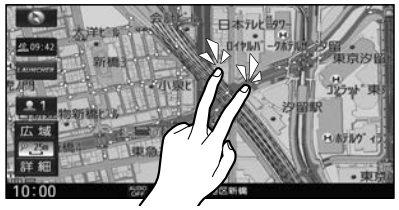
詳細 / **広域** を選ぶ

- タッチし続けると、ズームアウト/ズームインのイメージで縮尺が切り換わります。
- 縮尺バーにタッチすると、タッチした縮尺に切り換わります。

2点タッチ/ダブルタップで縮尺を切り換える

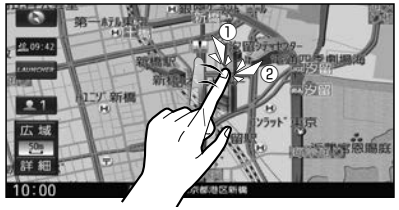
■ 広域に切り換えるには

2点タッチする



■ 詳細に切り換えるには

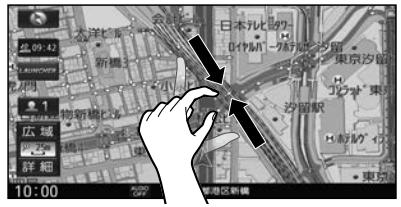
ダブルタップする



ピンチで縮尺を切り換える

■ 広域に切り換えるには

ピンチインする



■ 詳細に切り換えるには

ピンチアウトする

- 指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。

お知らせ

- 走行中にピンチ操作で縮尺を切り換えることはできません。

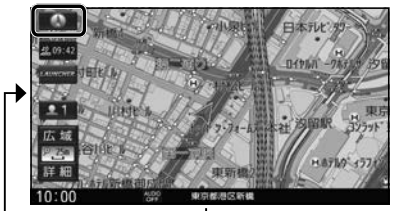
向きを切り換える（ノースアップ/ヘディングアップ/3D）

方位マーク（P.38）にタッチすると、地図の向きを切り換えられます。

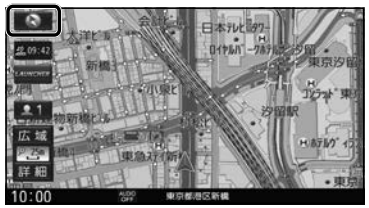
方位マーク（P.38）にタッチする

- タッチするごとに、地図の向きが切り換わります。

ノースアップ（北が上/2D）



ヘディングアップ（進行方向が上/2D）



3D（進行方向が上/3D）

お知らせ

- 3Dの地図の傾きを調整できます。（右記）

3Dの地図を操作する

地図を回転させる

3Dの地図をスクロールさせると、回転させることができます。

をタッチする

お知らせ

- 3Dの地図を回転させた状態でヘディングアップに切り換えると、3Dの地図の奥行方向が上向きの2D地図に切り換わります。

傾きを調整する

メイン画面（1画面・左画面）、右画面（P.49）で、異なる傾きを設定できます。（10段階）

1 ナビ設定画面（P.17）から 表示 を選ぶ

2 ■ メイン画面の傾きを調整する

メイン画面用地図設定の3D視角調整の をタッチする

■ 右画面の傾きを調整する

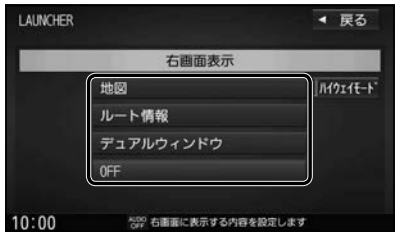
右画面用地図設定の3D視角調整の をタッチする

右画面を表示する（2画面）

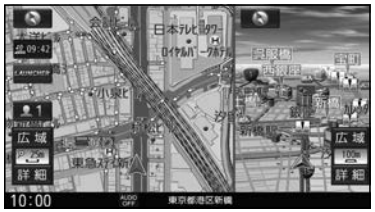
1 現在地画面（P.40）で LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から右画面に表示させる画面を選ぶ



- 地　図 ：地図を表示



・右画面は縮尺と向きを切り換えられます。

- ルート情報 ：ルート情報を表示（P.35）
- デュアルウィンドウ：オーディオを表示（P.129）
- ハイウェイモード：ハイウェイモードの表示をする/しないを設定する（P.193）

1画面に戻すには

右画面表示設定画面（上記）から OFF ▶ OK を選ぶ

- 1画面の地図に戻ります。

お知らせ

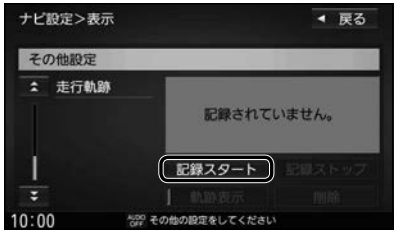
- ナビ設定から右画面を表示させることもできます。
  - ・右画面に地図表示→P.191
  - ・ルート情報の表示→P.193
  - ・デュアルウィンドウを表示→P.192

走行軌跡を表示する

走行軌跡の記録を開始するには

1 ナビ設定画面(P.17)から 表示 を選ぶ

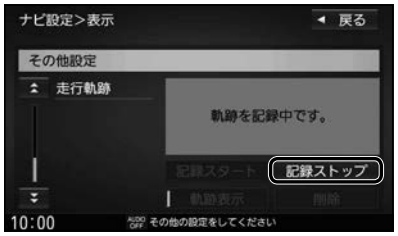
2 その他設定画面から走行軌跡の 記録スタート を選ぶ



- 走行軌跡が表示されます。
- 走行軌跡の記録を開始します。

走行軌跡の記録を停止するには

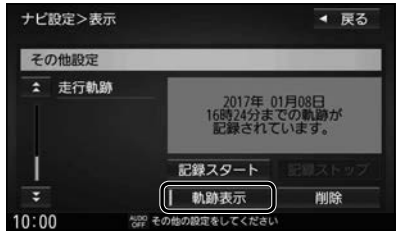
その他設定画面(上記)から走行軌跡の 記録ストップ を選ぶ



- 走行軌跡の記録を停止します。

走行軌跡の表示/非表示を切り換える

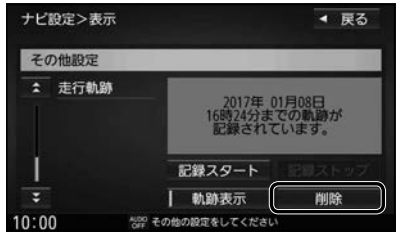
走行軌跡の記録が停止した状態で、その他設定画面(左記)から走行軌跡の 軌跡表示 を選ぶ



- 選ぶごとに表示/非表示が切り換わります。

走行軌跡の記録を削除するには

1 走行軌跡の記録が停止した状態で、その他設定画面(左記)から走行軌跡の 削除 を選ぶ



2 はい を選ぶ

- 走行軌跡の情報が削除されます。

お知らせ

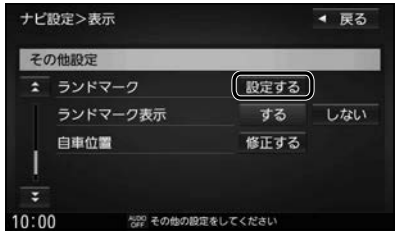
- 走行軌跡が記録されていないときは、軌跡表示 を選べません。そのときは、走行軌跡の記録を開始してください。
- 走行軌跡は500 kmまで記録できます(約200 mおき)。500 kmを超えると、古いものから削除されます。
- 走行軌跡を非表示にしても、走行軌跡の記録は残ります。走行軌跡の記録を削除するには、その他設定画面から走行軌跡の 削除 を選んでください。
- 走行軌跡の記録中は非表示にしたり、記録を削除できません。非表示にしたり削除する際には、走行軌跡の記録を停止してください。

表示するランドマークを選ぶ

最大300件選択できます。

1 ナビ設定画面(P.17)から 表示 を選ぶ

2 その他設定画面からランドマークの 設定する を選ぶ



3 表示したいランドマークを選ぶ

- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- 全解除:選択をすべて解除
- 全選択:すべての項目を選択

ランドマークを表示する

その他設定画面(上記)からランドマーク表示 する を選ぶ

- ランドマークが表示されます。
[お買い上げ時の設定:する]

ランドマークを消去するには

その他設定画面(上記)からランドマーク表示 しない を選ぶ

- ランドマークが消去されます。

地点メニューから操作する

地点メニューから、目的地・経由地・出発地・登録地などを設定したり、施設の詳細情報を見ることができます。

地図モード画面(P.40)から 設定 を選ぶ

- 地点メニューが表示されます。

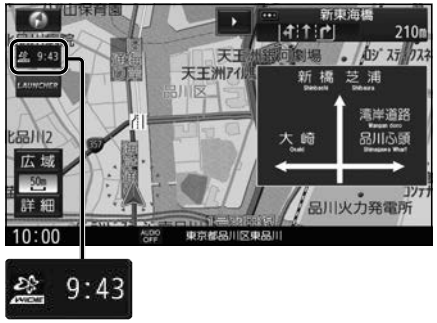
- ここに行く
カーソルの地点を目的地に設定して、ルート探索を開始する
- 5ルート
カーソルの地点を目的地に設定して、異なる条件で5ルートを探索する
- 立寄る(ルート案内中のみ)
カーソルの位置を経由地に設定して、ルート探索を開始する
- 地点登録
カーソルの地点を登録地として登録する
- 地点編集
(カーソルの地点が登録地の場合のみ)
登録地詳細画面を表示する
- 施設詳細
施設の詳細情報が表示される
(情報がある場合のみ)
- テナント情報
施設のテナント情報が表示される
(市街地図でテナント情報のある地点にカーソルを合わせて地点メニューを表示させた場合のみ)
- 周辺検索
カーソルの周辺の施設を検索する
周辺検索のしかた→P.57
- 閉じる
地図モード画面を表示する

お知らせ

- 表示されるタッチキーは、状況によって異なります。

地図上に表示されるVICS情報(レベル3)

VICS タイムスタンプ



情報が提供された時刻を表示

- 受信した時刻ではありません。
- ルート案内中にVICS タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点の地図を表示します。

お知らせ

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0のVICS情報を受信できます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。

ハイウェイマップ/ルート情報表示中は

- **規制情報:**
  区間ごとにマークを表示(2件まで)

- **渋滞・混雑区間:**
  道路を色分けして表示

車線ごとの渋滞情報表示

車線ごとの渋滞情報が、色分けして本数で地図上に表示されます。
(該当の情報が配信されているエリアのみ)
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト(https://www.vics.or.jp/)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	(三本線)	渋滞
橙	(二本線)	混雑
緑	(一本線)	渋滞なし

- **市街地図/広域地図表示中は**

- **ルート情報表示中は**

気象・災害情報表示

気象(1時間あたり50 ㎜以上の大雨など)の情報を受信すると、地図にVICS タイムスタンプが表示され、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。

お知らせ

- 表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。

渋滞情報

色	リアルタイム情報 従来の渋滞情報	リアルタイム情報 リアルプローブ情報	統計情報	渋滞度
赤	→	⇨	======	渋滞
橙				混雑
緑				渋滞なし

- 表示のしかたを設定できます。(P.45)

- **従来の渋滞情報(リアルタイム情報)**
  道路に設置の車両感知器などで収集した現在の情報
- **リアルプローブ情報(リアルタイム情報)**
  タクシーなどから収集した現在の情報
- **統計プローブ情報(統計情報)**
  タクシーなどから収集した情報のデータを統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは
走行している車から直接収集される「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青	P	SA	PA	空車
橙				混雑
赤				満車
黒				不明
赤				閉鎖

- 表示する/しないを設定できます。(P.45)

VICS情報マーク(例)

道路上の事象・規制がマークで表示されます。

マーク	内 容	マーク	内 容
	事　故		チェーン規制
	故障車		凍　結
	路上障害		速度規制
	工　事		徐　行
	作　業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒情報
	火　災		特別警報

- マークの内容を確認できます。(P.82)
- 表示する/しないを設定できます。(P.45)

行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

ツートップメニュー ⟷ 目的地メニュー

- ●名　　称 P.56
- ●登 録 地 P.58
- ●電話番号 P.56
- ●自　　宅 P.58
- ●周辺施設 P.57
- ●ジャンル P.58
- ●住　　所 P.57
- ●履　　歴 P.56
- ●マップコード P.59
- ●緯度・経度 P.59
- ●郵便番号 P.59

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

あかさたなタッチキー

50音順に並んだリストで表示されます。

- ●「あ」「か」「さ」「た」「な」「は」「ま」「や」「ら」「わ」の行ごとにリストを切り換えます。
- ●同じタッチキーを連続して選ぶと、選ぶごとに、段（あ→い→う→え→お）が切り換わります。

スクロールタッチキー

- ●リストをスクロールします。
- ●リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。（枠内でフリック/ドラッグしてください。）

リストから施設を選び、決定を選ぶ

- ● 距離順：現在地から近い順に並び換え
- ● 50音順：50音順に並び換え
- ● 絞込み：地域・ジャンルで絞り込み
- ● 詳　細：施設の詳細情報を表示
- ● ☎：施設に電話をかける
- ● 出入口：施設の出入口の情報がある場合、出入口を表示

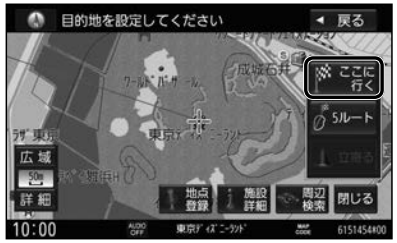
検索結果画面

- ●検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報がある場合はメッセージが表示されます。はいを選ぶと出入口のリストが表示されます。（P.59）

2 行き先に設定する

地点メニューから ここに行く を選ぶ

- ●ルート探索を開始します。
- ●地点メニューの操作→P.51



ルート探索が完了し、全ルート図が表示されたら、案内スタート を選ぶ

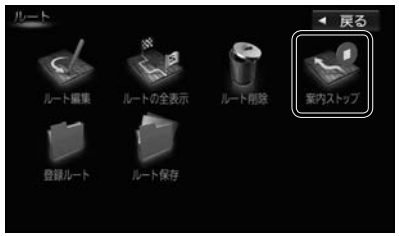
- ●案内を開始します。
- ●全ルート図→P.61～62
- ●車を発進させても案内を開始します。
- ●ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます（P.192）。ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

全ルート図

ルート案内を中止する

1 ツートップメニュー（P.26）から ルート を選ぶ

2 ルートメニューから 案内ストップ を選ぶ

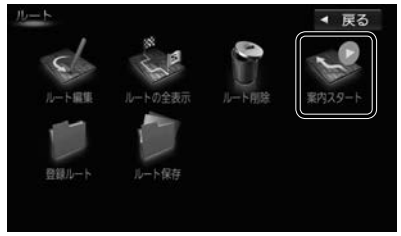


ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。

- ●ルートそのものは削除されません。

ルート案内を再開するには

ルートメニューから 案内スタート を選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを削除する

1 ルートメニュー（上記）から ルート削除 を選ぶ

2 はい を選ぶ

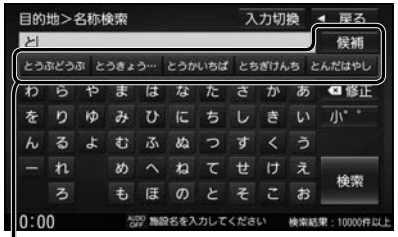
ルートそのものが削除されます。

行き先を探す

施設の名称で探す

1 目的地メニュー(P.27)から 名称 を選ぶ

2 名称を入力し、検索 を選ぶ
- 修正:1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 文字入力のしかた→P.214
- 候補が10 000件を超える場合、現在地から近い順に10 000件まで表示されます。
  並び換えや絞り込みは、表示された10 000件を対象に行います。



- 入力した履歴から、候補が5件まで表示されます。表示されている候補から選ぶか、候補 を選んでリストから候補を選ぶと、その名称が入力欄に表示されます。

3 リストから施設を選び、決定 を選ぶ
- 戻る:入力した名称を修正

施設を絞り込む

地域で絞り込むには

1 絞込み ▶ 地域 を選ぶ

2 都道府県▶市区町村を選ぶ
- 全国:地域絞り込みを解除

ジャンルで絞り込むには

1 絞込み ▶ ジャンル を選ぶ

2 絞り込むジャンルを選ぶ
- 全ジャンル:ジャンル絞り込みを解除

地図が表示されます。(P.60)

電話番号で探す

1 目的地メニュー(P.27)から 電話番号 を選ぶ

2 電話番号を市外局番から入力し、検索 を選ぶ
- 修正:1文字削除
- 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。
- 市内局番までしかわからない場合は、市内局番までを入力して 検索 を選びます。
- 11桁の電話番号の場合は、10桁まで入力すると、該当する電話番号のリストが表示されます。(10件まで)
  リストから施設を選んでください。

3 (個人宅の電話番号を検索したときのみ)名字を入力し、検索 を選ぶ
- 修正:1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 文字入力のしかた→P.214

地図が表示されます。(P.60)

目的地・経由地の履歴から探す

1 目的地メニュー(P.27)から 履歴 を選ぶ
- 以前目的地・経由地に設定した場所のリストが新しい順に100件まで表示されます。

2 リストから履歴を選び、決定 を選ぶ
- 削 除:選んだ履歴を削除
- 全削除:すべての履歴を削除

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ
- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

周辺の施設から探す

現在地、目的地周辺や、ルート沿いの施設を検索できます。(最大100件)
- ジャンル一覧→P.234

1 目的地メニュー(P.27)から 周辺施設 を選ぶ

2 検索方法を選ぶ
- 地図周辺:地図の中心周辺の施設
- ルート沿い:ルート沿いの施設*1*2
- 目的地周辺:目的地周辺の施設*2

*1 現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索
*2 ルート案内中のみ

3 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから
ジャンル▶中分類▶小分類を選び、検索 を選ぶ
- 中分類・小分類は、複数の項目を選ぶことができます。選んだ項目には、チェックマーク(✔)が付きます。
- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。
- 全選択:すべての項目を選択する
- 全解除:すべての項目を解除する

ジャンル名を入力して選ぶ

1 ジャンル名入力 を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、検索 を選ぶ
- 修正:1文字削除
- 文字入力のしかた→P.214

3 リストから項目を選ぶ

4 リストから施設を選び、決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

住所で探す

リストから検索する

1 目的地メニュー(P.27)から 住所 を選ぶ

2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ
- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、代表地点 を選ぶと、その地域の地図を表示します。

3 数字キーで番地・号を入力し、検索 を選ぶ
- 番地・号は、「ー」で区切ってください。
- 修正:1文字削除
- リストから番地・号を選ぶこともできます。

地図が表示されます。(P.60)

住所を入力して検索する

住所の一部を入力しても検索できます。

1 目的地メニュー(P.27)から 住所 を選ぶ

2 地名部分入力 を選ぶ

3 地名を入力し、検索 を選ぶ
- 修正:1文字削除

4 リストから地名を選ぶ

5 以下の住所を選び、検索 を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。
(最大100件)
●ジャンル一覧→P.234

1 目的地メニュー(P.27)から ジャンル を選ぶ

2 ジャンルを選ぶ

リストから選ぶ

リストから
ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ
●リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

ジャンル名を入力して選ぶ

1 ジャンル名入力 を選ぶ

2 ジャンル名を入力し、検索 を選ぶ
● 修正 :1文字削除

3 リストから項目を選ぶ
●リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

3 検索する範囲の中心となる地点を選ぶ
● 地図周辺 :地図の中心周辺の施設
● 目的地周辺 :目的地周辺の施設*1
● ルート周辺 :ルート周辺の施設*1*2
● 都道府県 :選んだ都道府県の施設
● 地域/路線 :選んだ地域/路線の施設*3

*1ルート案内中のみ
*2現在地からルート沿いに左右約100 m、進行方向に約10 km以内を検索
*3 交通機関 ▶ 高速・都市高速・有料道路施設 ▶ IC/SA/PA 選択時のみ

4 リストから施設を選び、決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ
●スマートICは検索できません。

登録地から探す

準備
●地点を登録してください。(P.73)

1 目的地メニュー(P.27)から 登録地 を選ぶ

2 リストから登録地を選び、決定 を選ぶ
● 登録順 :登録された順で表示
● マーク順 :マーク(P.76)順で表示

フォルダのリストから選ぶ

1 フォルダ を選ぶ
●フォルダ→P.73

2 メインフォルダ、フォルダ01 ～ フォルダ20 を選ぶ
●選んだフォルダの登録地のリストが表示されます。
●フォルダ名は変更できます。(P.73)
● 全表示 :すべてのフォルダの登録地のリストを表示

3 リストから登録地を選び、決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

自宅へ帰る

目的地メニュー(P.27)から 自宅 を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。(P.61)

お知らせ
●自宅を登録していない場合は、自宅を登録する画面が表示されますので、はい を選んで登録してください。(P.24)

NSZN-Y71DS NSZN-W71D
●オプションボタン設定(P.25)が「自宅」に設定されている場合は、★ を押しても自宅までのルートを探索できます。

マップコードで探す

マップコードについて、詳しくはP.225をご覧ください。

1 目的地メニュー(P.27)から マップコード を選ぶ

2 マップコードを入力し、検索 を選ぶ
● 修正 :1文字削除

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ
●本機は高分解能マップコードにも対応しています。(マップコードHR)

緯度経度で探す

1 目的地メニュー(P.27)から 緯度・経度 を選ぶ

2 緯度経度を入力し、検索 を選ぶ
● 修正 :1文字削除

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ
●本機は日本測地系の緯度・経度に対応しています。

郵便番号で探す

1 目的地メニュー(P.27)から 郵便番号 を選ぶ

2 郵便番号を入力し、検索 を選ぶ
● 修正 :1文字削除

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ
●4桁以上入力してください。
●入力の途中で 検索 を選ぶと、該当する郵便番号のリストが表示されます。リストから郵便番号を選ぶと、周辺の地図が表示されます。

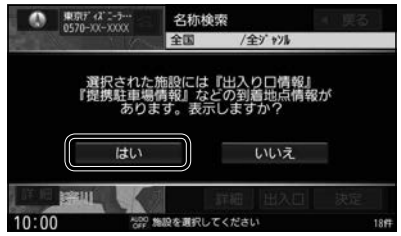
施設の出入口・提携駐車場を探す

検索した施設に出入口の情報がひとつある場合は、自動的に出入口へのルートを探索します。

検索した施設に提携駐車場や複数の出入口の情報がある場合は、メッセージが表示されます。下記の手順で出入口・提携駐車場などを選択してください。

1 施設を検索する
●検索のしかた→P.56～59

2 メッセージが表示されたら、はい を選ぶ



3 リストから出入口・提携駐車場などを選び、決定 を選ぶ

地図が表示されます。(P.60)

お知らせ
●検索結果画面(P.54)から 出入口 を選んでも、出入口のリストが表示されます。

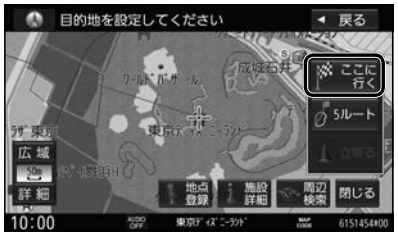
ルートを探索する

目的地に設定する

1 地点を検索する

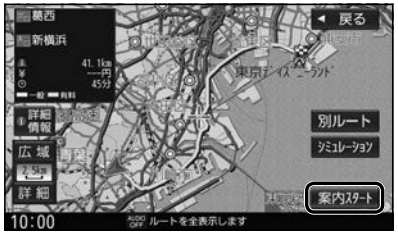
- 検索のしかた→P.56～59

2 地点メニューから ここに行く を選ぶ



- カーソルの地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路、盗難多発地点がある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 案内スタート を選ぶ



- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、約1分間何も操作しないと、ルート案内を開始します。
- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます(P.192)。ルートの全表示「しない」に設定すると、ルート探索完了後、自動的にルート案内を開始します。

お知らせ

- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。

経由地に設定する

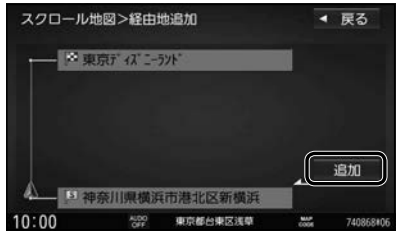
1 地点を検索する

- 検索のしかた→P.56～59

2 地点メニューから 立寄る を選ぶ

- カーソルの地点を次の経由地に設定し、ルート探索を開始します。
- 検索した施設に出入口や提携駐車場の情報がある場合や、有料道路がある場合は、メッセージで案内される場合があります。

3 経由地を追加する区間の、追加 を選ぶ



- ルート探索を開始します。

4 案内スタート を選ぶ

- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 経由地の順番を入れ換えるには→P.64

全ルート図から設定・確認する

ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。

- ルート探索完了後、全ルート図を表示する/しないを設定できます(P.192)。ルートの全表示「しない」に設定した場合は、手動で全ルート図を表示させてください。(下記)

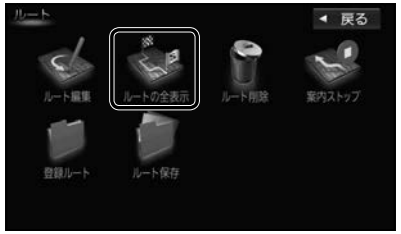
全ルート図

- 別ルート ..... 右記
- 詳細情報 P.62
- シミュレーション P.62

手動で全ルート図を表示させる

1 ツートップメニュー(P.26)から ルート を選ぶ

2 ルートメニューから ルートの全表示 を選ぶ



- 全ルート図が表示されます。

5つの条件のルートから選ぶ

1 全ルート図(左記)から 別ルート を選ぶ

- 5つのルートが表示されます。
- 同じルートが表示される場合があります。
- 経由地(P.60)を設定したときは、別ルート探索できません。
- ルート編集画面から 複数探索 を選んでも、別ルート探索できます。

2 ルートを選ぶ

- おまかせ:高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート
- 有料優先:高速道路・有料道路を優先して通るルート
- 一般優先:一般道路を優先して通るルート
- eco:燃料消費と有料道路料金をトータルで節約するルート
- 距離優先:距離が短くなるルート

ルートごとの走行距離、料金、所要時間などを比較できます。

3 案内スタート を選ぶ

- ルート案内を開始します。

お知らせ

- ルートメニュー(左記)から ルートの全表示 を選んで表示させた全ルート図からは、別ルート探索できません。

全ルート図から設定・確認する

ルートの詳細情報を見る

1 全ルート図(P.61)から
詳細情報 を選ぶ

- 通過する道路名とその距離が表示されます。

2 ルート詳細情報を確認する

▲: 目的地方向に進む
▼: 出発地方向に戻る

ルート案内を開始するには

Ⓐ を押す

ルートをシミュレーションする

全ルート図(P.61)から
シミュレーション を選ぶ

- シミュレーションを開始します。

シミュレーションを終了するには

シミュレーション中に
シミュレーション中止 を選ぶ

- シミュレーションを終了します。
- ▭ を押してもシミュレーションを中止します。

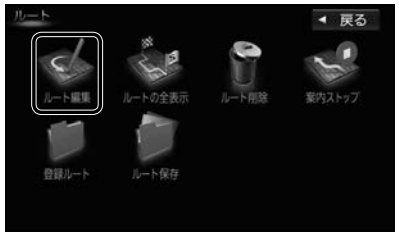
お知らせ

- 長距離のシミュレーションには時間がかかります。

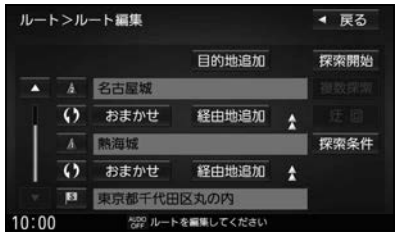
ルートを編集する

1 ツートップメニュー(P.26)から
ルート を選ぶ

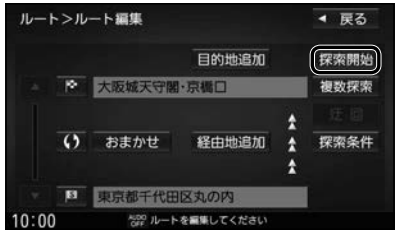
2 ルートメニューから
ルート編集 を選ぶ



3 ルート編集画面から
ルートを編集する→P.63～64



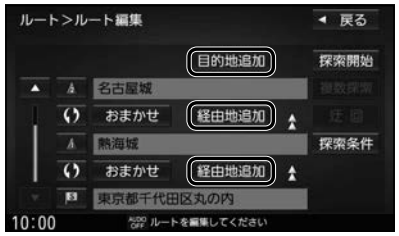
4 **探索開始** を選ぶ



- ルート探索を開始し、完了すると全ルート図が表示されます。
- **探索条件** を選ぶと、ナビ設定の探索条件を設定できます。(P.194)

経由地・目的地を追加する

1 ルート編集画面(左記)から
経由地・目的地を追加したい場所の
経由地追加 / **目的地追加** を選ぶ

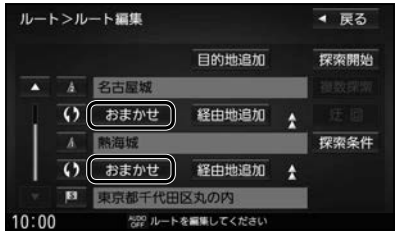


2 経由地・目的地にしたい場所を
検索する(P.56～59)

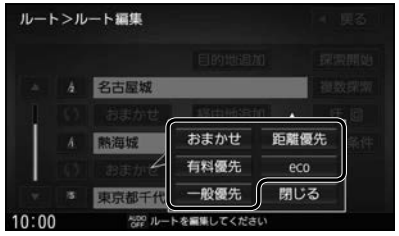
- 検索した地点が、経由地・目的地として追加されます。

区間ごとの探索条件を変更する

1 ルート編集画面(左記)から
変更したい探索条件を選ぶ



2 探索条件を設定する(P.66)

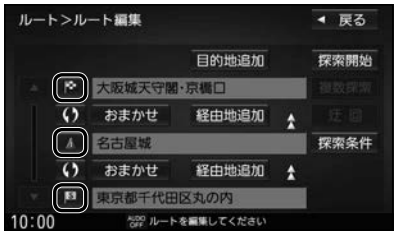


- 探索条件が変更されます。

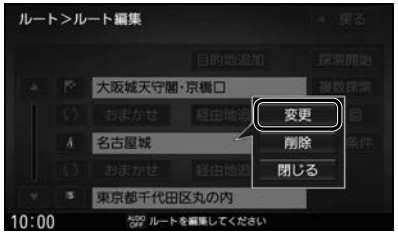
ルートを編集する

出発地・経由地・目的地を変更する

1 ルート編集画面(P.63)から
変更したい出発地・経由地・目的地を選ぶ



2 変更を選ぶ

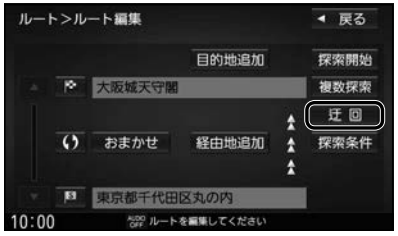


3 変更したい場所を検索する(P.56～59)

- 出発地・経由地・目的地の場所が変更されます。

迂回するルートに設定する

1 ルート編集画面(P.63)から迂回を選ぶ



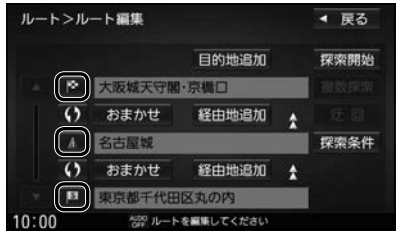
2 迂回する距離を選ぶ

- 設定範囲：1 km /2 km /5 km /10 km
- 設定された距離を迂回するルートを探索します。
- 次の経由地または目的地までの距離が設定した距離より短い場合、設定した距離にかかわらず、次の経由地または目的地までを迂回するルートを探索します。

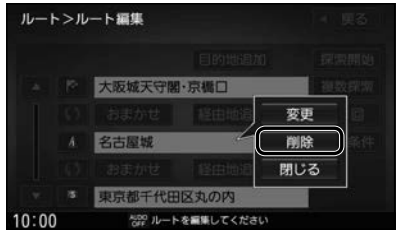
出発地・経由地・目的地を削除する

1 ルート編集画面(P.63)から
削除したい出発地・経由地・目的地を選ぶ

- 経由地が設定されている場合は、出発地と目的地が削除できます。



2 削除を選ぶ

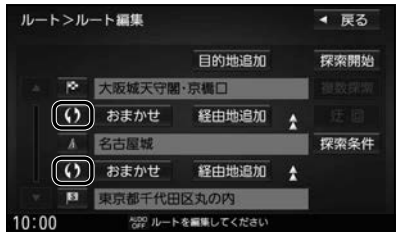


3 はいを選ぶ

- 出発地・経由地・目的地が削除されます。

経由地・目的地を並べ換える

ルート編集画面(P.63)から
並べ換えたい区間の⟲を選ぶ



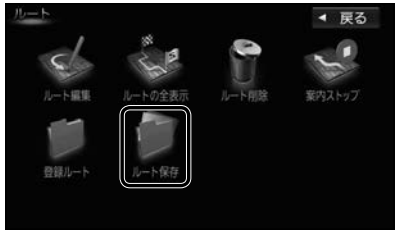
- 選んだ区間で順番が入れ換わります。

ルートを保存する

ルートを保存する

探索したルートを登録しておいて、必要なときに呼び出せます。(20ルートまで)

ルートメニュー(P.63)から
ルート保存を選ぶ



- 現在のルートが保存されます。

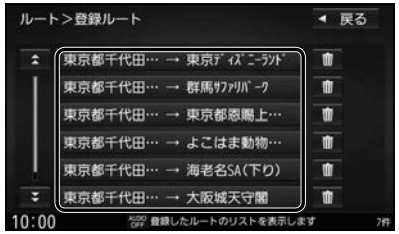
お知らせ

- すでに20ルート登録されている場合は、ルートを保存できません。不要なルートを削除してください。

保存したルートを呼び出す

1 ルートメニュー(P.63)から
登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから
呼び出したいルートを選ぶ



- 選択したルートが呼び出されます。

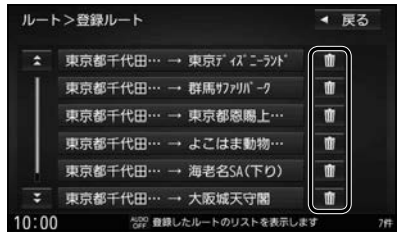
3 (すでにルートがある場合)
はいを選ぶ

- 前のルートが削除され、選択したルートが呼び出されます。

保存したルートを削除する

1 ルートメニュー(P.63)から
登録ルートを選ぶ

2 登録ルートのリストから
削除したいルートの🗑を選ぶ



3 はいを選ぶ

- 選んだルートが削除されます。

ルート探索について

探索条件について

おまかせ：高速道路・有料道路／一般道路の使用を自動で判断したルート（通常はおまかせで探索します。）

有料優先：高速道路・有料道路を優先して通るルート

一般優先：一般道路を優先して通るルート

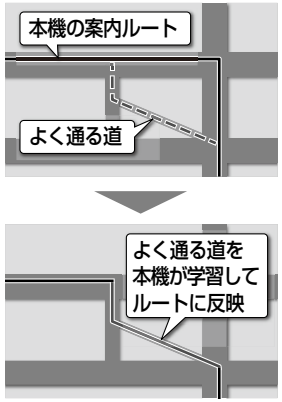
eco：燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート

距離優先：距離が短くなるルート

お知らせ

- 一般優先で探索しても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。
- 探索条件を変更するには→P.63、70
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。

ルート学習について



本機は、普段使用している道を学習し、ルート探索に活用します。

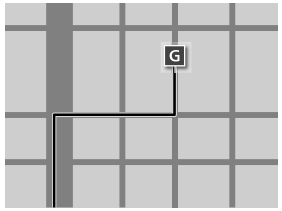
- 学習した道をすべて消去するには、「ルート学習結果の初期化」を行ってください。(P.197)

■**普段使用する道の周辺で意図しないルートが探索されるときは**

他の効率の良い道よりも、本機が学習した道を優先してルート探索されている場合があります。そのときは、通りたい道を何度か通ると、本機がその道を学習し、優先的に通るルートを探索するようになります。

- 「ルート学習結果の初期化」(P.197) を行っても、学習した道が消去されるため、効率の良い道を優先して通るルートを探索します。

細街路探索について

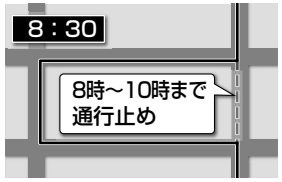


出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3 m以上5.5 m未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。

曜日時間規制探索について

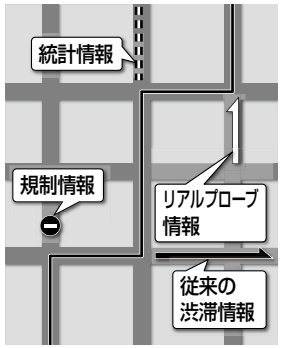


月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探索します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

- 時間規制道路を考慮する／しないの設定→P.194

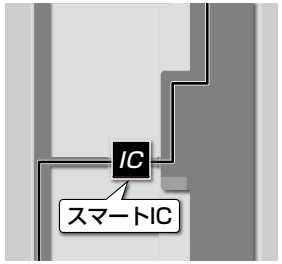
VICS考慮について



FM-VICSの渋滞／規制情報をもとに、渋滞／規制を避けたルートを探索します。

- 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞／規制情報も考慮して、渋滞／規制の場所を避けたルートを探索します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞／規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞／規制情報をもとにVICS考慮する／しないの設定ができます。（VICS考慮→P.45）

スマートICを通るルートについて



スマートICの利用を考慮したルートを探索します。
その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、**通行できる車種の情報は考慮されません。また、ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートICを通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートICの状況に従って通行してください。**

- スマートIC考慮する／しないの設定ができます。（スマートIC考慮→P.44）

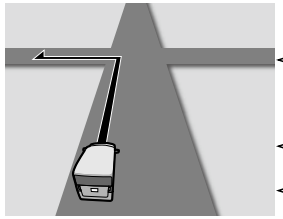
お願い

- **スマートICは、ETC専用のインターチェンジです。ETC車載器、ETC2.0車載器を搭載していない車両の場合は、スマートIC考慮を「しない」に設定してください。**

ルート案内中に

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内



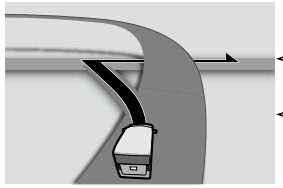
■ 交差点に近づくと

およそ300 m先、
大手町を左方向です。

まもなく大手町を左方向です。

左方向です。

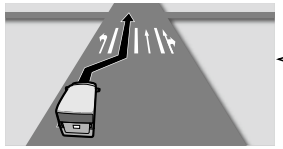
● 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。



■ 側道では

まもなく、左方向、側道です。

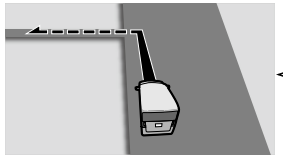
左方向です。



■ レーンのある道路では

およそ300 m先、左折専用車線に注意してください。

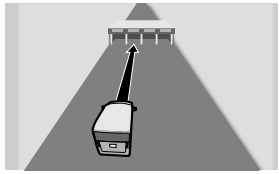
● 専用レーン案内の設定→P.193



■ 狭い道に入るときは

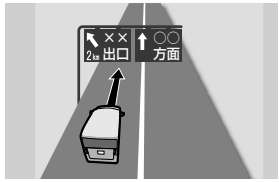
左方向です。
この先、実際の交通規制に従って走行してください。

高速道路・有料道路走行中の音声案内



■ 料金所付近では

まもなく、料金所です。

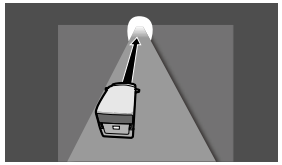


■ 分岐地点に近づくと

およそ2 km先、
左方向、外苑出口です。

まもなく、左方向、外苑出口です。

トンネルに入ると



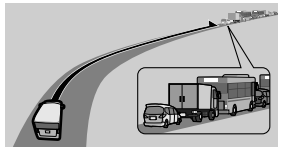
およそ600 m先、
トンネル出口です。

● トンネル出口案内の設定→P.193

● ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内されます。
● 距離の短いトンネルでは案内されない場合があります。
● 別の案内がある場合、案内されない場合があります。

前方が渋滞していたら（VICS案内）

ルート上の渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。（前方約10 km以内）

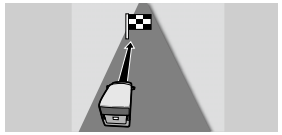


およそ、3 km先、
渋滞しています。

● VICS案内の設定→P.193

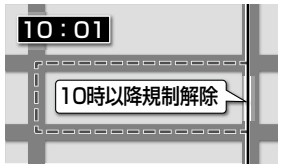
● ルートが設定されていないときは音声によるVICS案内を行わず、VICS表示のみ行います。（VICS情報の表示設定→P.45）

経由地・目的地の音声案内



目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

ルート案内中の曜日時間規制探索



ルート上の現在地周辺の月･曜日･時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更します。

規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

● 時間規制道路を考慮する/しないの設定→P.194

ルート案内中のVICS自動再探索（スイテルート案内）

FM-VICSの渋滞/規制情報（P.53）を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更します。（DRGS＊1）

● 別売のETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探索します。
● 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
● 渋滞/規制情報をもとにVICS考慮する/しないの設定ができます。（VICS考慮→P.44）
● VICS自動再探索の設定→P.194

＊1 DRGS：ダイナミックルートガイダンスシステム

新しいルートと前のルートを比較する（新旧ルート比較）

曜日時間規制探索やDRGSで新しいルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行できる場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。（新旧ルート比較）表示が消えるまで何も操作しないと、変更後のルートで案内を開始します。

表示中に 旧ルートに戻す を選ぶと、変更前のルートで案内します。

● 新旧ルート比較をしない場合があります。
　・変更前のルートを通行できないとき（通行止め、規制など）
　・現在地から約30 kmより先のルートが変更されたとき
● 新旧ルート比較画面を表示する/しないの設定→P.194

ルート案内中に

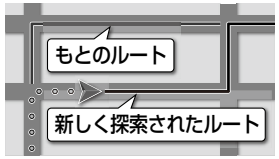
音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

次の交差点などの音声案内を聞く

ルート案内中に、Ⓐを押す

- 次の分岐交差点などが案内されます。

ルートから外れたときの自動再探索



ルートを外れても、自動的に再探索します。

- 自動再探索する/しないの設定→P.194

休憩メッセージ案内

長時間の運転中、音声で休憩を促します。

- 休憩メッセージ案内の設定→P.193

例：長時間運転している場合、

そろそろ休憩しませんか。

エコ運転アドバイス

エコドライブをすすめる音声案内を約1週間に一度の割合で出力します。

- エコ運転アドバイスする/しないの設定→P.157

例：

タイヤの空気圧が適正でないと、抵抗が大きく燃費が悪くなります。

車は重くなると多くの燃料を消費します。運ぶ必要のない荷物は、降ろして運転しましょう。

※エコ運転のためのアドバイスであり、実際の車の状況を案内しているわけではありません。

もう一度ルートを探索する

1 ランチャーメニュー（P.42）**から 再探索 を選ぶ**

- 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。

2 再探索条件（おまかせ/有料優先/一般優先/距離優先/eco）を選ぶ

- 選んだ条件で再探索します。

走行中の道路を誤って認識したとき（道路切換）

高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を取り違えることがあります。
（例えば、自車が高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など）
このような場合に、地図のマッチングを手動で切り換えて、正しい位置に修正します。

- ランチャーメニュに 道路切換 が表示されるように設定してください。

ランチャーメニュー（P.42）**から 道路切換 を選ぶ**

- そのまましばらく走行すると、自車位置の道路（高速道路/一般道路）を切り換えて再探索されます。
- 道路切換は、隣接する並行な道路を対象としています。

注意案内表示の案内

状況	表示	音声
急なカーブに近づくと＊1 （カーブ案内）		この先、カーブです。
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくと＊2 （合流案内）		この先、**左から**の合流車両に注意してください。
踏切付近では＊3 （踏切案内）		まもなく、踏切です。
一般道の事故多発地点に近づくと （事故多発地点案内）		この先、事故多発地点です。注意してください。

＊1　カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。
＊2　一部の一般道でも案内される場合があります。
＊3　踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。

お知らせ

- 複数の注意案内表示がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや、高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかったり、実際とは異なった案内がされる場合があります。
- 案内のしかたや頻度を設定できます。（P.44）

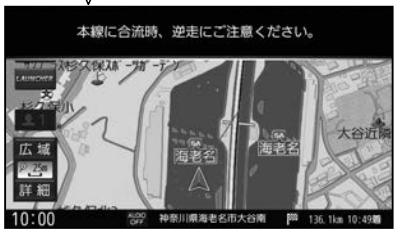
逆走注意アラーム・逆走警告

■ SA/PAに駐車したときは

駐車して車のエンジンを切ったあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。→P.224
- 逆走注意アラームの設定→P.193

"ポーン"
現在自動車専用道路を走行しています。
逆走にご注意ください。

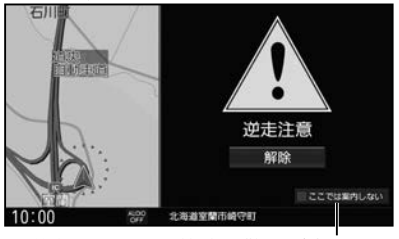


■ 高速道路や料金所などを逆走しているときは

逆走のおそれがある旨を警告します。

- 逆走してしまった場合は、安全な場所（路側帯など）に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、警告をする/しないの設定が切り換わります。（P.193）
- 逆走警告について、詳しくはP.224をご覧ください。

"ポーン"
逆走のおそれがあります。
進行方向にご注意ください。



■ 逆走警告表示を消去するには

解除 を選ぶ

- 逆走していない状態で警告が表示された場合は、**ここでは案内しない** をタッチすると、次回からその地点での逆走警告は案内されなくなります。

お知らせ

- 「登録データの初期化」（P.197）/「出荷状態に戻す」（P.197）の操作を行うと、**ここでは案内しない** の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

地点を登録する（登録地）

登録地について

1ユーザーにつき最大900件まで登録できます。（自宅、お気に入り地点を含む）

- 登録された地点は、マークで表示されます。
- 登録地を表示する/しないの設定→P.192

カーソルの地点を登録する

登録したい場所にカーソルを合わせ、地点メニュー（P.51）から **地点登録** を選ぶ

- カーソルの位置（地点）が登録されます。

現在地を登録する

準備

- ランチャーメニューに「地点を登録」が表示されるように設定してください。（P.42）

ランチャーメニュー（P.42）から **地点を登録** を選ぶ

- 現在地が登録地として登録されます。

登録地をフォルダで管理する

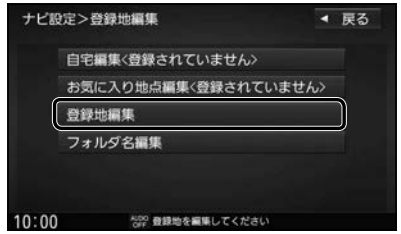
登録地をフォルダごとにまとめて管理できます。（20フォルダ＋メインフォルダ）
フォルダ名は、変更することもできます。

フォルダを移動する

1 情報・設定メニュー（P.26）から **ナビ設定** を選ぶ

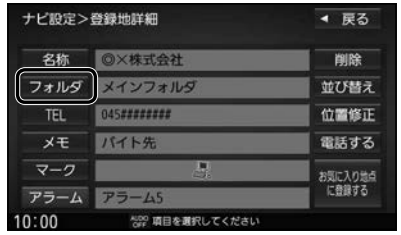
2 ナビ設定メニューから **登録地編集** を選ぶ

3 登録地編集画面から **登録地編集** を選ぶ



4 登録地のリストから登録地を選ぶ

5 登録地詳細画面から **フォルダ** を選ぶ



6 移動先のフォルダを選ぶ

- 選んだフォルダに移動します。

フォルダ名を変更する

1 登録地編集画面（上記）から **フォルダ名編集** を選ぶ

2 名称を編集するフォルダを選ぶ

3 フォルダ名を入力し、**決定** を選ぶ

- 全角14文字（半角29文字）まで
- 文字入力のしかた→P.214

地点を登録する（登録地）

お気に入り地点を登録する

よく使う地点をお気に入り地点として登録すると、ランチャーメニューからかんたんに呼び出して、目的地に設定できます。（1件のみ）

お気に入り地点を登録する

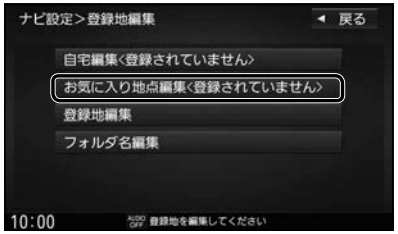
準 備

- お気に入り地点にしたい地点を登録地として登録してください。（P.73）

1 情報・設定メニュー（P.26）から **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定メニューから **登録地編集** を選ぶ

3 お気に入り地点が登録されていない状態で登録地編集画面から **お気に入り地点編集<登録されていません>** を選ぶ



- すでに登録されている場合は、お気に入り地点の登録地詳細画面（P.75）が表示されます。

4 リストからお気に入り地点にしたい登録地を選ぶ

- お気に入り地点が登録されます。

お知らせ

- 登録地詳細画面（P.75）から **お気に入り地点に登録する** を選んでも、お気に入り地点に登録できます。

お気に入り地点を解除するには

1 お気に入り地点が登録された状態で、登録地編集画面（上記）から **お気に入り地点編集** を選ぶ

2 お気に入り地点の登録地詳細画面から **お気に入り地点を解除する** を選ぶ

3 **はい** を選ぶ

- お気に入り地点が解除されます。

お気に入り地点を呼び出す

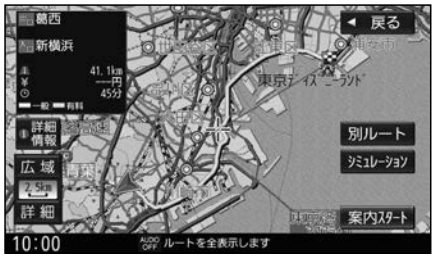
準 備

- お気に入り地点を登録してください。（左記）
- ランチャーメニューに「お気に入り地点」が表示されるように設定してください。（P.42）

1 ランチャーメニュー（P.42）から **お気に入り地点** を選ぶ

- お気に入り地点を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

2 （ルートが設定されている場合のみ） **はい** を選ぶ



登録地の情報を見る

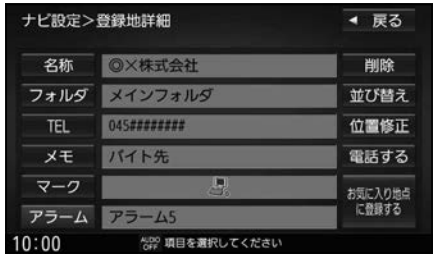
地点メニューから情報を見る

1 登録地にカーソルを合わせ、**設定** を選ぶ

2 地点メニュー（P.51）から **地点編集** を選ぶ

- 登録地詳細画面が表示されます。

登録地詳細画面



- 登録地の情報は編集できます。（P.76）

情報・設定メニューから情報を見る

1 情報・設定メニュー（P.26）から **ナビ設定** を選ぶ

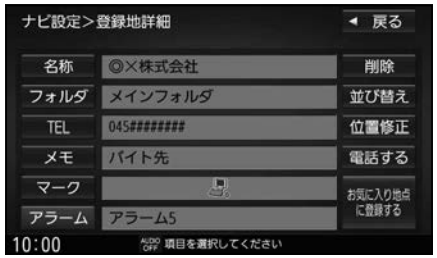
2 ナビ設定メニューから **登録地編集** を選ぶ

3 登録地編集画面から **登録地編集** を選ぶ

4 リストから登録地を選ぶ

- 選んだ登録地の登録地詳細画面が表示されます。
- **全 削 除**：すべての登録地を削除
- **全 表 示**：すべての登録地をリスト表示
- **フォルダ**：フォルダのリストを表示
- **登 録 順**：登録された順に並べ換え
- **マーク順**：マーク順に並べ換え

登録地詳細画面



- 登録地の情報は編集できます。（P.76）

登録地を編集する

名称を編集する

1 名称 を選ぶ

2 名称を入力し、決定 を選ぶ
- 全角12文字（半角25文字）まで
- 文字入力のしかた→P.214

フォルダを移動する→P.73

電話番号を編集する

1 TEL を選ぶ

2 電話番号を入力する（携帯電話・PHSの番号も可）

3 決定 を選ぶ

メモを編集する

1 メモ を選ぶ

2 メモを入力する
- 全角16文字（半角32文字）まで
- 文字入力のしかた→P.214

3 決定 を選ぶ

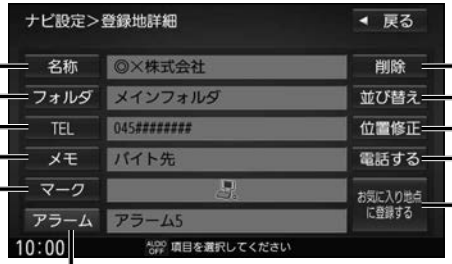
マークを変更する

1 マーク を選ぶ

2 リストからマークを選ぶ

3 戻る を選ぶ

登録地詳細画面



- 登録地詳細画面を表示するには→P.75

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

1 アラーム を選ぶ

2 アラームの種類を選ぶ
[お買い上げ時の設定：OFF（アラームを鳴らさない）]

3 アラームで案内する距離を選ぶ
- 調整範囲：50 m/100 m/300 m/500 m
[お買い上げ時の設定：50 m]

4 どの方向から近づくと
アラームで案内するかを設定する
[お買い上げ時の設定：OFF(全方位)]
① 進入角度 を選ぶ
② で進入角度を調整し、
セット を選ぶ

■進入角度をOFFにするには
再度 進入角度 を選ぶ

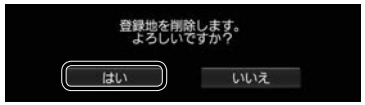
5 戻る を選ぶ

登録地を削除する

一度削除するともとに戻せません。
削除は十分確認のうえ行ってください。

1 削除 を選ぶ

2 はい を選ぶ



- 登録地が削除されます。

リストの並び順を変更する

1 並び替え を選ぶ

2 移動先の 挿入 を選ぶ

登録地の位置を修正する

1 位置修正 を選ぶ

2 変更したい場所に
スクロールさせる

3 セット を選ぶ
- 微調整：位置の微調整ができます。

登録地の番号に電話をかける＊1

電話する を選ぶ
- 登録地の電話番号に電話をかけます。
- 通話中の操作について→P.138

＊1 BLUETOOTH接続中のみ

お気に入り地点を登録する（P.74）

VICS情報を見る

VICSとは

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。VICSはVehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略です。

- **本機では、FM-VICSを受信できます。**
- **ETC2.0車載器キット（光ビーコン対応モデル）（別売品）を接続すると、下記を受信できます。**
  - ・ETC 2.0サービス（電波ビーコン 5.8GHz）および光ビーコンからのVICS情報
  - ・信号情報活用運転支援システム（TSPS＊1）による情報

＊ 1 TSPSはTraffic Signal Prediction Systemsの略です。

お知らせ

- 渋滞情報に関する設定は→P.195
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型（レベル1）のVICS情報を受信すると

FM多重で受信すると

受信しても、自動的に表示されません。
- 受信した情報を手動で見るには→P.82

光ビーコンで受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間（7～15秒間）割り込み表示されます。

図形表示型（レベル2）のVICS情報を受信すると

FM多重で受信すると

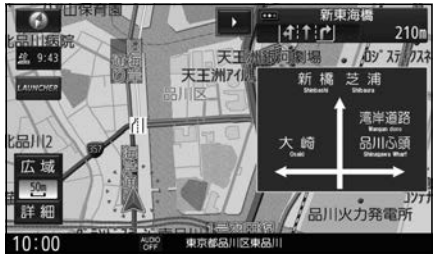
受信しても、自動的に表示されません。
- 受信した情報を手動で見るには→P.82

光ビーコンで受信すると

受信すると、地図画面に自動的に一定時間（7～15秒間）割り込み表示されます。

地図表示型（レベル3）のVICS情報を受信すると

渋滞、規制、駐車場、SA・PA情報（レベル3）を受信すると、自動的に表示されます。



お知らせ

- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- 遠方の渋滞情報は表示されません。
- VICS表示設定→P.45
- レベル3情報の見かた→P.52～53

画像・音声情報のVICS情報を受信すると（ETC2.0）

地図画面に、自動的に一定時間(7～15秒間)割り込み表示されます。
音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

[優先情報]：
下記の情報が提供されます。
- 安全運転支援情報
- 新緊急メッセージ情報＊1
- 注意警戒情報＊2

[一般情報]：
下記の情報が提供されます。
- センタ・ネットワーク障害通知情報
- 多目的情報
- 広域文字情報
- 長文読み上げ情報
- 電子標識情報

割込画面（例）

- 停止：音声情報の停止
- 再生：音声情報の再生
- ▲▼：ページ切換
- ▶：表示の消去

お知らせ

- 表示中の画面（拡大図表示など）によって、割り込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0の一般情報を割り込み表示する/しない＊3の設定→P.195

＊ 1 災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。
＊ 2 気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。
＊ 3 割込み表示する/しないの設定にかかわらず、優先情報は割込み表示されます。

VICS情報を見る

信号情報活用運転支援システム（TSPS）による情報を受信すると

道路上に設置された高度化光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報をアイコン表示と音声で案内します。

■ 表示例

表示	状況	音声
支援あり	前方の信号交差点の案内ができるとき	なし
	前方の信号機が赤信号に変わると予測し、減速を促すとき（赤信号減速支援）＊1	この先、信号機があります。ご注意ください。
025秒 カウントダウン	赤信号での停車時、信号機が青信号に変わるのを待つとき（発進遅れ防止支援）	なし
まもなく青 残り5秒前から	赤信号での停車時、信号機があと5 秒で青信号に変わるとき（発進遅れ防止支援）	まもなく青信号です。
支援なし	前方の信号交差点の案内ができないとき	なし

＊ 1 通過時の灯色の予測が変わったとき、または交差点を通過するときは「支援あり」の表示に変わります。

お知らせ

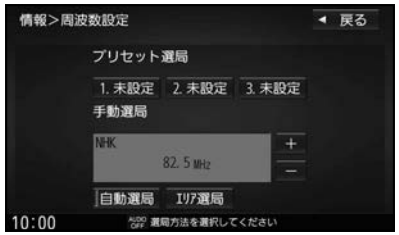
- 別売のETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）が必要です。
- 信号情報活用運転支援システムの設定については→P.194
- 本機能はあくまでも補助機能です。実際の信号機の点灯状況と異なる場合は信号機の表示に従ってください。案内を過信せず、常に実際の道路状況や交通規制標識・標示、前方の信号表示を優先して運転してください。
- 常に前方の交差点を直進方向に走行すると想定して案内を行います。矢印信号のある交差点では、点灯状態と異なる案内をする場合があります。
- 受信時点の情報のため、その後の状況の変化により、実際の信号機の灯色と合わない場合があります。
- 下記のような場合は、「支援あり」のアイコン表示のまま案内を行わないことがあります。
  - 提供対象外の信号機があるか、地図に無い信号機があるとき
  - 信号機の色が変わる直前のとき
  - 対象となる交差点までの距離が短いとき
  - 高速走行しているときや低速走行しているとき
- 下記のような場合は、「支援なし」とアイコン表示され案内を行わないことがあります。
  - 信号機のサイクルに応じた有効時間が経過したとき
  - 信号機の制御方式（押しボタン式、感応式など）により、信号情報が不確定なとき
- 信号情報活用運転支援システムは、すべての光ビーコンで情報を提供しているわけではありません。
- 対象路線情報についてはVICSセンターのWebサイト(https://www.vics.or.jp/)をご覧ください。
- 信号情報活用運転支援システムの対象路線内であっても進入条件によっては案内しない場合があります。

VICS情報を受信するFM放送局を設定する

1 情報メニュー（P.26）から **渋滞情報** を選ぶ

2 渋滞情報画面から **周波数設定** を選ぶ

3 周波数設定画面から放送局の設定をする（右記）



お知らせ

- GPS信号で現在時刻の情報を受信していないときは、FM-VICSの情報を受信できません。

自車位置に応じて自動で選局する（自動選局：推奨）

周波数設定画面（左記）から **自動選局** を選ぶ

- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。
- 自動選局がONのときにエリア選局、手動選局、プリセット選局をすると、自動選局はOFFに切り換わります。

自車位置周辺の放送局から選ぶ（エリア選局）

1 周波数設定画面（左記）から **エリア選局** を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。

2 リストから放送局を選ぶ

- 選んだ放送局のFM-VICSを受信します。

周波数で選局する（手動選局）

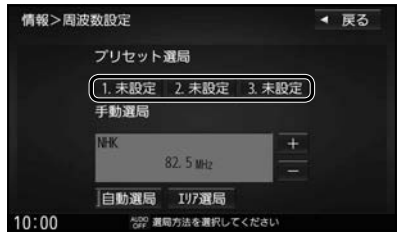
周波数設定画面（左記）から **＋/－** で周波数を調整する

よく使う放送局を記憶させて選局する（プリセット選局）

■ 記憶させる

1 周波数設定画面（左記）から記憶させたい放送局を選局する

2 記憶させたいプリセット番号を1秒以上タッチする



■ 呼び出す

周波数設定画面（左記）から呼び出したいプリセット番号を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

VICS情報を見る

VICS情報を確認する

1 渋滞情報画面（P.81）から
見たい情報を選ぶ

2 （FM-VICSの文字情報・図形情報の場合）
見たい情報の番号を選ぶ

- ▲ ▼：ページ切換
- 目 次：もくじを表示

事象・規制マークの内容を確認する

事象・規制マークにカーソルを合わせる

- 情報が表示されます。

詳細を選ぶと、詳細な情報が表示されます。

緊急情報（特別警報）を受信すると

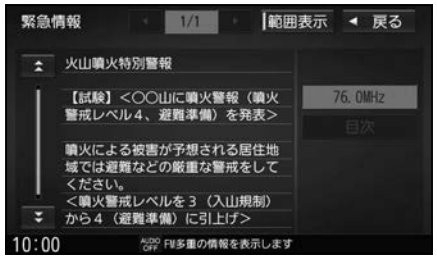
地図画面を表示中に受信するとただちに表示されます。

終了 を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。

地図画面で情報バーの 緊急情報放送中 を選ぶと、緊急情報画面（詳細情報）が表示されます。

お知らせ

- 緊急情報放送中 は、手動では消去できません。
  緊急情報が含まれていないFM-VICSを受信するか、FM-VICSを受信しないまま一定の時間*が経過すると、自動的に消去されます。
  ＊時間は、渋滞情報保存時間設定（P.195）の設定によって異なります。



- ◀ ▶：ページ切換
- ⏶ ⏷：行を戻す／送る
- 渋滞情報画面（P.81）から 緊急情報 を選んでも、緊急情報画面に切り換わります。
- 走行中は、ページ切換できません。
- 情報自体の提供が無い場合は表示されません。

オーディオ

オーディオの基本操作 86
オーディオに切り換える 86
オーディオの種類を選ぶ 86
オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える 87
オーディオをOFFにする 87

テレビを見る 88
テレビ初期設定を行う 88
緊急警報放送(EWS)について 89
周波数再編(リパック)について 89
テレビの基本操作 90
テレビの設定・情報を見る 94

ラジオを聞く 95
受信中の放送局をリストに記憶させる(プリセットメモリー) 95
記憶させた放送局を選ぶ(プリセット選局) 95
FM/AMを切り換える 95
交通情報に切り換える 95
自車位置に応じて放送局を切り換える(エリアモード) 95
周波数から選局する 95

交通情報を聞く 96

ディスクを再生する 97
再生できるディスク 97
ディスクを挿入する 97
ディスクを取り出す 97
DVD-Video・DVD-VRを再生する 98
DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える 100
音楽CD(CD-DA)を再生する 101
MP3/WMAを再生する 102

BLUETOOTH Audioを再生する 103

SDメモリーカードに音楽CDを録音する 104
録音に関する設定をする 104
録音する 104
音楽CDの録音について 105

本機で録音した音楽データを再生する 106

本機で録音した音楽データを編集する 107
お気に入りフォルダで管理する 107
編集するアルバム・曲を選ぶ 108
アルバムの情報を編集する 108
曲の情報を編集する 108
アルバムにジャケット写真を登録する 110
アルバム・曲を再生する/しないを設定する 110
再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する 110
アルバム・曲を削除する 111
SDメモリーカード内の録音状況を確認する 111
録音した音楽データを初期化する 111
パソコンでGracenote®データベースを更新する(ローカルアップデート) 112
パソコンでタイトル情報を個別に更新する(カスタムアップデート) 113

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する 114
SDメモリーカードを挿入する 114
SDメモリーカードを取り出す 114
USBメモリーを本機と接続する 115
音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する 116
静止画を再生する 118
動画を再生する 119

iPodを再生する 120

音質・音場を調整する(オーディオチューン) 122
オーディオチューンのモードを選ぶ 122
FADE/BALANCEの出力レベルを調整する 122
音響効果「音の匠」を設定する 123
音場「DSP」を設定する 124
車速連動音量を補正する 124
より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張) 125
Gracenote®をアップデートする 125
イコライザーの設定をする 126
スピーカーの設定をする 127

映像を調整する 128
画質を調整する 128
映像の画面表示サイズを切り換える 128

現在地画面にオーディオ映像を表示する 129

オーディオの基本操作

- **走行中は、TV、DVD、SD動画、USB動画、HDMIの映像は表示されません。**
  安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- **走行中でも、後席モニターには映像が出力されます。**
  後席モニターに出力される映像について→P.189

オーディオに切り換える

♪ を押す

- オーディオ画面に切り換わります。
- オーディオOFFの状態で♪を押すと、オーディオメニューが表示されます。

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューから

切り換えたいオーディオを選ぶ

- 選んだオーディオに切り換わります。

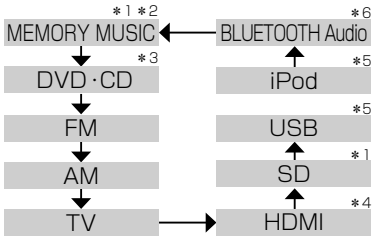
お知らせ

- オーディオの音量を調整するには→P.18
- 地図画面やメニュー画面を表示中にオーディオを操作すると、情報バーに動作状態が約10秒間表示されます。
  表示例：

ステアリングスイッチで

ステアリングスイッチの MODE を押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。



- オーディオOFF時はMEMORY MUSICに切り換わります。
- 交通情報時は、TVに切り換わります。
- ドライブレコーダー時は、オーディオOFFに切り換わります。
- 交通情報およびドライブレコーダーはステアリングスイッチで切り換えできません。

＊1 SDメモリーカード挿入時のみ
＊2 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データの再生
＊3 ディスク(CD・MP3/WMA・DVD)挿入時のみ
＊4 後席モニターには出力できません。
＊5 USBメモリーまたはiPod接続時のみ(同時には接続できません。)
＊6 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に ◉ を押す

- オーディオ画面に戻るには、♪を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(右記)

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.129)

オーディオをOFFにする

本体ボタンで

♪ を2秒以上押す

■ **オーディオをONにするには**

オーディオOFFの状態で、♪ を2秒以上押す

ツートップメニューから

AUDIO OFF を選ぶ

- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

■ **オーディオをONにするには**

ツートップメニューから AUDIO ON を選ぶ

お知らせ

- オーディオがドライブレコーダーのときにオーディオOFFにすると、次回オーディオをONにしたとき、ラジオに切り換わります。

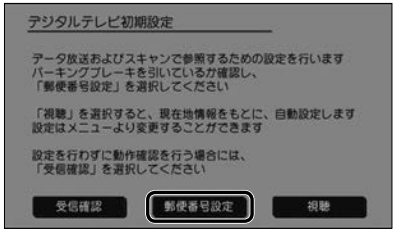
テレビを見る

[TV] に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

テレビ初期設定を行う

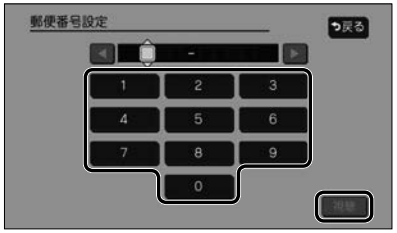
初めてテレビに切り換えたときは、テレビ初期設定画面が表示されます。
地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずテレビ初期設定をしてください。

1 郵便番号設定 を選ぶ



- 視聴 を選ぶと、自車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。
- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、受信確認 を選んでください。
  - ・受信確認中は、◀▶ で物理チャンネルを変更できます。

2 お住いの地域の郵便番号を入力し、視聴 を選ぶ



- **テレビ初期設定完了です。地上デジタル放送をご覧になれます。**

テレビ初期設定を変更する

テレビ初期設定画面(上記)は、一度設定すると、出荷状態に戻す(P.197)またはTVの初期化(P.197)をするまで表示されません。引越しで受信地域が変わったなどの理由で、テレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1 設定画面(P.94)から ユーザー情報設定 を選ぶ

2 修正 を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、次へ を選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

■伊豆、小笠原諸島地域

1. 沖縄・その他の島部 を選ぶ
2. 東京都島部 を選ぶ

■南西諸島鹿児島県地域

1. 沖縄・その他の島部 を選ぶ
2. 鹿児島県島部 を選ぶ

5 地域を選んで、完了 を選ぶ

6 終了 を選ぶ

緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。
EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り換わります。

(イメージ)

- テレビ以外のオーディオを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り換わる場合があります。EWS(緊急警報)の割込み→P.193
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)
  もとに戻すには、手動で切り換えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り換わりません。

周波数再編(リパック)について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザープリセットに切り換え、「スキャン」を行ってください。(P.90、91)

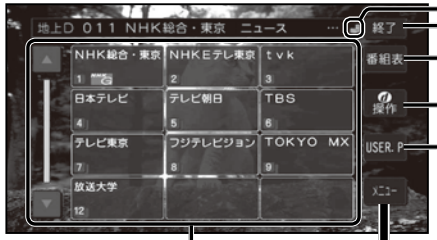
テレビを見る

[TV] に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネル（下記）**が表示されます。**

●約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



チャンネルリスト

(エリアプリセット)/ (ユーザープリセット)

選局パネルを消去

番組表を表示（P.92）

カーソルパネルを表示（下記）

チャンネル設定を切り換え

●選ぶごとに、USER.P / AREA.P が切り換わります。

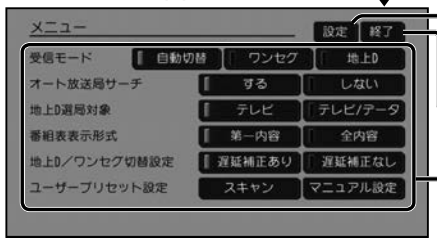
● AREA.P：エリアプリセット
自車位置に応じてチャンネルリストが自動的に切り換わります。（自動で現在地周辺の放送局がチャンネル設定されます。）

● USER.P：ユーザープリセット
自車位置にかかわらず、ユーザープリセットに記憶させたチャンネルリストになります。

■初めてユーザープリセットに切り換えたときは
メッセージが表示されるので、はい ▶ 終了 を選んでスキャンを開始してください。
●完了するとチャンネル設定画面が表示されます。（P.91）

■更新するときは
●ユーザープリセット設定→P.91

テレビメニュー画面



テレビの設定・情報を見る（P.94）

テレビの視聴画面に戻る

テレビメニューを設定（P.91）

選局する

チャンネルリストから選ぶ

●選んだチャンネルに切り換わります。

または

NSZN-Y71DS　NSZN-X71D　NSZN-W71D

⏮ ⏭ を押す

●1チャンネルずつ切り換わります。
●押し続けると連続してチャンネルが切り換わります。

NSZN-Y71D

●オーディオがTVの状態で現在地画面を表示させ、⏮ ⏭ を選んでチャンネルを切り換えることができます。

テレビメニューを設定する

［**太字**：お買い上げ時の設定］

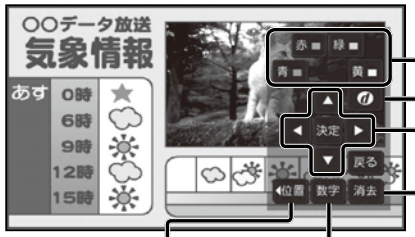
項　目	設定内容/操作
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることができます。	「**自動切換**」：受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換 「ワンセグ」：受信状態にかかわらずワンセグを受信 「地 上 D」：受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信 ● 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。 ● 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。	「**す　る**」：オート放送局サーチする 「し な い」：オート放送局サーチしない ● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ● 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。
地上D選局対象＊1 テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「**テ　レ　ビ**」：テレビサービスのみ選局する＊2 「テレビ/データ」：テレビサービスと独立データサービスを選局する ＊1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 ＊2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	「**第 一 内 容**」：同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ● 代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「全　内　容」：同じチャンネルで同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する
地上D/ワンセグ切替設定 地上デジタル放送/ワンセグが切り換わるときのズレを、補正する/しないを設定します。	「**遅延補正あり**」：映像・音声のズレを補正する 「遅延補正なし」：映像・音声のズレを補正しない ● 受信モード（上記）が「自動切換」のときに、設定が有効となります。 ● 地上デジタル放送を十分に受信してからでないと効果が表れない場合があります。
ユーザープリセット設定 ユーザープリセットのチャンネル設定をします。 ● エリアプリセットモードでは設定できません。ユーザープリセットモードに切り換えてください。（P.90）	**スキャン を選ぶ** ● 設定したチャンネルを修正するには、マニュアル設定 を選びます。 ● スキャンが完了すると、チャンネル設定画面が表示されます。（右記） **各チャンネル番号の放送局を確認して、終了 を選ぶ** **チャンネル番号** **放送局名** **チャンネル設定画面** **同じ放送局で受信できるチャンネル** ・複数表示される場合があります。 ・ワンセグは青色で表示されます。 ▲▼：チャンネル番号を選択 ◀▶：放送局を変更

[TV] に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

テレビの基本操作（続き）

カーソルパネルの操作

選局パネル（P.90）で ⓓ操作 を選ぶと、カーソルパネル（下記）が表示されます。



項目を選択

データ放送を見る
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度 ⓓ を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

◀▶▲▼：項目の選択／
決定：選んだ項目に決定

カーソルパネルを消去

カーソルパネルを移動

位置▶：もとの位置に戻す

数字パネルに切換

操作：カーソルパネルに戻す

番組表を見る

選局パネル（P.90）で 番組表 を選ぶと、番組表（下記）が表示されます。

別の日の番組表を見る　チャンネルを選ぶ

選局パネルに戻る

視聴中の番組の番組内容を見る（下記）

時間帯を選ぶ

番組表の拡大／縮小

番組表を消去

選んだチャンネルに切り換える

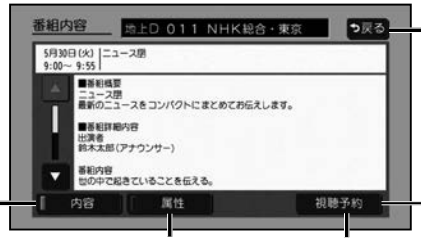
緑線部分：放送時間の短い番組があります。選ぶと番組が表示されます。

選んだ番組の番組内容を見る（下記）

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約１分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。（数分かかることがあります。）
- 地上デジタル放送は７日分まで、ワンセグは１０番組まで表示されます。
- 番組表表示形式を設定できます。（P.91）

番組内容を見る

番組表（上記）で 番組内容 を選ぶと、番組内容（下記）が表示されます。



番組表に戻る

放送中の番組の場合は 今すぐ見る タッチキーが表示されます。タッチすると、選んだ番組に切り換わります。

番組内容画面を見る

属性画面（詳細な情報）を見る

視聴予約をする（P.93）

視聴予約をする

視聴予約したい番組の番組内容画面（P.92）から、視聴予約 を選ぶ

- 選んだ番組の視聴予約がセットされます。
- 予約した時間になると、自動的にテレビに切り換わり、予約した番組が表示されます。
- 受信モードが自動切換になっていない場合、視聴予約した番組に切り換えられない場合があります。
- 同じ時間に開始する番組を複数予約することはできません。
- 放送開始時刻が変更になっても、予約時刻は自動では変更されません。
- 視聴予約した番組が終了しても、もとのオーディオ、チャンネルには戻りません。
- 緊急警報放送中は、視聴予約が実行されません。
- 予約した番組（チャンネル）が受信できない場合は、自動的に中継局や系列局をサーチして、受信できた局に切り換わります。
- 視聴予約を確認するには→下記

視聴予約を確認・編集する

設定画面（P.94）から、視聴予約確認／編集 を選ぶ

- 視聴予約確認／編集画面が表示されます。

■視聴予約を取り消すには

1 視聴予約確認／編集画面（上記）から、取り消したい視聴予約にチェック（✔）する

2 取消 を選ぶ

3 はい を選ぶ
- 選んだ視聴予約が取り消されます。

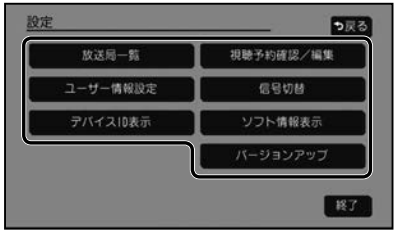
テレビを見る

[TV] に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

テレビの設定・情報を見る

1 テレビメニュー画面(P.90)から 設定 を選ぶ

2 設定画面から各項目を設定・確認する(下記)



● 終了 : テレビの視聴画面に戻る

項　目	設定内容
放送局一覧	放送局一覧を確認します。 ● 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。 ● ワンセグは青色で表示されます。
視聴予約確認/編集	視聴予約を確認／取り消します。(P.93)
ユーザー情報設定	テレビ初期設定を変更します。(P.88)
信号切替	各項目を設定します。 「マルチビュー」: マルチビュー放送のときに選択できます。 ● マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。 「映　　像」: 映像が複数あるときに選択できます。 「音　　声」: 音声が複数あるときに選択できます。 「二 重 音 声」: 二重音声の音声を選択できます。 「字　　幕」: 字幕の言語を選択できます。 「文字スーパー」: 文字スーパーの言語を選択できます。 ● 文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。
デバイスID表示	**通常は、この操作は必要ありません。** ● 受信機(本機)の情報が表示されます。 ● お問い合わせの際に必要な場合があります。
ソフト情報表示	ソフト情報を確認します。
バージョンアップ	テレビチューナーの内部ソフトウェアバージョンアップの際に使用します。

ラジオを聞く

[FM/AM] に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面

オーディオチューン
(P.122～127)

受信中の放送局をリストに記憶させる(プリセットメモリー)

1 プリセットのリスト(P1/P2)を選ぶ

2 ⏮ ⏭ で周波数から選局する(右記)

3 保存したい枠を2秒以上タッチする

● 受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

● P1/P2 それぞれ6局まで記憶できます。

記憶させた放送局を選ぶ(プリセット選局)

1 プリセットのリスト(P1/P2)を選ぶ

2 リストから放送局を選ぶ

● 選んだ放送局に切り換わります。

FM/AMを切り換える

FM/AM を選ぶ

お知らせ

● AMステレオには対応していません。

交通情報に切り換える

交通情報 を選ぶ

● 交通情報画面(P.96)に切り換わります。

自車位置に応じて放送局を切り換える(エリアモード)

エリア を選ぶ

● 自車位置周辺の放送局のリストが表示されます。(18局まで)

自車位置周辺の放送局を更新するには

エリアモードで エリア更新 を選ぶ

● 自車位置周辺の放送局のリストに更新されます。

周波数から選局する

⏮ ⏭ を押す

● 1秒以上押して離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

お知らせ

● 本機は、ワイドFM(FM補完放送)に対応しています。
● 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。
● 周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。

交通情報を聞く

[交通情報]に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面

オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。
[お買い上げ時の設定：1 620 kHz]

周波数を選ぶ

お知らせ

NSZN-Y71DS　NSZN-Y71D　NSZN-X71D

- オーディオを交通情報に切り換えると、ビット・周波数拡張の設定(P.125)がONの場合、設定はOFFになります。他のオーディオを選ぶと、設定はONに戻ります。

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.215)も併せてご覧ください。

ディスク＼フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3＊3	WMA＊3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW＊1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW＊2	—	—	○	○	○
操作のしかた	P.98～100		P.101	P.102	

＊1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
＊2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
＊3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

ディスクを挿入する

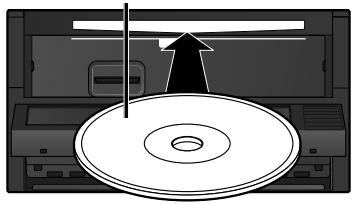
1 ▲ を押す

2 OPEN/EJECT画面から OPEN を選ぶ

- ディスプレイが開きます。

3 ディスクを挿入する

ラベル面を上に



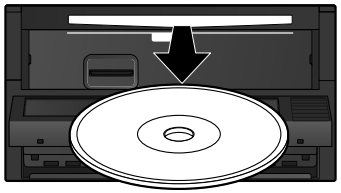
- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- ▲ を押して、ディスプレイを閉じることもできます。

ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT画面(左記)から DISC EJECT を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。

2 ディスクを取り出す



- ▲ を押して、ディスプレイを閉じてください。

ディスクを再生する

● [DVD] に切り換えるには→P.86「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.97

DVD-Video・DVD-VRを再生する

●本機で再生できるディスクについて
→P.97、215

ディスク再生画面（DVD）

本編再生中に ■ を押すと、
基本操作タッチキーが表示されます。

基本操作タッチキー画面１

タッチキーを消去

基本操作タッチキー画面２

設定を変える（P.100）

タッチキーを消去

お知らせ

●ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、⊘が表示されます。

静止画を切り換える DVD-VR

ページ送り を選ぶ

●次の静止画に切り換わります。

タイトルメニューを表示する DVD-Video

タイトル を選ぶ

トップメニューを表示する DVD-Video

メニュー を選ぶ

タイトルリストを表示する DVD-VR

タイトル を選ぶ

プレイリストを表示する DVD-VR

メニュー を選ぶ

停止

再生中に ■ を選ぶ

● ▶II を選ぶと、停止した位置から再生を開始します。（リジューム再生）

● 続き再生解除：リジューム再生開始位置の情報を解除（右記）

一時停止

再生中に ▶II を選ぶ

●再度選ぶと、再生を開始します。

音声を切り換える

音声 を選ぶ

●選ぶごとに、音声が切り換わります。

字幕の切り換え／消去

■字幕を切り換える DVD-Video

字幕 を選ぶ

●選ぶごとに、字幕が切り換わります。

■字幕を消去する DVD-VR

字幕 を選ぶ

●選ぶごとに、字幕の表示/非表示が切り換わります。

アングルを切り換える DVD-Video

アングル を選ぶ

●選ぶごとに、アングルが切り換わります。

トップメニュー/タイトルメニューからもとの再生に戻る（リジューム） DVD-Video

リジューム を選ぶ

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中（P.98）に
⏮ ⏭ を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。
● ⏮ : DVD-Video のみ

チャプターの頭出し

⏮ ⏭ を押す

NSZN-Y71D

●基本操作タッチキーを表示させ、情報バーから ⏮ ⏭ を選んで操作してください。

再生時間を表示する

タイム を選ぶ

●選ぶごとに下記のように切り換わります。
再生経過時間→タイトル/チャプター→表示なし→

メニューなどをカーソルで操作する

1 **操作** を選ぶ

2 ▲▼◀▶でカーソルを移動し、**実行** を選ぶ

● ボタン移動：タッチキーを左右に移動
● ボタン消：タッチキー消去
●DVD-Videoは、トップメニュー/タイトルメニューの画面を直接タッチして操作できます。（ダイレクトタッチ）

１つ前の画面に戻る

リターン を選ぶ

項目を番号で選ぶ

1 **10キー** を選ぶ

2 10キーで番号を入力する

● ボタン移動：タッチキーを上下に移動
● ボタン消：タッチキー消去

タイトル/チャプターを番号で選ぶ（サーチ）

1 **サーチ** を選ぶ

2 **切換** で、サーチの対象を選ぶ

●選ぶごとに、タイトル/チャプターが切り換わります。

3 番号を入力し、**実行** を選ぶ

●入力したタイトル/チャプターの先頭から再生を開始します。

項目を決定する

エンター を選ぶ

ディスクを再生する

DVD-Video・DVD-VRの初期設定を変える

1 基本操作タッチキー画面2（P.99）から 設定 を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

［太字：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容/操作	
言語を設定する ● 言語コードを入力して、音声・字幕・メニューの言語を切り換えます。 ● 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。 ● 言語コード一覧表→P.227	言語設定 を選び、設定する　［お買い上げ時の設定：**日本語**］ ● ディスクで優先されている言語に切換 ● 字幕表示しない ● すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す **言語コードを入力して 決定 を選ぶ** ● 選んだ言語がタッチキーに表示されます。 ● オリジナル、OFF を選んだ場合は、タッチキーに 言語を選択 と表示されます。 ● クリア：全文字削除	
音声ダイナミックレンジで圧縮する＊1 ● ドルビーデジタル再生時のみ設定できます。	ダイナミックレンジ圧縮 を選ぶ	●「O　N」：圧縮する ●「O F F」：圧縮しない
再生できるDVDを制限する 設定範囲：（強）1～8（弱）、**制限なし** ● 視聴制限が収録されていないDVDの場合は、本機で再生を制限することはできません。	視聴制限レベル を選ぶ	**視聴制限レベルを選び、パスワードを入力して 決定 を選ぶ** ● 設定範囲：（強）1～8（弱） **制限なし**（制限解除） ● パスワード＊2：4桁の数字 ［お買い上げ時の設定：0000］ ● クリア：全文字削除
パスワードを変更する	パスワード変更 を選ぶ	**「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、決定 を選ぶ** ● パスワード＊2：4桁の数字 ［お買い上げ時の設定：0000］ ● クリア：全文字削除

＊1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。
小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。
＊2 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。
もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

音楽CD（CD-DA）を再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、♪ を押してください。

●**本機で再生できるディスクについて**→P.97、215

ディスク再生画面（CD-DA）

録音を開始する/停止する（P.104）
録音設定（P.104）
オーディオチューン（P.122～127）

再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）

1 再生モード を選ぶ

2 再生モードを切り換える
●選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
●再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）
リピート を選ぶ
●再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生（ランダム）
ランダム を選ぶ
●全曲を順不同に再生します。

曲を探す（スキャン）
スキャン を選ぶ
●全曲を約10秒ずつ再生します。

表示内容を切り換える

：**再生中の曲の情報**（上図）**を表示**

：**曲のリストを表示**
●曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける
●離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

お知らせ
●録音中は、リストからの選曲、再生モード切換、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。
●タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。（走行中は操作できません。）

音楽CDのタイトル表示について

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース＊1（以降Gracenote® データベース）を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

●CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
●本機のGracenoteデータベースに一致する情報がないときはタイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
●タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。
＊1 Gracenote音楽認識サービスのデータベースの抜粋

ディスクを再生する

● [CD]に切り換えるには→P.86「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.97

MP3/WMAを再生する

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、♪を押してください。

●本機で再生できるディスクについて→P.97、215
●再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P.220～222

ディスク再生画面（MP3/WMA）

オーディオチューン（P.122～127）

表示内容を切り換える

: **再生中の曲の情報**（上図）**を表示**

: **曲のリストを表示**
- 曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭を押す

再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）

リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
  リピートトラック→リピートフォルダ→通常再生→リピートトラック

順不同に再生（ランダム）

ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す（スキャン）

スキャンを選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

フォルダを選ぶ

フォルダ⊖/フォルダ⊕を選ぶ
- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

お知らせ
- タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。（走行中は操作できません。）

BLUETOOTH Audioを再生する

[BLUETOOTH Audio]に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

準備 ●BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。（P.132）

BLUETOOTH Audio再生画面

オーディオチューン（P.122～127）

表示内容を切り換える

: **再生中の曲の情報**（上図）**を表示**

: **選曲モード**（右記）**で選択された選曲方法で、曲のリストを表示**
- 曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭を押す

選曲方法を選んで選曲する（選曲モード）

1 選曲モードを選ぶ

2 選曲方法を選ぶ
- 選曲方法（例：「アルバム」「ジャンル」など）は、接続する機器によって異なります。
- 「曲」を選んだ場合→手順**4**

3 リストからフォルダを選ぶ

4 リストから曲を選ぶ
- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面：BLUETOOTH Audio再生画面に戻る

再生モード切換（リピート/ランダム）

1 再生モードを選ぶ

2 再生モードを切り換える
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）

リピートを選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生（ランダム）

ランダムを選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

一時停止

再生中に❚❚を選ぶ
- ▶を選ぶと、再生を開始します。

お知らせ
- タイトル、Artist、Albumの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。（走行中は操作できません。）
- 接続機器や接続状態によって、下記のようなことが発生する場合があります。
  - ・音声出力や画面表示に時間がかかる。
  - ・音楽プレーヤーを起動する必要がある。
  - ・音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない。
  - ・画面表示が更新されない。
  - ・タイトル、Artist、Albumが表示されない。
  - ・ナビゲーションから操作できない。（その場合は、接続機器で操作してください。）
- スマートフォンを接続し、複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り換える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。（例：iPhoneにて、ケーブル接続している場合）

SDメモリーカードに音楽CDを録音する

音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。
録音した音楽データを再生するときは、P.106をご覧ください。

録音に関する設定をする

1 オーディオメニュー(P.26)から、CDを選ぶ

2 録音設定を選ぶ

3 録音に関する設定をする

■ 録音管理
- 自動録音：録音していないCDを、自動的にすべて録音[お買い上げ時の設定]
- 手動録音：曲を選んで録音

■ 音質

◀/▶で音質を選ぶ
[お買い上げ時の設定：256 kbps]
- 録音曲数の目安＊1
  - ・320 kbps：約　874曲
  - ・256 kbps：約1 092曲
  - ・192 kbps：約1 456曲
  - ・128 kbps：約2 184曲
  - ・　96 kbps：約2 912曲

4 戻るを選ぶ

＊1 付属のSDHCメモリーカード(8 GB)に、4分程度の曲を録音した場合。
（ファイル管理上は、最大10 000曲/10 000アルバムまで保存できます。）

録音する

準備
- 音楽CDの録音に関する設定→上記
- 本機で初期化したSDメモリーカードを挿入してください。(P.114、197)

1 音楽CDを挿入する(P.97)

2

録音設定が「自動録音」の場合

音楽CDの再生とともに、
自動的に録音を開始します。

録音中に表示されます

録音設定が「手動録音」の場合

■ 全曲を録音する場合

1 録音▶全曲録音を選ぶ

2 録音開始を選ぶ
- 未録音の曲をすべて録音します。

■ 選んだ曲を録音する場合

1 録音▶選択曲録音を選ぶ

2 リストから曲を選び、決定を選ぶ
- 選んだ項目には、チェックマーク(✔)が付きます。
  なお、すでに録音済みの曲にはチェックマーク(✔)が付いています。

3 録音開始を選ぶ

録音を停止するには

録音中画面から、録音中止を選ぶ

お願い
- SDメモリーカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正しく再生されない場合があります。

音楽CDの録音について

- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音設定にかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.104)を行ってください。
- 録音中にCD以外のオーディオやAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。その場合、**本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り換わります。(4倍速～8倍速)**
- CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- アルバム/曲の情報は、本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報が付与されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースにない)場合は、タイトルを手動で編集(P.108)、パソコンの専用アプリ「Title Finder」を使用してインターネット経由で取得(P.113)できます。「Title Finder」については、下記サイトをご覧ください。
  https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html
- ディスクに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
- dtsCDは録音できません。

お願い
- **録音中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。**

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。「自動録音」に設定している場合は、次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- **録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。**＊1
  - ・頭出し　・再生モード切換（リピート/ランダム/スキャン）
  - ・早送り/早戻し　・タイトル情報検索のための音楽情報の出力と更新
  - ・録音設定
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

＊1 録音終了時点に再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム/スキャン)の切換などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する

[MEMORY MUSIC] に切り換えるには →P.86「オーディオの種類を選ぶ」

準 備 ●本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音してください。(P.104)

MEMORY MUSIC再生画面

オーディオチューン
(P.122～127)

表示内容を切り換える

: **再生中の曲の情報**(上図)**を表示**

: **アルバムのリストを表示**
- 表示されるリストは、選曲モードの設定によって異なります。
- リストから項目をタッチして、曲を選ぶことができます。

: **曲のリストを表示**
- 曲を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

アルバムを切り換える

アルバム⊖ / アルバム⊕ を選ぶ
- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

1 **選曲モード を選ぶ**

2 **選曲する方法を選ぶ**
- 全 曲 ● アルバム ● アーティスト
- ジャンル ● お気に入り

3 **曲のリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ**
- 名前順 : 50音順に並べ換え
- 登録順 : 録音日の新しい順に並べ換え

4 **リストから曲を選ぶ**
- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面 : MEMORY MUSIC再生画面に戻る

再生モード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 **再生モード を選ぶ**

2 **再生モードを切り換える**
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

リピート を選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

ランダム を選ぶ
- 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

スキャン を選ぶ
- 再生中のリストの中の全曲を約10秒ずつ再生します。

お願い
- **SD再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。**

お知らせ
- タイトル、Artist、Album、Genreの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

本機で録音した音楽データを編集する

お気に入りフォルダで管理する

お気に入りのアルバムや曲を、お気に入りフォルダにまとめておいて、選曲モードから呼び出すことができます。(P.106)

- **お気に入りアルバム** ・1フォルダあたり200アルバムまで
  ・お買い上げ時のフォルダ名 : お気に入りアルバム1～お気に入りアルバム4
- **お気に入りトラック** ・1フォルダあたり200曲まで
  ・お買い上げ時のフォルダ名 : お気に入りトラック1～お気に入りトラック4

再生中のアルバム・曲をお気に入りに登録する

1 **MEMORY MUSIC再生画面**(P.106)**から 登録 を選ぶ**

2 **お気に入り ▶ はい を選ぶ**

3 **アルバム・曲を登録するお気に入りフォルダを選ぶ**
- 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

アルバム・曲を選んでお気に入りに登録する

1 **MEMORY MUSIC再生画面**(P.106)**から 編集 を選ぶ**

2 **曲管理 ▶ はい を選ぶ**
- アルバムのリストが表示された曲管理画面に切り換わります。

3 **曲管理画面から、お気に入りに登録したいアルバム・曲を選び、お気に入り登録 を選ぶ**

4 **登録するお気に入りフォルダを選ぶ**
- 選んだお気に入りフォルダに、アルバム・曲が登録されます。

お気に入りフォルダを編集する

1 **MEMORY MUSIC再生画面**(P.106)**から 編集 を選ぶ**

2 **お気に入り管理 ▶ はい を選ぶ**

3 **お気に入りを編集する**

項 目		操 作		
お気に入りフォルダの名称を編集する ● 全角32文字(半角64文字)まで		名称を変更したいお気に入りフォルダを選ぶ	フォルダ名編集 を選ぶ	名称を入力し、決定 を選ぶ
お気に入りに登録したアルバム・曲を削除する	個別に削除する	削除したいアルバム・曲のあるお気に入りフォルダを選び、フォルダ内表示 を選ぶ	削除したいアルバム・曲を選び、削除 を選ぶ	はい を選ぶ
	フォルダ内のアルバム・曲をすべて削除する	すべてのアルバム・曲を削除したいお気に入りフォルダを選び、削除 を選ぶ		はい を選ぶ

お知らせ
- お気に入りフォルダから削除されたアルバム・曲は、通常のアルバム・曲として残ります。(SDメモリーカード内のアルバム・曲は削除されません。)

本機で録音した音楽データを編集する

- タイトルが付与されていなかったり、誤ったタイトルが付与されているアルバムは、パソコンを使用してGracenoteデータベースを更新すると、正しい情報が付与される場合があります。(P.112～113)
- それでも正しい情報が付与されない場合は、下記の手順から手動で編集することもできます。

編集するアルバム・曲を選ぶ

1 MEMORY MUSIC再生画面(P.106)から 編集 を選ぶ

2 編集メニューから、曲管理 ▶ はい を選ぶ

- 現在のアルバム：再生中のアルバムのアルバム編集画面を表示
- 現在の曲：再生中の曲の情報編集画面を表示

3 曲管理画面から編集したいアルバム・曲を選ぶ

- 曲管理画面(アルバム)

リストからアルバムを選ぶ

- 曲管理画面(トラック)

リストから曲を選ぶ

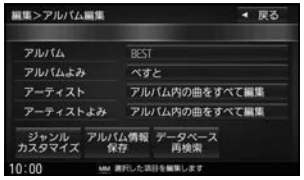
お知らせ

- 録音中は編集できません。

アルバムの情報を編集する

1 曲管理画面(アルバム)から編集したいアルバムを選び、アルバム編集 を選ぶ

2 アルバム編集画面からアルバムの情報を編集する(P.109)

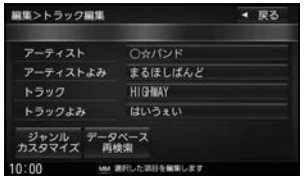


項　目	操　作		
アルバム名を編集する	アルバム名にタッチする	アルバム名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定 を選ぶ
アルバムのよみを編集する	アルバムのよみにタッチする	アルバムのよみを入力する ● 全角32文字まで	
アーティスト名を編集する	アーティストの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで ※編集結果は再生画面で確認してください。	
アーティストのよみを編集する	アーティストよみの アルバム内の曲をすべて編集 を選ぶ	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで ※編集結果は再生画面で確認してください。	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
アルバムの情報を保存する	アルバム情報保存 ● カスタムアップデートを行う際に使用します。(P.113)		
アルバムの情報を更新する	データベース再検索 ● ローカルアップデート、およびカスタムアップデートを行う際に使用します。(P.112～113)		

曲の情報を編集する

1 曲管理画面(トラック)から編集したい曲を選び、トラック編集 を選ぶ

2 トラック編集画面から曲の情報を編集する(P.109)



項　目	操　作		
アーティスト名を編集する	アーティスト名にタッチする	アーティスト名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	決定 を選ぶ
アーティストのよみを編集する	アーティストのよみにタッチする	アーティストのよみを入力する ● 全角32文字まで	
曲名を編集する	曲名にタッチする	曲名を入力する ● 全角32文字(半角64文字)まで	
曲のよみを編集する	曲のよみにタッチする	曲のよみを入力する ● 全角32文字まで	
ジャンルを変更する	ジャンルカスタマイズ を選ぶ	ジャンルを選ぶ	
曲の情報を更新する	データベース再検索 ● ローカルアップデート、およびカスタムアップデートを行う際に使用します。(P.112～113)		

お知らせ

- データベース再検索を行うと、手動で編集したタイトルは、録音時に自動で付与されたタイトルに戻ります。
- タイトル情報を編集しても、本機のGracenoteデータベースは更新されません。そのため、SDメモリーカードに録音したアルバム・曲情報は更新されますが、CD再生時は編集されていない情報が表示されます。
- パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲の情報を編集しても、MEMORY MUSICには反映されません。
- 文字入力のしかた→P.214

本機で録音した音楽データを編集する

アルバムにジャケット写真を登録する

最大1 024×1 024ピクセルのJPEG形式の画像を登録できます。

1 曲管理画面（P.108）から、ジャケット写真を登録するアルバムを選ぶ

2 ジャケット写真 を選ぶ

3 ジャケット写真が保存されたメディア（SDカード/USB）を選び、ジャケット写真を選択する を選ぶ

4 フォルダを選ぶ

5 画像を選ぶ

- 選んだ画像がアルバムのジャケット写真として登録されます。
- すでにジャケット写真が登録されている場合は、はい を選んでジャケット写真を変更してください。

アルバム・曲を再生する/しないを設定する

1 曲管理画面（P.108）から 再生選択 を選ぶ

2 再生しないアルバム・曲を選んでチェック（✔）を外し、決定 を選ぶ

- チェックを外したアルバム・曲が再生されなくなります。
- チェックを入れると、再度再生されるようになります。
- 全選択：すべてのアルバム・曲にチェックを入れる
- 全解除：すべてのアルバム・曲のチェックを外す

再生中のアルバム・曲にジャンルを登録する

1 MEMORY MUSIC再生画面（P.106）から 登録 を選ぶ

2 ジャンル ▶ はい を選ぶ

3 再生中のアルバムを設定する場合

アルバム単位 を選ぶ

再生中の曲を設定する場合

トラック単位 を選ぶ

4 ジャンルを選ぶ

アルバム・曲を削除する

1 曲管理画面（P.108）から、削除するアルバム・曲を選ぶ

2 削除 を選ぶ

3 はい を選ぶ

- 選んだアルバム・曲が削除されます。

SDメモリーカード内の録音状況を確認する

1 MEMORY MUSIC再生画面（P.106）から 情報 を選ぶ

2 SDカード情報 ▶ はい を選ぶ

- SDメモリーカードの使用済み割合・空き容量・録音可能時間・設定中の録音音質が表示されます。

録音した音楽データを初期化する

1 MEMORY MUSIC再生画面（P.106）から 情報 を選ぶ

2 録音データ初期化 ▶ はい を選ぶ

3 はい ▶ はい ▶ はい を選ぶ

- 録音した音楽データがすべて削除されます。

本機で録音した音楽データを編集する

パソコンでGracenote®データベースを更新する（ローカルアップデート）

Webサイトから更新データをダウンロードして、本機のGracenoteデータベースを更新できます。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html

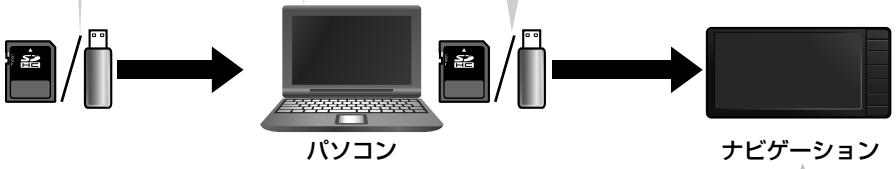
お知らせ

- Gracenoteデータベースはパブリックなデータベースですので、データベースの内容を100 %保証するものではありません。

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンに挿入する

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーの直下に「NVDATA」フォルダを作り、WebサイトからGracenoteデータベースの更新データをダウンロードして保存する

3 SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する



4 Gracenoteデータベースを更新する

① オーディオチューン画面（P.122）から gracenote を選ぶ
② ローカルアップデート（定期更新）を選ぶ
③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、はい を選ぶ
④ 更新データを保存したメディア（SDカード/USB）を選び、更新開始 を選ぶ
- 更新履歴：ローカルアップデートの更新履歴を表示

⑤ はい を選ぶ
- 本機のGracenoteデータベースが更新されます。

⑥ OK ▶ OK を選ぶ

5 タイトル情報を更新する

① 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から データベース再検索 を選ぶ（P.109）
- 複数の候補がある場合は、リストからアルバム名/曲名を選んでください。
- 取得したタイトル情報に更新されます。

パソコンでタイトル情報を個別に更新する（カスタムアップデート）

新譜など、本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を、個別にGracenote音楽認識サービスから検索して取得できます。

準 備（初回のみ）

- 専用アプリ「Title Finder」をWebサイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。詳しくは、右記サイトをご覧ください。 https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html

1 SDメモリーカードまたはUSBメモリーにアルバム情報を書き出す

① 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面（P.108）から、アルバム情報保存 を選ぶ
- 複数ある場合は、この手順を繰り返し、アルバム情報を保存してください。
- タイトル情報が付与されていないアルバム（新譜など）の場合、この操作は必要ありません。手順②から操作してください。

② オーディオチューン画面（P.122）から gracenote を選ぶ
③ カスタムアップデート（個別更新）を選ぶ
④ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、はい を選ぶ
⑤ アルバム情報を書き出すメディア（SDカード/USB）を選び 書き出し を選ぶ
⑥ はい を選ぶ
- アルバム情報ファイル「export.dat」が、SDメモリーカード/USBメモリーの「NVDATA」フォルダに出力されます。
- 手順①で保存されたアルバム情報が、すべて書き出されます。

⑦ OK を選ぶ

2 SDメモリーカードまたはUSBメモリーを本機から取り出し、パソコンに挿入する

3 Title Finderを起動しGracenote音楽認識サービスからタイトル情報をダウンロードして、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存する

4 タイトル情報取得が完了したら、SDメモリーカードまたはUSBメモリーをパソコンから取り出し、本機に挿入する

5 タイトル情報を更新する

① オーディオチューン画面（P.122）から gracenote を選ぶ
② カスタムアップデート（個別更新）を選ぶ
③ SD、USB、MEMORY MUSIC再生中のみ、はい を選ぶ
④ タイトル情報を取り込むメディア（SDカード/USB）を選び 取り込み を選ぶ
⑤ はい を選ぶ
⑥ OK を選ぶ
⑦ 情報を取得したアルバムのアルバム編集画面/曲編集画面から データベース再検索 を選ぶ（P.109）
- 複数の候補がある場合は、リストからアルバム名/曲名を選んでください。
- 取得したタイトル情報に更新されます。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDメモリーカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC*1/WAV*1)、静止画(JPEG)、動画(MPEG4)の再生ができます。
- 本機でSDメモリーカードに録音した音楽データを再生するときは、P.106をご覧ください。
- データ作成時の留意点については、P.219～222をご覧ください。

＊1 NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D のみ

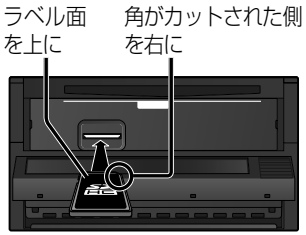
SDメモリーカードを挿入する

- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差ししてください。

1 ▲ を押す

2 OPEN/EJECT画面(P.97)から OPEN を選ぶ
- ディスプレイが開きます。

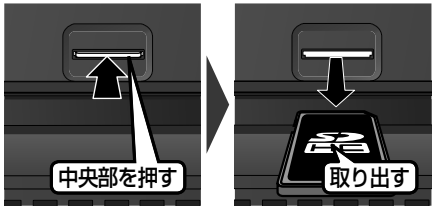
3 SDメモリーカードを奥までまっすぐに挿入する
- カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが閉まります。
- ディスプレイが閉まらない場合は、SDメモリーカードが奥までしっかり入っているか確認してください。



SDメモリーカードを取り出す

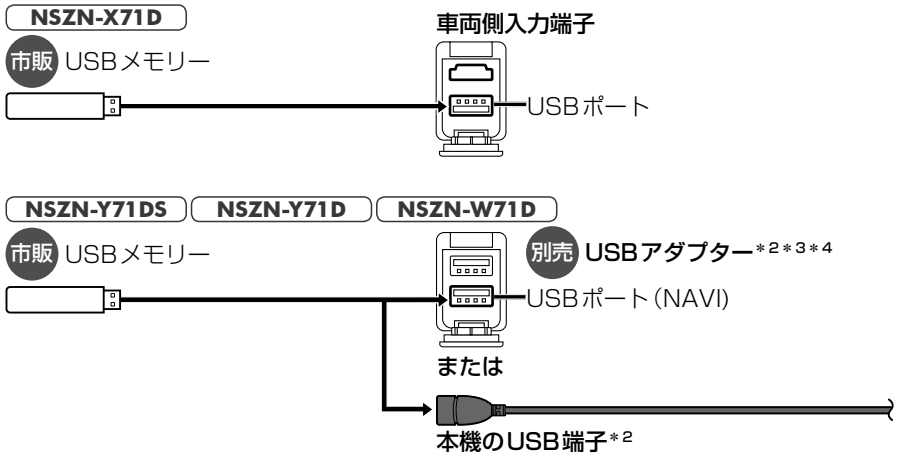
1 OPEN/EJECT画面(P.97)から OPEN を選ぶ
- ディスプレイが開きます。

2 SDメモリーカードを取り出す
- ▲ を押して、ディスプレイを閉じてください。



お願い
- 再生中にSDメモリーカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを本機と接続する



＊2 併用はできません。どちらかの選択になります。
＊3 車両により形状が異なる場合があります。
＊4 別売品のお買い求めについては、販売店へお問い合わせください。

お願い
- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。
- USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再接続してください。
- 再生中にUSBメモリーを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

お知らせ
- USBメモリーとiPodは、同時には接続できません。
- USBメモリー以外の機器(メモリーオーディオプレーヤー、Android端末など)を本機とUSBケーブルで接続しても、再生できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 使用するUSBメモリーやケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

● [SD][USB]に切り換えるには→P.86「オーディオの種類を選ぶ」
● 本機では、SD-Audio規格準拠の音楽データは再生できません。

音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC*1/WAV*1)を再生する

準 備

● 音楽が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、音楽が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.114)

ジャケット写真

ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると、ジャケット写真が表示されます。

● ジャケット写真未設定の場合、右記のマークが表示されます。

音楽再生画面(例:SD)

オーディオチューン
(P.122～127)

フォルダを切り換える

[−]/[+]を選ぶ

● 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始します。

再生モード切換(リピート/ランダム/スキャン)

1 [再生モード]を選ぶ

2 再生モードを切り換える

● 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
● 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生(リピート)

[リピート]を選ぶ

● 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生(ランダム)

[ランダム]を選ぶ

● 再生中のリストの中から順不同に再生します。

曲を探す(スキャン)

[スキャン]を選ぶ

● 再生中のリストの中の全曲を約10秒再生します。

ギャップレス再生(FLAC、WAVのみ)*1

[ギャップレス]を選ぶ

● 曲間の無音部分をスキップして継ぎ目なく再生します。
● 同形式ファイルの音楽を再生中に有効です。

*1 NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D のみ

早送り・早戻し

[⏮][⏭]を押し続ける

● 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

[⏮][⏭]を押す

お知らせ

● タイトル、Artist、Album、Folderの文字数が多い場合は、再生画面で項目をタッチすると、表示がスクロールします。(走行中は操作できません。)

音楽再生画面(例:SD)

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 [モード切換]を選ぶ

2 [音楽ファイル]/[画像ファイル]/[動画ファイル]を選ぶ

表示内容を切り換える

: **再生中の曲の情報**(左図)**を表示**

: **フォルダのリストを表示**

● フォルダを選ぶと、選んだフォルダの1曲目から再生を開始します。

: **再生中フォルダの曲のリストを表示**

● 曲を選ぶと、再生を開始します。

選曲方法を選んで選曲する(選曲モード)

1 [選曲モード]を選ぶ

2 選曲する方法を選ぶ

● [全曲]
● [アルバム]
● [アーティスト]
● [ジャンル]
● [フォルダ]

3 (「フォルダ」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」の場合)
曲のリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

4 リストから曲を選ぶ

● 選んだ曲を再生します。
● [再生中画面]: 音楽再生画面に戻る

SDメモリーカード・USBメモリーを再生する

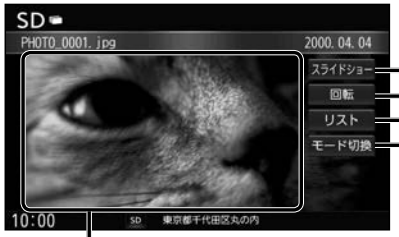
[SD][USB]に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

静止画を再生する

準 備

●画像が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、画像が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.114)

画像操作画面(例:SD)



画像を全画面で表示する

画像操作画面をタッチする

●全画面で表示します。
●再度画面をタッチすると、画像操作画面が表示されます。
●画像操作画面で約10秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

次/前の画像に切り換える

全画面表示中に、左右にフリックする

●次/前の画像に切り換わります。
●[⏮] [⏭]を押しても切り換わります。

NSZN-Y71D

●静止画操作画面を表示させ、情報バーから[⏮] [⏭]を選んで操作してください。

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

画像をスライドショーで再生する

スライドショーを選ぶ

●画像をスライドショーで表示します。

スライドショーを停止するには

スライドショーの画面をタッチする

停止中の画面

●再生間隔:再生間隔を設定
3秒[お買い上げ時の設定]/10秒/30秒/1分
●開　始:スライドショーを開始
●終　了:スライドショーを終了

画像を回転させる

回転を選ぶ

●画像を右方向に90度回転します。

リストから選ぶ

1 リストを選ぶ

2 フォルダを選ぶ

●サムネイル画面が表示されます。

3 サムネイルから画像を選ぶ

動画を再生する

準 備

●動画が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入するか、動画が保存されたUSBメモリーを本機に接続してください。(P.114)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。

動画操作画面(例:SD)

動画を全画面で表示する

動画操作画面をタッチする

●全画面で表示します。
●再度画面をタッチすると、動画操作画面が表示されます。
●動画操作画面で約15秒間何も操作しないと、全画面表示になります。

早送り・早戻し

[⏮] [⏭]を押し続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

動画の頭出し

[⏮] [⏭]を押す

NSZN-Y71D

●動画操作画面を表示させ、情報バーから[⏮] [⏭]を選んで操作してください。

一時停止

[▶II]を選ぶ

●再度選ぶと、再生を再開します。

リストから選ぶ

1 再生リストを選ぶ

2 リストからファイルを選ぶ

●選んだ動画を再生します。

■ 再生中のフォルダ以外から選ぶには

1 再生リストを選ぶ

2 リスト変更を選ぶ

3 選択する方法を選ぶ

●全ファイル:全フォルダの全ファイルから選ぶ
●フォルダ:選んだフォルダから選ぶ

4 (「フォルダ」の場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ

5 リストからファイルを選ぶ

●選んだ動画を再生します。
●再生中画面:動画再生画面に戻る

音楽/画像/動画の再生モードを切り換える

1 モード切換を選ぶ

2 音楽ファイル/画像ファイル/動画ファイルを選ぶ

iPodを再生する

[iPod] に切り換えるには
→P.86「オーディオの種類を選ぶ」

本機で接続確認済みのiPod（2020年8月現在）

iPhone SE 第2世代	iPhone XS Max	iPhone 7 Plus	iPod touch 第7世代
iPhone 11 Pro Max	iPhone XS	iPhone 7	iPod touch 第6世代
iPhone 11 Pro	iPhone X	iPhone SE 第1世代	
iPhone 11	iPhone 8 Plus	iPhone 6s Plus	
iPhone XR	iPhone 8	iPhone 6s	

※本書では特にことわりのない限り、上記のiPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。

お願い

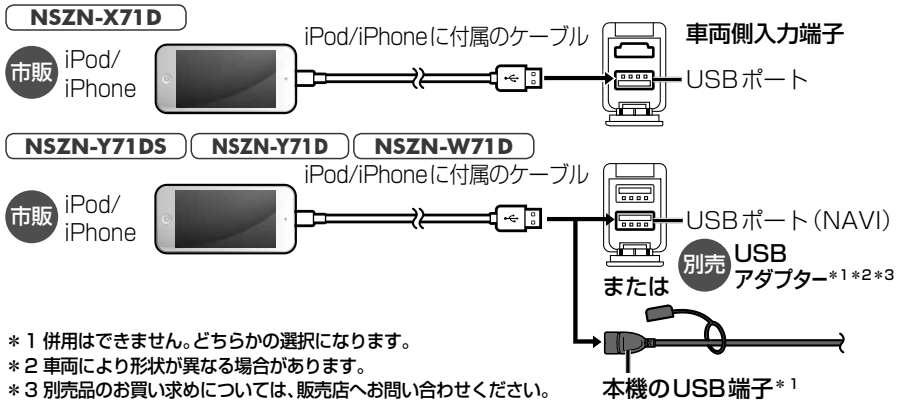
- **iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。**
- **iPodのリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。**
- **オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。**
- **コネクターは確実に差し込んでください。**
- **iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。**
- **iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。**
- **iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。**
- **ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。**
- **iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再接続してください。**
- **iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。**
- **iPodの説明書もよくお読みください。**

お知らせ

- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- 使用する機器やケーブル、またはその組み合わせによって、正しく動作しない場合があります。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneを下記のとおりに接続すると、そちらの接続が優先されるため、iPhoneで「NaviCon®」、「CarAV remote」、「Drive T@lker」を利用することはできません。
- iPodビデオ再生には対応していません。

準 備

- iPodを本機に接続してください。



＊1 併用はできません。どちらかの選択になります。
＊2 車両により形状が異なる場合があります。
＊3 別売品のお買い求めについては、販売店へお問い合わせください。

アルバムアートワーク

表示サイズは、iPodの仕様により異なります。

- 下記の場合は表示されません。
  - ・アルバムアートワークがない
  - ・アルバムアートワーク取得中
  - ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

※画像データのサイズが大きいと、表示されない場合があります。

iPod再生画面

オーディオチューン
（P.122～127）

ジャンル・アーティスト・アルバムのリストは、iPod再生画面からかんたんに表示させることができます。

- ：ジャンルのリストを表示
- ：アーティストのリストを表示
- ：アルバムのリストを表示

表示内容を切り換える

：**曲のリスト**（上図）**を表示**＊1
- 曲を選ぶと、再生を開始します。

＊1表示されるリストは、選曲方法（右記）によって異なります。

：**再生中の曲の情報を表示**

選曲方法を選んで選曲する（選曲モード）

1 **選曲モード を選ぶ**

2 **選曲する方法を選ぶ**
- 全　曲
- アルバム
- アーティスト
- ポッドキャスト
- ジャンル
- プレイリスト
- 作曲者

3 **トラック/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ**
- すべて：表示している全項目の下の階層を表示

4 **リストから曲を選ぶ**
- 選んだ曲を再生します。
- 再生中画面：iPod再生画面に戻る

一時停止

▶II を選ぶ
- 再度選ぶと、再生を開始します。

再生モード切換（リピート/シャッフル）

1 **再生モード を選ぶ**

2 **再生モードを切り換える**
- 選択した再生モードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生（リピート）

リピート を選ぶ
- 再生中の曲を繰り返し再生します。

順不同に再生（シャッフル）

シャッフル を選ぶ
- 選ぶごとに下記のように切り換わります。
  シャッフルトラック＊2→シャッフルアルバム→通常再生→

＊2リストの内容は、選曲方法（上記）によって異なります。

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

オーディオチューンのモードを選ぶ

NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D

用途に応じて、オーディオチューンのモードを選んでください。

1 情報・設定メニュー（P.26）から オーディオチューン を選ぶ

- FM/AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD（音楽）、USB（音楽）、iPodから Sound を選んでも、オーディオチューン画面を表示します。

2 オーディオチューン画面から、モードを選ぶ

- **高音質モード**
  高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。高音質で記録されたFLAC、WAVは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。
  （ビット・周波数拡張→P.125）
- **エフェクトモード**
  様々な音響効果を楽しむのに適したモードです。高音質の音源なども、通常の音質（48 kHz）に変換されて再生されます。

お知らせ

- オーディオチューンの設定は、高音質モード・エフェクトモードで別に記憶されます。（FADE/BALANCE/イコライザー、スピーカー設定を除く）

FADE/BALANCEの出力レベルを調整する

1 オーディオチューン画面（左記）から FADE/BALANCEの状態表示部をタッチする

2 ▲▼◀▶で調整する

- 車室内のイメージを直接タッチして調整することもできます。
- センター を選ぶと、値が0になります。

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LAB（ミキサーズラボ）が監修した音質で音楽を楽しめます。

- **「匠　TAKUMI マスターサウンド」**［お買い上げ時の設定］：
  レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現します。（2 wayスピーカー向き）
- **「極　KIWAMI 高域強調」**：
  音楽性を重視して高域補正した、メリハリのある感じで音楽を楽しめるモード（フルレンジスピーカー向き）
- **「和　NAGOMI 会話重視」**：
  人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D
  車種選択（P.15）で設定された車種に応じてチューニングされます。

例：Tantoの場合

1 オーディオチューン画面（P.122）から ◀▶で「音の匠」を選ぶ

NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D

■高音質モードの場合

- 「OFF」を選ぶと、設定が解除されます。

■エフェクトモードの場合

- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
  音の匠 → DSP → OFF

NSZN-W71D

- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
  音の匠 → DSP → OFF

2 ◀▶でサラウンドを選ぶ

お知らせ

- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

音場「DSP」を設定する

疑似再現したい音場を設定できます。

NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D の場合は、エフェクトモードに設定してください

1 オーディオチューン画面（P.122）から ◀ ▶ で「DSP」を選ぶ

- 選ぶごとに、音響効果が切り換わります。
  音の匠 → DSP → OFF

2 ◀ ▶ で音場を選ぶ

- H A L L：コンサートホール風の音場
- STADIUM：スタジアム風の音場
- CHURCH：教会風の音場
- L I V E：ライブハウス風の音場

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

オーディオチューン画面（P.122）から車速連動VOL補正の程度を選ぶ

- HIGH（補正大） MID（補正中） LOW（補正小） OFF（補正なし）

より自然な音で聞く（ビット・周波数拡張）

NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D

音源を補完して、より自然な音で再生します。

高音質モードに設定してください

オーディオチューン画面（P.122）からビット・周波数拡張 ON を選ぶ

- ビット・周波数拡張がONになります。
- OFF を選ぶと、設定が解除されます。

お知らせ

- 音源によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- 高音質の音源を再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

Gracenote® をアップデートする

1 オーディオチューン画面（P.122）から gracenote を選ぶ

2 Gracenoteをアップデートする

■ **定期更新**→P.112
ローカルアップデート（定期更新） を選ぶ

■ **個別更新**→P.113
カスタムアップデート（個別更新） を選ぶ

■ **データベースの初期化**
初期化 ▶ はい ▶ はい を選ぶ

- ローカルアップデート・カスタムアップデートの内容がすべて削除されます。

イコライザーの設定をする

イコライザープリセットを切り換える

あらかじめ設定されている内容を呼び出して、かんたんにイコライザーを調整できます。

1 オーディオチューン画面（P.122）から呼び出したいイコライザープリセットを選ぶ

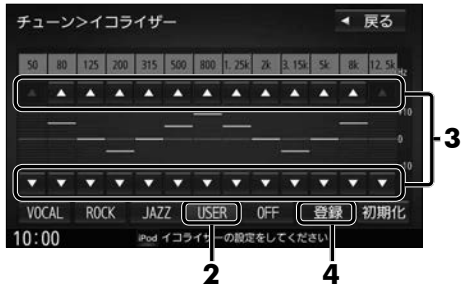
- VOCAL：中音域から高音域にかけて強調した音質
- ROCK：中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- JAZZ：中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- USER：お好みで調整した音質（下記）
- OFF：±0のフラットな音質

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

イコライザーを詳細に設定する

イコライザーを、お好みの数値に設定することができます。



1 オーディオチューン画面（P.122）からイコライザープリセットの詳細を選ぶ

2 USERを選ぶ

- 初期化：選んだイコライザーの設定をお買い上げ時の状態に戻す
- VOCAL ROCK JAZZを選ぶと、選んだ項目の詳細設定ができます。（OFFは詳細設定できません。）

3 各周波数の値を▲ ▼で設定する

4 登録を選ぶ

お知らせ

- AUDIO OFFの状態では設定できません。

スピーカーの設定をする

［太字：お買い上げ時の設定］

スピーカー出力レベルの調整をする

1 オーディオをFMまたはAMに切り換える

2 放送局が無い周波数に合わせる

- ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

3 オーディオチューン画面（P.122）からスピーカー設定を選ぶ

4 スピーカー設定画面からスピーカー出力レベルを選ぶ

5 ◀ ▶で各スピーカーの出力レベルを調整する

- 調整範囲：－12 dB～**±0 dB**～+12 dB
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。

NSZN-Y71DS **NSZN-X71D**
［お買い上げ時のスピーカーに合わせて設定済み］

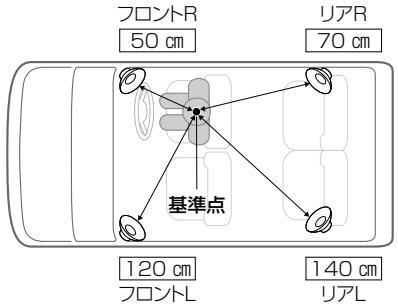
NSZN-Y71D **NSZN-W71D**
［お買い上げ時の設定：±0］

スピーカーディレイを設定する

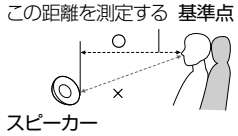
1 スピーカー設定画面（左記）からスピーカーディレイを選ぶ

2 ◀ ▶で各スピーカーの距離を調整する

- 調整範囲：0 ㎝～**100** ㎝～500 ㎝（2 ㎝刻み）
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。（10 ㎝あたり約0.3 ms）



- 視聴位置を基準点としてください。
- 距離は、水平に計測してください。



映像を調整する

画質を調整する

1 画質調整画面または画面調整画面が表示されるまで、[■] を2秒以上押す

- バックモニター、パノラマモニターの画質を調整する場合は、バックモニター、パノラマモニターの映像を表示させてください。(P.186、188)

2 TV DVD SD(動画) USB(動画) HDMI ドライブレコーダー の場合のみ

画面調整画面から 画質調整 を選ぶ

3 画質調整画面から画質を調整する

明るさ
- ▶: 明るくなる
- ◀: 暗くなる

コントラスト
- ▶: 明暗の差が大きくなる
- ◀: 明暗の差が小さくなる

色の濃さ*1
- ▶: 濃くなる
- ◀: 薄くなる

色合い*1
- ▶: 緑みが強くなる
- ◀: 赤みが強くなる

NSZN-X71D NSZN-W71D のみ

ダイナミックガンマ*1
- お買い上げ時の設定:OFF
- 映像の強弱(コントラスト)を強調する機能です。
- 選ぶごとに、ON(有効)/OFF(無効)が切り換わります。

お買い上げ時の設定に戻すには

初期値 を選ぶ

お知らせ

- もとの映像によっては、明るい部分の諧調表現がつぶれる場合があります。

＊1 ナビゲーション画面では調整・設定できません。

映像の画面表示サイズを切り換える

画面調整画面(上記)から画面表示サイズを選ぶ　[お買い上げ時の設定:フル]

ノーマル　4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)
- 16:9の映像は、横方向に圧縮されます。

フル　映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面(どの位置も伸ばす比率は同じ)

ワイド　16:9(横:縦)の画面
NSZN-X71D 上下が少し黒くなります。
NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-W71D 左右が少し黒くなります。
- 4:3の映像は、横方向に引き伸ばされます。

シネマ　NSZN-X71D NSZN-W71D
ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて拡大した画面(DVD のみ)(上下が少しカットされる)

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、TV DVD SD(動画) USB(動画) HDMI の映像を表示できます。

1 現在地画面で LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から デュアルウィンドウ ▶ OK を選ぶ

- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。

- 右画面(オーディオ画面)をタッチすると、オーディオが全画面表示されます。

お知らせ

- ナビ設定からも、デュアルウィンドウの設定ができます。(P.192)

デュアルウィンドウを解除するには

1 現在地画面で LAUNCHER を選ぶ

2 ランチャーメニューから 右画面表示 を選ぶ

3 右画面表示設定画面から OFF ▶ OK を選ぶ

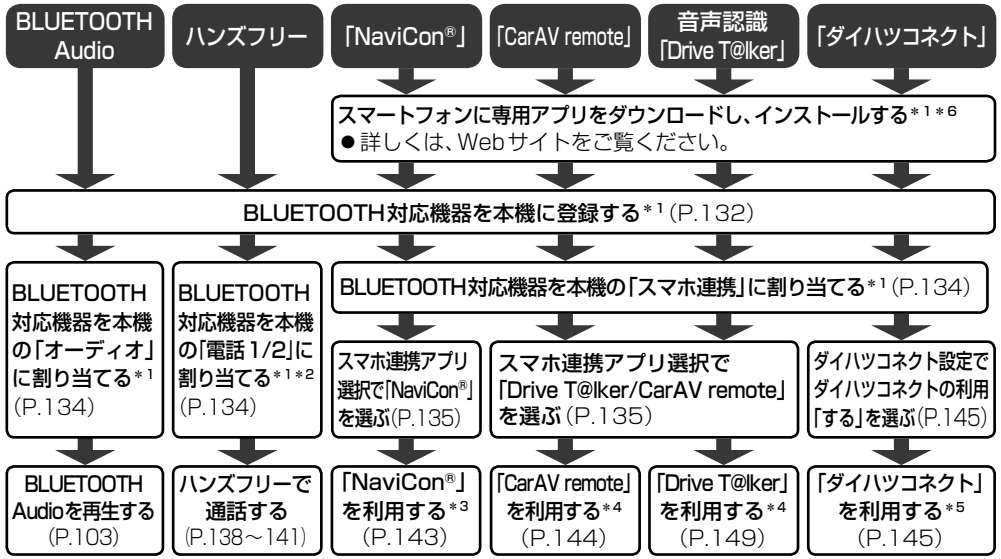
- デュアルウィンドウが解除されます。

お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は非表示になります。
  地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 下記の画面を表示中は、オーディオ映像は表示されません。
  - ・拡大図(P.36)表示中
  - ・地図モード画面(P.40)
  - ・渋滞・規制情報の割り込み表示中(P.79)
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置の変更ができません。

BLUETOOTH®

ご利用の流れ



- BLUETOOTH® 対応機器は5台まで登録可能です。接続台数は右記のとおりです。
- すでに最大数登録しているときは、不要な登録データを削除してください。(P.133)

機器	接続台数
ハンズフリー用携帯電話	2台*6
BLUETOOTH Audio機器	1台
スマートフォン連携機器	1台

- 適合機種については、Webサイト(https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html)をご覧ください。
- 操作方法は対応機器によって異なります。詳しくは、BLUETOOTH対応機器の説明書をご覧ください。

本機で利用できるプロファイルについて

サービス		プロファイル
ハンズフリー	ハンズフリー通話	Hands-Free Profile (HFP)
	電話帳転送	Object Push Profile (OPP) Phone Book Access Profile (PBAP)
BLUETOOTH Audio		Advanced Audio Distribution Profile (A2DP) Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
スマートフォン連携	「NaviCon®」*7/「CarAV remote」*7/「ダイハツコネクト」*7	Serial Port Profile (SPP)
	音声認識「Drive T@lker」*7	Serial Port Profile (SPP) Hands-Free Profile (HFP)

＊1 初回利用時のみ
＊2 携帯電話は、2台まで自動で「電話1」または「電話2」に割り当てられます。
すでに2台割り当てられている場合は、手動で「電話1」または「電話2」を選び割り当てます。
＊3 「NavCon®」は、「CarAV remote」、「Drive T@lker」「ダイハツコネクト」とは同時に利用できません。
＊4 「CarAV remote」、「Drive T@lker」は、「NavCon®」「ダイハツコネクト」とは同時に利用できません。
＊5 「ダイハツコネクト」利用中は、他のスマートフォン連携機能は利用できません。
＊6 2台同時に通話することはできません。
＊7 アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

BLUETOOTH通信を利用して、
BLUETOOTH Audio (P.103)、ハンズフリー通話 (P.138)、
NaviCon® (P.142)、CarAV remote (P.144)、ダイハツコネクト (P.145)、
Drive T@lker (P.149) の機能を利用できます。

登録・接続

BLUETOOTH対応機器を本機に登録する 132
BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する 133
地図画面のハンズフリー状態表示 133
BLUETOOTH対応機器を本機に割り当てる 134
接続確認案内の設定をするには 134
BLUETOOTHの接続設定をする 135
スマートフォン連携で使用するアプリを選択する 135
BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る 136
本機の本体情報を見る 137
本機のデバイス名とパスキーを変更する 137

ハンズフリー

ハンズフリーで通話する 138
電話がかかってきたら 138
通話中の操作 138
電話番号を入力して電話をかける 139
リダイヤルする 139
発着信履歴から電話をかける 139
アドレス帳を登録する 140
アドレス帳から電話する 140
アドレス帳を削除する 141
ハンズフリー通話の設定をする 141

スマートフォン

NaviCon® を利用する(スマートフォン連携) 142
「NaviCon®」とは 142
「NaviCon®」を利用する 143
スマートフォンをリモコンとして使う(スマートフォン連携) 144
CarAV remoteとは 144
CarAV remoteを利用する 144
ダイハツコネクトを利用する(スマートフォン連携) 145
ダイハツコネクトとは 145
ダイハツコネクトの設定をする 145

BLUETOOTH対応機器を 本機に登録する

「BLUETOOTHについて」(P.226)をよくお読みください。

初回利用時のみ必要な設定です。

本機での操作

1 情報・設定メニュー(P.26)から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から BLUETOOTH を選ぶ

3 BLUETOOTH設定画面から 機器登録 を選ぶ

4 (すでにBLUETOOTH対応機器が本機にBLUETOOTH接続されている場合) はい を選ぶ

- 端末登録設定画面が表示されます。
- BLUETOOTH対応機器と本機とのBLUETOOTH接続がすべて切断され、機器登録後に再度接続されます。

BLUETOOTH対応機器での操作

5 周辺のBLUETOOTH対応機器(本機)を探す

- 周辺のBLUETOOTH対応機器が検索され、登録機器リストが表示されます。

6 本機のデバイス名を選ぶ

- お買い上げ時の設定:
  CAR MULTIMEDIA

7 (パスキー入力画面が表示された場合のみ) 本機のパスキー(P.137)をBLUETOOTH対応機器に入力する

- お買い上げ時の設定
  ・パスキー:1212
  BLUETOOTH対応機器によっては、この操作は必要ありません。

以下の画面が表示された場合は、認証コードを確認し、接続機器を操作して、登録してください。

BLUETOOTH対応機器が本機に登録されます。

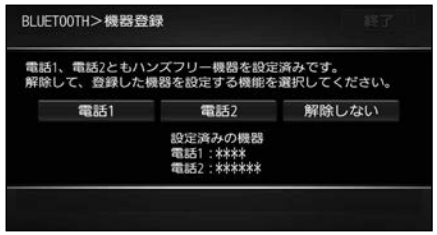
- 携帯電話を登録した場合は、自動的に「電話1」または「電話2」に割り当てられます。

お知らせ

- BLUETOOTH設定画面は、下記の方法でも表示できます。
  ・ツートップメニューから ハンズフリー ▶ 設定 を選ぶ
  ・BLUETOOTH Audio機器が登録されていない状態で、BLUETOOTH Audio画面から 設定 を選ぶ

■ すでにハンズフリー用携帯電話が設定されている場合

「電話1」「電話2」ともに携帯電話が割り当てられている場合は、以下の画面が表示されます。



電話1 または 電話2 を選ぶ

- すでに登録されている携帯電話の割り当てを解除して、新たに登録した携帯電話を登録します。解除しても携帯電話の登録は残ります。
- 解除しない を選ぶと、すでに登録されている携帯電話の割り当ては解除せず、新たな携帯電話の登録のみを行います。

BLUETOOTH対応機器の登録データを削除する

一度削除するともとに戻せません。(再登録が必要になります。)
削除は十分確認のうえ行ってください。

1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から 登録機器一覧 を選ぶ

2 登録機器一覧画面から削除したい機器の 🗑 を選ぶ

3 はい を選ぶ

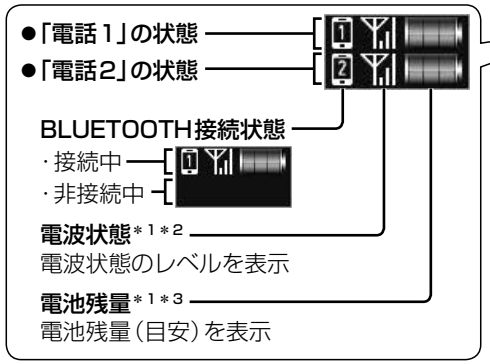
- 削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- 再登録する場合には、BLUETOOTH対応機器側の登録も解除してください。

地図画面のハンズフリー状態表示

BLUETOOTHの接続設定(P.135)が「する」に設定されていると、ハンズフリー接続中の携帯電話(電話1/電話2)の状態が地図画面に表示されます。



＊1 携帯電話の表示とは異なる場合があります。
＊2 サービスエリア外、電波の届かない場所、機内モードに設定時などの場合は表示されません。
＊3 機種によっては表示されない場合があります。

BLUETOOTH対応機器を 本機に割り当てる

準 備

- スマホ連携用のスマートフォンを割り当てる場合は、あらかじめ専用アプリケーション（無料）の「NaviCon®」/「CarAV remote」/「Drive T@lker」をインストールして、起動してください。（P.142、144、149）

1 BLUETOOTH設定画面（P.132）から 登録機器一覧 を選ぶ

2 登録機器一覧から割り当てたい機器のアイコンを選ぶ

登録機器名

登録した機器を削除する（P.133）

ハンズフリー用の携帯電話
2台まで割り当てられます。

BLUETOOTH Audio機器
1台まで割り当てられます。

スマホ連携機器
1台まで割り当てられます。

- 選んだ機器が割り当てられます。
- 割り当てが完了するまで、約20秒かかります。
- すでに機器が割り当てられているところに、別の機器を割り当てると、前の機器は解除されます。

解除するには

登録機器一覧（上記）**から割り当て中の機器を選ぶ**

- 解除されます。

接続確認案内の設定をするには

本機の電源がONになったとき、割り当てられた携帯電話に接続できなかった場合に、「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか？」と案内されます。
案内されるまでの時間は、割り当てた携帯電話の台数により異なります。

1 BLUETOOTH設定画面（P.132）から 接続設定 を選ぶ

2 接続設定画面から、接続確認案内の する / しない を選ぶ

BLUETOOTHの接続設定をする

1 BLUETOOTH設定画面（P.132）から 接続設定 を選ぶ

2 接続設定画面から、BLUETOOTHの する を選ぶ

- お買い上げ時の設定：する
- しない を選ぶと、BLUETOOTH接続を解除します。

お知らせ

- 接続を解除しても、登録機器からは削除されません。

スマートフォン連携で使用するアプリを選択する

1 情報・設定メニュー（P.26）から スマホ連携アプリ選択 を選ぶ

2 設定したいスマホ連携アプリを選ぶ

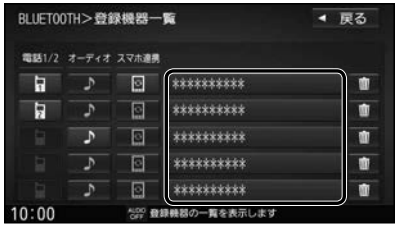
お知らせ

- BLUETOOTH設定画面（P.132）からも、スマホ連携アプリ選択 を選べます。

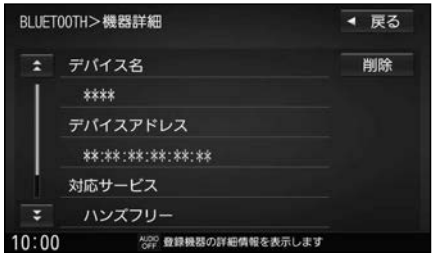
BLUETOOTH対応機器の詳細情報を見る

1 BLUETOOTH設定画面（P.132）から 登録機器一覧 を選ぶ

2 情報を見たい機器を選ぶ



●詳細情報を表示

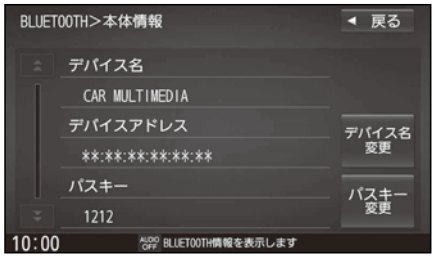


項　目	内　容
デバイス名	BLUETOOTH対応機器の名称を表示
デバイスアドレス	BLUETOOTH対応機器の固有のデバイスアドレス（12桁の英数字）を表示
対応サービス	本機が対応しているBLUETOOTH対応機器サービスを表示 ● プロファイルについては、P.130も併せてご覧ください。
自局番号	BLUETOOTH対応機器の自局の電話番号を表示

本機の本体情報を見る

BLUETOOTH設定画面（P.132）から 本体情報 を選ぶ

●本体情報画面を表示



項　目	内　容
デバイス名	本機の名称を表示
デバイスアドレス	本機固有のデバイスアドレス（12桁の英数字）を表示
パスキー	本機のパスキーを表示

本機のデバイス名とパスキーを変更する

本体情報画面（上記）から各項目を設定する

項　目	設定内容／操作	
デバイス名変更	本機のデバイス名を入力する ● 半角英数24文字まで ● お買い上げ時の設定：「CAR MULTIMEDIA」	決定 を選ぶ
パスキー変更	パスキー（4～6桁の数字）を入力する [お買い上げ時の設定：1212] ● 修正：1文字削除	

■パスキーとは

BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。
携帯電話によっては、あらかじめ設定されていて変更できない場合や、接続時にパスキーが不要な場合があります。

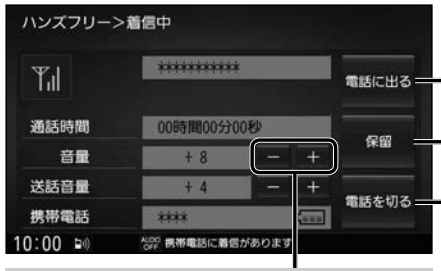
ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- マイクに向かって大きな声ではっきりと話してください。

電話がかかってきたら

自動的に着信画面に切り換わります。



電話に出る

電話に出る を選ぶ

- 通話を開始します。

応答保留する＊1

保留 を選ぶ

- 通話 を選ぶと通話を開始します。

＊1 電話機側が対応している場合のみ

電話に出ずに切る（着信拒否）

電話を切る を選ぶ

- 着信が切れます。

お知らせ

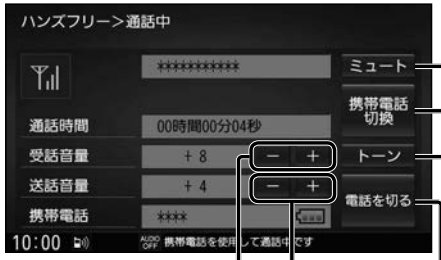
- 携帯電話の機種によっては、着信中に 電話を切る を選んでも電話に出る場合があります。

着信音量を調整する

＋：音量が大きくなる
－：音量が小さくなる

- 調整範囲：1～15[お買い上げ時の設定：8]

通話中の操作



送話音を消音する

ミュートを選ぶ

- 通話 を選ぶと、解除されます。

通話を携帯電話に切り換える

携帯電話切換 ▶ はい を選ぶ

- ハンズフリー切換 ▶ はい を選ぶと、ハンズフリー通話に戻ります。

トーン信号（ピッポッパ）を送る

1 トーン を選ぶ

2 数字を選び、トーン信号を送る
- プッシュホンサービスなどを利用できます。

受話音量を調整する

＋：音量が大きくなる
－：音量が小さくなる

- 調整範囲：1～15[お買い上げ時の設定：8]

送話音量を調整する

＋：音量が大きくなる
－：音量が小さくなる

- 調整範囲：1～7[お買い上げ時の設定：4]

電話を切る

電話を切る を選ぶ

- 通話を終了します。

ステアリングスイッチで操作するには

- **電話に出るには**
  着信中に、[☎]を押す。
- **電話を切るには**
  通話中に、[☎]を押す。

お知らせ

- 携帯電話を待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- 携帯電話によっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機とBLUETOOTH接続中に、携帯電話を操作して電話をかけても（電話に出ても）ハンズフリー通話になる場合があります。

電話番号を入力して電話をかける

1 ツートップメニュー（P.26）から ハンズフリー を選ぶ

2 ハンズフリー画面から携帯電話（電話1/電話2）を選び、ダイヤル を選ぶ

3 電話番号を入力し、発信 を選ぶ

- 入力した電話番号に電話をかけます。
- 修正：1文字削除
- 販売店、コールセンター、ロードサービス を選ぶと、あらかじめ登録した連絡先に電話をかけることができます。（登録のしかた→P.160）

リダイヤルする

1 ハンズフリー画面（左記）から携帯電話（電話1/電話2）を選び、リダイヤル を選ぶ

2 はい を選ぶ
- 前回発信した相手にリダイヤルします。

発着信履歴から電話をかける

1 ハンズフリー画面（左記）から携帯電話（電話1/電話2）を選び、発信履歴（着信履歴）を選ぶ
- 発信履歴（または着信履歴）のリストが表示されます。

2 リストからかける相手を選ぶ

- 全削除：履歴をすべて削除

3 発信 を選ぶ

- 電話をかけます。
- 削除：選んだ履歴を削除

ハンズフリーで通話する

アドレス帳を登録する

1 ハンズフリー画面(P.139)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、携帯メモリ読み出しを選ぶ

2 ■PBAP接続に対応していない携帯電話の場合

はいを選ぶ

携帯電話を操作して電話帳データを転送します。本機にすでに電話帳データが保存されている場合、追加保存/上書き保存を選んでください。

- 追加保存:登録済みの電話帳データを残して追加登録
- 上書き保存:登録済みの電話帳データを削除して新たに登録

■PBAP接続の場合

携帯電話でPBAP転送の許可操作を行ってください。

- 全件の電話帳が転送されます。
- 自動で上書きされます。追加登録はできません。

3 終了を選ぶ

- アドレス帳の登録が完了します。

お知らせ

- 本機に登録した電話帳の内容(電話帳、氏名など)を編集することはできません。電話帳の内容を変更するときは、編集したい通話先をいったん削除(P.141)し、携帯電話で編集のうえ、再登録してください。
- BLUETOOTH接続している携帯電話の電話帳から転送した分の登録データのみ使用できます。(BLUETOOTH接続している携帯電話以外のデータは表示されません。)
- 電話1台につき最大1 500件まで登録できます。
  また、1件につき電話番号を2つまで登録できます。

アドレス帳から電話する

準備

携帯電話のアドレス帳を転送して本機に登録してください。(左記)

1 ハンズフリー画面(P.139)から携帯電話(電話1/電話2)を選び、アドレス帳を選ぶ

2 アドレス帳から、相手を選ぶ

名前順リスト

- あ～わ:選んだ読みに移動
- その他:アルファベット・数字などで始まる名称に移動
- メモリ順:メモリ番号順に切り換え

メモリ番号順リスト

- 1～0:メモリ番号を入力
- 修正:1文字削除
- 名前順:名前順に切り換え

3 番号1に発信(または番号2に発信)を選ぶ

- 選んだ番号に電話をかけます。

アドレス帳を削除する

1件削除する場合

1 アドレス帳(P.140)から削除したいアドレスを選ぶ

2 削除を選ぶ

3 はいを選ぶ

- 選んだアドレスが削除されます。

全件削除する場合

1 アドレス帳(P.140)から全削除を選ぶ

2 はいを選ぶ

- すべてのアドレスが削除されます。

ハンズフリー通話の設定をする

1 BLUETOOTH設定画面(P.132)から通話設定を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字:お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容/操作
着信音量	−/+で調整する ● 調整範囲:1～8～15
受話音量	−/+で調整する ● 調整範囲:1～8～15
送話音量	−/+で調整する ● 調整範囲:1～4～7
ノイズキャンセル	「ON」:ノイズキャンセルを有効にする 「OFF」:ノイズキャンセルしない
通話中の着信拒否	「する」:本機に携帯電話が2台接続されているとき、片方の携帯電話で通話中(または発信中・着信中)のときに、もう一方の携帯電話に着信があっても着信拒否する 「しない」:通話中の着信を拒否しない
自動応答保留	「する」:着信が入ると、自動的に応答保留する 「しない」:自動応答保留しない

NaviCon® を利用する（スマートフォン連携）

「NaviCon®」とは

株式会社デンソーが提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
NaviCon®は多彩な連携アプリで探した行先を、ワンタッチで本機に転送し目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。無料でご利用いただけます。

- 入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
  NaviCon®サポートサイト：https://navicon.com/user/support/

NaviCon（iOS/Android版）は無料でご利用いただけます。
インストール方法はこちらをご覧ください。

NaviConサポートサイト：https://navicon.com/

準 備

- スマートフォンにアプリ「NaviCon®」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。（P.132）
- スマートフォンを「スマホ連携」に割り当て（P.134）、スマホ連携アプリ選択で NaviCon を選んでください。（P.135）

お知らせ

- 「NaviCon®」を利用する場合は、スマートフォンと本機をケーブルで接続する必要はありません。
- iPodまたはiPhoneをP.120の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneでNaviCon®を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

「NaviCon®」を利用する

「NaviCon®」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンでの操作
「NaviCon®」から、地点を検索し、目的地として本機に送信する

本機で地点情報を受信し、全ルート図が表示されます。（P.55）

「NaviCon®」のルート探索について

- 現在地がルートの出発点に設定されます。
- 探索条件（P.66）「おまかせ」で探索されます。
- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の目的地履歴（P.56）に保存されます。
  登録地（P.73）には保存されません。

「NaviCon®」で本機の地図の位置を変更する

1. **本機での操作**
   現在地画面または地図モード画面を表示させる
2. **スマートフォンでの操作**
   「NaviCon®」の地図をスクロールする

「NaviCon®」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

「NaviCon®」で本機の地図の縮尺を変更する

1. **本機での操作**
   現在地画面または地図モード画面を表示させる
2. **スマートフォンでの操作**
   「NaviCon®」の地図の縮尺を変更する

本機の地図の縮尺が、「NaviCon®」で変更した縮尺に切り換わります。

「NaviCon®」での地図操作（位置・縮尺の変更）について

- 縮尺は、5 m/12 m/25 m/50 m/100 m/200 m/500 m/1 ㎞/2.5 ㎞/5 ㎞/10 ㎞/25 ㎞/100 ㎞/250 ㎞のいずれかに切り換わります。
- 「NaviCon®」で5 mよりも詳細な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は5 m縮尺に切り換わります。
- 「NaviCon®」で250 ㎞よりも広域な縮尺に切り換えた場合、本機の地図は250 ㎞縮尺に切り換わります。

CarAV remoteとは

当社が提供するスマートフォン向けアプリケーションです。
BLUETOOTH通信を利用して、スマートフォン専用のアプリケーション「CarAV remote」(無料)で本機のオーディオを操作できます。

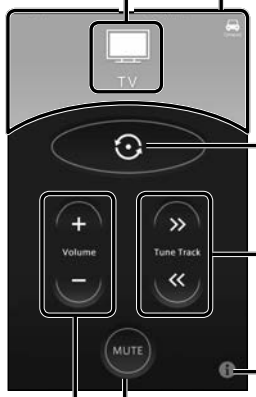
準 備

- スマートフォンにアプリ「CarAV remote」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.132)
- スマートフォンを「スマホ連携」に割り当て(P.134)、スマホ連携アプリ選択で Drive T@lker/CarAV remote を選んでください。(P.135)

お知らせ

- iPodまたはiPhoneをP.120の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「CarAV remote」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

CarAV remoteを利用する



オーディオの種類を選ぶ

オーディオ表示部を、右から左にフリックする

- フリックするごとにオーディオが切り換わります。

または

をタッチする

- タッチするごとにオーディオが切り換わります。

- 切り換わりかたは、ステアリングスイッチの MODE で操作したときと同じです。(P.86)

頭出し/早送り・早戻し/選局する

≫≪をタッチする

アプリの情報(バージョン、利用規約、操作ガイド)を表示

音量を調整する

＋－をタッチする

- ＋：大きくなる
- －：小さくなる

オーディオの音量を消音する(ミュート)

をタッチする

- もう一度タッチすると解除します。
- ミュート時の動作について→P.18

ダイハツコネクトとは

本機とスマートフォンとを接続することで、「安心・快適・便利」な車向け情報を得られるサービスです。ダイハツコネクトのサービスや、ダイハツポートの会員登録・退会については、ダイハツポートのWebサイトをご覧ください。(https://dport.daihatsu.co.jp/member/web/login/index)

■つないでサポート(事故対応サポート、故障対応サポート)
エアバッグが作動したとき、本機にメッセージが表示されます。このメッセージに従い、事故・故障センターに電話をかけることができます。また、登録されたメールアドレスに交通事故を知らせるメールを自動送信します。メーター内の警告等が点灯したとき、その対処法などを知らせるメッセージが本機に表示されます。

■見えるマイカー(駐車位置確認、マイカー情報確認)
駐車位置や燃料残量など車両の状態をスマートフォンで確認できるサービスです。

■つないでケア(車検/点検案内、リコール通知)
定期メンテナンスなどの時期を案内するサービスです。(エンディングメッセージ)

■見えるドライブ(運転見守り)
家族間などの車両の利用状況を、登録されたメールアドレスに通知するサービスです。

詳しい操作の手順や注意事項につきましては、ダイハツ工業株式会社のWebサイトをご覧ください。(https://www.daihatsu.co.jp/connect/manual.htm)

準 備

- ダイハツポートの会員登録をしてください。
- スマートフォンにアプリ「ダイハツコネクト」をインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。(P.132)
- ダイハツコネクトの設定をしてください。(下記)

お知らせ

- スマートフォンでのデータ通信に関する通信料金は、お客様のご負担となります。
- データ取得までの時間は、本機の状態やデータの内容、電波状態によって異なります。
- iPodまたはiPhoneをP.120の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「ダイハツコネクト」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。
- 「ダイハツコネクトの利用」が「する」に設定されているときは、「NaviCon®」、「CarAV Remote」、「Drive T@lker」を利用できません。
- スマートフォンでアプリを起動すると、「SDL対応アプリ一覧」が表示される場合がありますが、本機はこれらのアプリには対応していません。
- アプリは、予告なく機能が変更されたり、サービスが終了となることがあります。

ダイハツコネクトの設定をする

1 システム設定画面(P.23)から その他設定 を選ぶ

2 その他設定画面から ダイハツコネクト設定 を選ぶ

3 各項目を設定する　[**太字**：お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容/操作
ダイハツコネクトの利用	「**す　る**」：ダイハツコネクトサーバーとデータを通信する。 「しない」：ダイハツコネクトを利用しない。
エンディングメッセージの表示	「**する(音声あり)**」：お知らせ事項があるときは、本機の電源を切る際に画面表示と音声で案内する。 「する(音声なし)」：お知らせ事項があるときは、本機の電源を切る際に画面表示のみで案内する。 「しない」：エンディングメッセージを表示・案内しない。

音声認識

音声認識機能について.....148
スマートフォン連携による音声認識（Drive T@lker）.....148
ボイスコマンドによる音声認識.....148
Drive T@lkerで目的地を検索する.....149
Drive T@lkerを利用する.....149
Drive T@lkerの使用例.....150
検索結果画面の操作のしかた.....151
ステアリングスイッチの音声認識設定.....151
ボイスコマンドで本機を操作する.....152
ボイスコマンドの設定をする.....152
ボイスコマンドを使う.....152
ボイスコマンド一覧表.....153

その他の機能

エコ機能を使う.....154
エコ機能とは.....154
急加減速・アイドリング・高速度走行の診断結果を見る（ドライブ診断）.....154
燃費を計算する.....155
燃費を確認する.....155
ドライブ診断の評価を用いてキャラクターを育成する（エコde育成）.....156
エコ機能の各種設定をする（エコ設定）.....157
メンテナンス情報を設定する.....158
運転アシスト機能を利用する.....160
運転アシストの設定をする.....160
運転アシスト機能.....161
地図更新について.....162
無償地図更新サービス（Webダウンロード更新）.....162
地図SDHCメモリーカードの出し入れ.....163

別売品

ETCシステムと組み合わせる.....164
ETCシステムの概要.....164
ETC2.0の概要.....165
ETC料金履歴を見る.....166
ETC管理情報を見る.....166
ETCの設定をする.....167
ドライブレコーダー使用時のお願い.....168
ドライブレコーダーについて.....168
電源について.....168
著作権などについて.....168
免責事項について.....168
ドライブレコーダーで使用できるSDメモリーカード.....169
microSDメモリーカードの取り扱いについて.....169
記録データが保存される階層について.....169
ドライブレコーダーと組み合わせる.....170
カメラの映像を確認する.....170
加速度センサーを最適化する.....171
ドライブレコーダーの設定をする.....172
常時録画（動画）.....174
駐車録画（動画）.....175
手動で動画を録画する.....176
手動で静止画を撮影する.....176
動画・静止画を再生する.....177
動画再生画面.....178
静止画再生画面.....178
ファイルを保存フォルダへ移動する.....179
ファイルを削除する.....179
ドライブレコーダー（1チャンネル　ナビ連動モデル）について.....180
各部のなまえとはたらき（ドライブレコーダー）.....180
microSDメモリーカードの出し入れ.....181
記録できるファイル数について.....181
画質の目安.....181
ドライブレコーダーの仕様.....182
バックモニター・パノラマモニター使用時のお願い.....183
距離目安線の誤差について.....184
予想進路線の誤差について.....185
障害物検知表示.....185
車両のコーナーセンサーに連動する/しないを設定する.....185
バックモニターの映像を見る.....186
後方の映像を映す.....186
ガイド線・目安線の設定をする［ガイド線（固定）の場合］.....187
パノラマモニターの映像を見る.....188
後方の映像を映す.....188
前方の映像を映す.....188
表示を切り換える.....188
ガイド線を切り換える.....188
後席モニターと組み合わせる.....189
ビデオカメラなどと組み合わせる.....190
ビデオカメラなどを本機と接続する.....190
ビデオカメラなどの映像を見る.....190

設定

利用に応じた設定に変える.....191
表示の設定をする.....191
案内の設定をする.....192
探索条件の設定をする.....194
渋滞情報（VICS）の設定をする.....195
システムの設定をする.....196
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す.....197

困ったとき

よくあるお問い合わせ.....198
故障かな!?.....199
- 電源・共通.....199
- ナビゲーション.....200
- オーディオ［TV］.....202
- オーディオ［FM/AM］.....202
- オーディオ［DVD］.....203
- オーディオ［MP3/WMA（CD-R/CD-RW）］/［SD］/［USB］.....203
- オーディオ［MEMORY MUSIC］.....204
- オーディオ［iPod］.....205
- BLUETOOTH.....205
- ボイスコマンド.....209
- Drive T@lker.....209
- ドライブレコーダー.....210
- ETC2.0ユニット.....211
- こんなメッセージが出たときは.....211
- 結露について.....213
- 万一、故障や異常が起こったら.....213

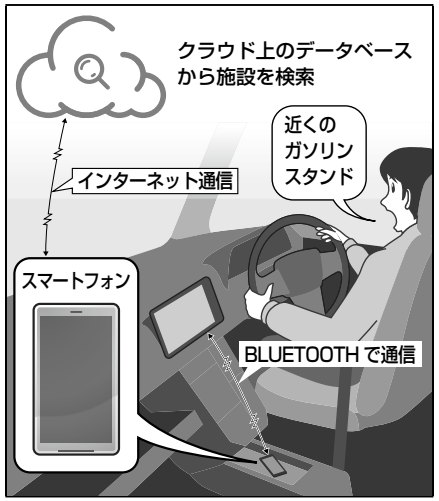
必要なとき

文字入力のしかた.....214
ディスクについて.....215
お手入れ.....217
SDメモリーカード・USBメモリーについて.....218
データ作成時の留意点.....219
ナビゲーションシステムとは.....223
BLUETOOTHについて.....226
DVD言語コード一覧表.....227
VICSについて.....228
地図ソフトについて.....230
ジャンル一覧.....234
さくいん.....236
商標などについて.....240
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて.....242
仕様.....244
アフターサービスについて.....246
無償地図更新サービスのご案内.....247

音声認識機能について

スマートフォン連携による音声認識（Drive T@lker）

パナソニックが提供するスマートフォン向けアプリケーション「Drive T@lker」を使って、音声認識を行います。
音声で入力された施設などをクラウド上のデータベースから検索し、「**行き先を設定**」できます。



ボイスコマンドによる音声認識

よく使う機能が、画面を見たりボタンを操作することなく、ボイスコマンドを発声するだけで操作できます。
（一部操作のみ）

- ボイスコマンドを利用するには、ボイスコマンドの利用を「する」に設定してください。（P.152）

お知らせ

- ボイスコマンド設定の状態に関わらず、Drive T@lkerを利用中や、本機のボタン操作中は、ボイスコマンドを利用できません。

Drive T@lkerで目的地を検索する

Drive T@lkerを利用する

準 備

- アプリ「**Drive T@lker**」をスマートフォンにインストールしてください。
- スマートフォンを本機に機器登録してください。（P.132）
- スマートフォンを「スマホ連携」に割り当ててください。（P.134）
- スマホ連携アプリ選択で Drive T@lker/CarAV remote を選んでください。（P.135）
- スマートフォンがロック状態のときは、Drive T@lkerを起動できません。スマートフォンのロックを解除してください。
- iPodまたはiPhoneをP.120の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneでDrive T@lkerを利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。

1 Drive T@lkerを起動する

下記のいずれかの操作で起動できます。

- **本体の [Ⓐ] を2秒以上押す**
- **ツートップメニュー**（P.26）**から [ ] を選ぶ**
- **ランチャーメニュー**（P.42）**から 音声認識 を選ぶ**
- **MODEボタン長押し時の音声認識起動**（P.151）**が「する」に設定されている場合は、ステアリングスイッチの [MODE] を2秒以上押してもDrive T@lkerを起動できます。**

NSZN-Y71DS NSZN-W71D

- **オプションボタン設定**（P.25）**が「音声認識」に設定されている場合は、[★] を押してもDrive T@lkerを起動できます。**

2 マイクに発声して、音声で操作する

- 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。

凡例
- 利用者の音声操作
- 本機の音声案内

例：

- こんにちは。どちらまで行きますか？
- **近くのガソリンスタンド**
- この付近のガソリンスタンドをお調べします。
- 20件のガソリンスタンドが見つかりました。近い順に
  1．○○石油××SS/2．△△石油××SS/3．□□石油××SS です。

- 検索結果画面（P.151）が表示されます。

- **3番**＊1
- □□石油××SSを目的地に設定しますか？
- **はい、一般優先で**＊2
- □□石油××SSを目的地に設定します。一般優先で探索します。

＊1「□□石油××SS」と名称で選択することもできます。
＊2「電話をかける」と発声すると、選択した施設に電話をかけることができます。

Drive T@lkerで目的地を検索する

Drive T@lkerの使用例

■ 周辺の施設を検索する

新横浜駅周辺のファミレス

■ 住所から検索する

神奈川県横浜市都筑区
池辺町4261

■ 施設の名称から検索する

パナソニックセンター東京

■ 自宅を検索する

自宅に帰る

●本機に登録した自宅を検索できます。

■ ルート沿いの施設を検索する

ルート沿いのコンビニ

■ 条件を詳細に設定する

横浜で
駐車場のあるイタリアンを
経由地に、一般道優先で

■ 検索をやりなおす

言い直し

●番号の選択をやりなおすときは、番号を言いなおしてください。

認識率をよくするために

適正な音量で、はっきりと発声してください。

枠（通常は緑で表示）

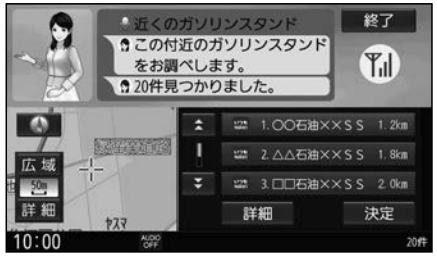
●声が大きすぎると、枠の色が赤に変化します。
●声が小さすぎると認識されません。
●枠が表示されないときは、マイクの接続を確認してください。
●車の窓を閉めてください。
（周囲の雑音による誤認識を防ぐため）
●同乗者に会話を控えてもらってください。
（同乗者の声による誤認識を防ぐため）

お知らせ

●運転者以外がDrive T@lkerを利用する場合は、スマートフォンのマイクに向かって発声できます。その場合は、
・Drive T@lkerアプリの🎤をタッチして発声してください。
・詳しくはDrive T@lkerアプリの説明書をご覧ください。

検索結果画面の操作のしかた

Drive T@lkerで施設を検索すると、下記のような検索結果画面が表示されます。
音声またはタッチ操作してください。



■ 施設の詳細情報を聞く

3番の詳細情報

●施設名称・住所・情報が案内されます。
●番号で選択してください。（詳細情報を聞く施設は、名称では選択できません。）

■ 次の候補に切り換える

次のページ

●次の候補を３件表示します。

■ タッチ操作するには

リストから施設を選び、決定を選ぶ

●現在地から選んだ施設までのルートを探索します。
●詳細：施設の詳細情報を表示

お知らせ

●検索結果画面をタッチ操作すると、Drive T@lkerは終了します。以降の操作はタッチで行ってください。

ステアリングスイッチの音声認識設定

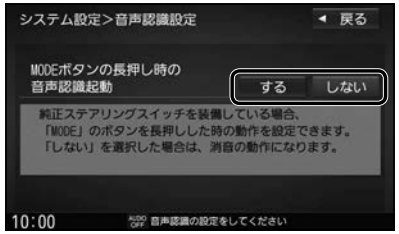
ステアリングスイッチの MODE を２秒以上押したときの動作を設定できます。

1 情報・設定メニュー（P.26）から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 音声認識設定 を選ぶ

4 MODEボタン長押し時の音声認識起動 する / しない を選ぶ



●する：MODE を２秒以上押すと、Drive T@lkerを起動します。
●しない：MODE を２秒以上押すと、一時的に消音します。
［お買い上げ時の設定］

ボイスコマンドで本機を操作する

ボイスコマンドの設定をする

1 情報・設定メニュー（P.26）から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 ボイスコマンド設定 を選ぶ

4 ボイスコマンドの設定をする

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目	設定内容/操作			
ボイスコマンドの利用	「**す　る**」：ボイスコマンド機能を利用する 「しない」：ボイスコマンド機能を利用しない			
ハンズフリー中の利用	「**す　る**」：ハンズフリー中にボイスコマンド機能を利用する 「しない」：ハンズフリー中はボイスコマンド機能を利用しない			
ボイスコマンド	設定する を選ぶ	**有効/無効を切り換えたいボイスコマンドを選ぶ** ● 選ぶたびに、有効/無効が切り換わります。 ● 「無効」に設定されたボイスコマンドは、ボイスコマンドの利用が「する」に設定されていても認識されません。 ● 誤認識などを防止するため、利用しないボイスコマンドは「無効」に設定することをお勧めします。		
ボイスコマンド有効/無効の切換				
認識レベル ● 認識レベルは、ボイスコマンドごとに設定できます。		**設定を変更したいボイスコマンドの 詳細設定 を選ぶ**	**◀ ▶ で設定する** ● 設定範囲：1（レベル低）～**3**～5（レベル高） ● ボイスコマンドが認識されにくいときはレベルを高く、頻繁に誤認識されるときはレベルを低く設定してください。 ● マイボイスが録音されたボイスコマンドは、レベルを高くすると他の人の声でも認識しやすくなり、レベルを低くすると他の人の声では認識しにくくなります。	
マイボイス録音 ● 自分の声をボイスコマンドとして録音できます。			録音 ▶ はい を選ぶ	**マイクに向かってボイスコマンドを発声し、録音する** ● マイボイスを録音できるボイスコマンドは、3件までです。

ボイスコマンドを使う

ボイスコマンドの利用が「する」に設定されていると、ボイスコマンドを利用できます。（上記）

マイクに向かってボイスコマンドを発声する

- 本機が認識できるボイスコマンドを発声してください。（P.153）
- ボタン操作やタッチ操作は必要ありません。

認識率をよくするために

マイクに向かってはっきりと発声してください。

- 声が小さすぎると認識されません。
- 車の窓を閉めてください。（周囲の雑音による誤認識を防ぐため）
- 同乗者に会話を控えてもらってください。（同乗者の声による誤認識を防ぐため）

ボイスコマンド一覧表

本機が認識できるボイスコマンドは下記のとおりです。

ボイスコマンド	よみ	機能
ナビ画面	なびがめん	現在地画面を表示します。 ● カメラ画面を表示中は、カメラの画面を終了し、現在地画面を表示します。
現在地*1	げんざいち	現在地画面を表示します。
広域表示*1	こういきひょうじ	地図の縮尺を広域に切り換えます。
詳細表示*1	しょうさいひょうじ	地図の縮尺を詳細に切り換えます。
市街地図*1	しがいちず	25 mの市街地図を表示します。
ランドマーク地図*1	らんどまーくちず	200 mの広域地図に切り換え、ランドマークを表示します。
ランドマーク切換*1	らんどまーくきりかえ	ランドマークの表示/非表示を切り換えます。
サービスエリア*1	さーびすえりあ	ハイウェイマップ表示中に、SA・PAのみの表示に切り換わります。
ルート案内停止*1	るーとあんないていし	ルート案内を中止します。
ルート案内再開*1	るーとあんないさいかい	中止したルート案内を再開します。
次の案内*1	つぎのあんない	最新のルート音声案内を、もう一度案内します。
自宅へ帰る*1	じたくへかえる	自宅までのルートを探索し、ルート案内を開始します。
オーディオ画面*1	おーでぃおがめん	オーディオ画面に切り換わります。 ● オーディオ画面表示中に発声すると、オーディオメニューが表示されます。
CD再生*1	しーでぃーさいせい	オーディオをCDに切り換え、再生を開始します。 ● DVDが挿入されている場合は、DVDに切り換わります。
DVD再生*1	でぃーぶいでぃーさいせい	オーディオをDVDに切り換え、再生を開始します。 ● CDが挿入されている場合は、CDに切り換わります。
ラジオを聴く*1	らじおをきく	オーディオをラジオ（FM/AM）に切り換えます。
Bluetooth オーディオ*1	ぶるーとぅーすおーでぃお	オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換えます。
メモリーミュージック*1	めもりーみゅーじっく	オーディオをMEMORY MUSICに切り換えます。
SD再生*1	えすでぃーさいせい	オーディオをSDに切り換えます。
テレビを見る*1	てれびをみる	オーディオをTVに切り換えます。
交通情報*1	こうつうじょうほう	オーディオを交通情報に切り換えます。
オーディオミュート*1	おーでぃおみゅーと	オーディオの音声のミュート/ミュート解除を切り換えます。
モニターオフ*1	もにたーおふ	画面の消去/再表示を切り換えます。
ドライブレコーダー録画*1	どらいぶれこーだーろくが	ドライブレコーダー手動録画を開始します。 約2分間録画したら、自動録画に戻ります。 ● 手動録画中に発声すると、手動録画を終了し、自動録画に戻ります。
カメラ画面*2	かめらがめん	カメラ画面に切り換えます。 ● バックモニター装着車の場合も、シフトレバーをリバース（R）に入れなくてもカメラ画面に切り換わります。
全周囲*2*3*4	ぜんしゅうい	カメラの映像を「全周囲」に切り換えます。
ワイドビュー*2*3*4	わいどびゅー	カメラの映像を「ワイド」に切り換えます。
サイドビュー*2*3*4	さいどびゅー	カメラの映像を「サイド」に切り換えます。
カメラ終了*2*3	かめらしゅうりょう	カメラ画面を終了し、切り換える前の画面に戻ります。 ● シフトレバーをリバース（R）に入れているときは、カメラ画面は終了しません。
ボイスコマンド*1	ぼいすこまんど	ボイスコマンド一覧を表示します。

＊1 カメラ画面表示中は操作できません。
＊2 車種やグレードによっては、ボイスコマンドで操作できない場合があります。
＊3 カメラ画面表示中のみ操作できます。
＊4 パノラマモニター装着車のみ

エコ機能を使う

エコ機能とは

以下の機能で、環境に優しい「エコドライブ」をサポートします。

■ドライブ診断
急加減速・アイドリング・高速度走行から、環境に負荷をかける走りかたをしていないか診断します。

■燃費計算
給油量と走行距離をもとに、燃費を計算します。

■エコde育成
ドライブ診断の評価を用いて、キャラクターを育成することができます。

■エコ設定
各種エコ機能の設定ができます。

お知らせ
- GPS信号で現在時刻の情報を受信できなかった場合、ドライブ診断と燃費計算の履歴には、日付は表示されません。
- ドライブ診断や燃費計算の結果は目安であり、その内容を当社は保証するものではありません。

急加減速・アイドリング・高速度走行の診断結果を見る（ドライブ診断）

1 情報メニュー(P.26)から、エコを選ぶ
- 地図画面でエコタッチキーを選んでも、エコメニューが表示されます。(P.38)

2 エコメニューから、ドライブ診断を選ぶ

- ドライブ診断画面が表示されます。

5日分の履歴と総合ランクを表示
- A(最高)～E(最低)の5段階評価
- 履歴を消去する：本日の診断内容、過去の履歴、総合ランクをすべて消去

- 診断をやり直す：本日の診断内容のみを消去し、診断をやりなおします。

本日の診断
エコマーク(🍃)が多いほど高評価です。
(「🍃🍃🍃🍃🍃」が最高)
- **急加減速**：急加速/急減速を行うと、エコマークが減少
- **アイドリング**：長時間のアイドリングで、エコマークが減少
- **高速度走行**：高速度での走行が多いと、エコマークが減少

お知らせ
- ドライブ診断画面を表示中は、診断結果は更新されません。
- ACC ON状態(エンジン OFF)でもアイドリング状態と診断されます。
- eco(P.66)で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、ドライブ診断の結果が悪くなる場合があります。

燃費を計算する

正確に燃費を計算するために、給油時に必ず給油量を入力してください。

1 エコメニュー(P.154)から燃費計算を選ぶ

2 給油量入力を選ぶ

3 給油量を小数点第一位まで入力する

- 修正：1文字削除
- 入力が完了したあと、数値の修正はできません。

4 満タン給油の場合

はいを選ぶ
- 前回満タンにしたときから今回までの燃費が算出されます。

一部給油の（満タンではない）場合

いいえを選ぶ
- 給油した量が本機に記憶されます。
- 前回給油時も一部給油だったときは、前回給油した量との合計（積算量）が記憶されます。
- 次回満タン給油したときに、部分給油の積算量と合算して算出されます。

お知らせ
- 初めて計算するときは、正確な燃費が計算されない場合があります。

燃費を確認する

- 履歴を消去する：すべての燃費履歴を消去

5回分の燃費計算の結果(km/L)を表示

燃費の算出のしかた

給油のたび、下記のように計算されます。

計算回数

①満タン給油
①で給油した分の燃費が計算されます。

②部分給油
給油した量が本機に記憶されます。

③部分給油
②・③で給油した量の合計が本機に記憶されます。

④満タン給油
②～④で給油した分の燃費が計算されます。

⑤部分給油
給油した量が本機に記憶されます。

⑥満タン給油
⑤～⑥で給油した分の燃費が計算されます。

⑦満タン給油
⑦で給油した分の燃費が計算されます。

1回目 2回目 3回目 4回目

エコ機能を使う

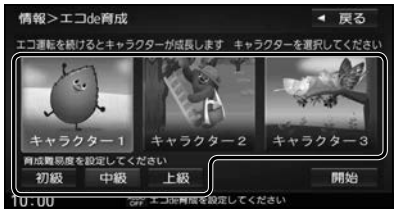
ドライブ診断の評価を用いてキャラクターを育成する（エコde育成）

ドライブ診断の評価が高いほど、キャラクターが育ちます。
育成ゲーム感覚で、楽しみながらエコドライブを心がけることができます。

エコde育成を開始する

1 エコメニュー(P.154)から キャラクター変更 を選ぶ

2 育成したいキャラクターと難易度を選ぶ



- キャラクターは3種類です。
- 難易度が上がるほど、成長速度が遅くなります。

3 開始 を選ぶ

- 育成を開始します。
- 育成を開始すると、手動で育成を終了（右記）させるまでエコde育成機能は動作し続けます。

育成中は、キャラクターが表示されます。

キャラクターの成長通知を見る

地図上のエコタッチキー(P.38)が変化してお知らせします。

（成長前）→ （成長後）

キャラクターやレベルを変更して育成をやり直す

1 エコメニュー(P.154)から キャラクター変更 を選ぶ

2 育成したいキャラクターと難易度を選ぶ

3 開始 を選ぶ

4 はい を選ぶ

- 変更された条件で、育成を最初からやり直します。
- 変更しない場合は いいえ を選んでください。

エコde育成を終了する

1 エコメニュー(P.154)から キャラクター変更 を選ぶ

2 初期状態 を選ぶ

3 はい を選ぶ

- エコde育成を終了します。
- 終了しない場合は いいえ を選んでください。

エコ機能の各種設定をする（エコ設定）

1 エコメニュー(P.154)から エコ設定 を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

設定する項目	設　定
エコ運転アドバイス (P.70)	「**す　る**」：起動時にエコドライブをすすめる音声案内が出力される 「しない」：エコ運転アドバイスは出力されない 「再アドバイス」*1：前回の音声案内が出力される
アイドリング評価の反映 (P.154)	「**す　る**」：アイドリングの評価をドライブ診断に反映させる 「しない」：アイドリングの評価をドライブ診断に反映させない
地図上へのエコタッチキー表示 (P.38)	「す　る」：地図上にエコタッチキーを表示させる*2 「**しない**」：地図上にエコタッチキーを表示させない
運転状況表示*3 (P.38)	「**す　る**」：エコタッチキーに運転状況を表示させる 「しない」：エコタッチキーに運転状況を表示させない

＊1　エコ運転アドバイス「する」に設定時のみ
＊2　地図上にエコタッチキーを表示させると、ドライブレコーダーの手動録画タッチキー(P.173)は表示されなくなります。
＊3　地図上へのエコタッチキー表示「する」に設定時のみ

メンテナンス情報を設定する

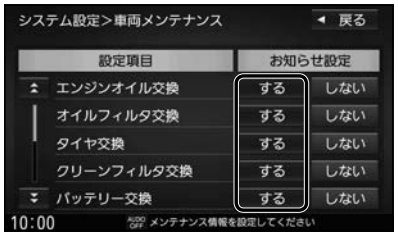
GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。

1 情報・設定メニュー（P.26）から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

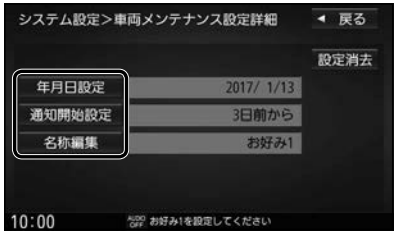
3 車両メンテナンス を選ぶ

4 車両メンテナンス画面から、案内をさせたい項目の する を選ぶ



- 以下の項目が設定できます。
  [お買い上げ時の設定：しない]
  ・エンジンオイル交換
  ・オイルフィルタ交換
  ・タイヤ交換
  ・クリーンフィルタ交換
  ・バッテリー交換
  ・タイヤローテーション
  ・お好み１＊1
  ・お好み２＊1

5 車両メンテナンス設定詳細画面から、項目の詳細を設定する



- **年月日設定**
  メンテナンスする年月日を入力
- **通知開始設定**
  メンテナンスの何日前に通知するかを設定
- **通知開始距離**＊2
  ＋/－で、メンテナンスの通知を開始する距離を設定
- **名称編集**
  お好み１、お好み２の名称を編集

＊1 名称を変更して、お好みの項目を登録できます。
　例：「車検」の年月日を案内させるなど
＊2 項目によっては、設定しない場合があります。

メンテナンス情報の案内について

通知開始設定の日になった、設定日当日になった、設定日をすぎた、または設定をした距離を走行した場合は、本機を起動したときにそれぞれの画面でお知らせします。

例：エンジンオイル交換

お知らせ

- 今後表示しない を選ぶと、次回起動時からはお知らせしません。また、メンテナンス設定画面のお知らせ設定が しない に変更されます。
- お知らせするメンテナンス時期と実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離が異なる場合があります。

メンテナンス情報を解除するには

車両メンテナンス設定画面から、解除したい項目の しない を選ぶ

- 選んだ項目が解除されます。
- 車両メンテナンス設定詳細画面（P.158）から、設定消去 を選んでも解除できます。

運転アシスト機能を利用する

車両からの信号をもとに、速度超過、車両の故障、シートベルトのかけ忘れなどを本機から案内できます。
また、故障などの際は、本機とハンズフリー接続した携帯電話を使って、かんたんに販売店、ロードサービス、コールセンターに電話で連絡することができます。

運転アシストの設定をする

1 情報・設定メニュー（P.26）から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から 運転アシスト を選ぶ

3 運転アシストの設定をする（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目		設定内容		
パーキングブレーキアラーム		「**す　る**」：パーキングブレーキをかけたまま車を発進させたとき、警告案内する 「しない」：パーキングブレーキアラームを鳴らさない		
速度超過アラーム		「**す　る**」：車の速度が約100 km／h以上になったとき警告案内する 「しない」：速度超過アラームを鳴らさない		
事故／故障の通知＊1		「**す　る**」：エンジン・ブレーキ・エアバッグなどの故障を検知した場合、アラーム音で案内する 「しない」：事故／故障の通知をしない		
標識検知の通知＊2		「**す　る**」：検知した道路標識を通知する 「しない」：通知をしない		
その他の車両状態の通知＊1		「**す　る**」：シートベルト未装着・半ドアなどを検知した場合、アラーム音で案内する 「しない」：車両状態の通知をしない		
連絡先	販売店	編集 を選ぶ	お買い上げの販売店の電話番号を入力する［お買い上げ時の設定：**電話番号未設定**］	決定 を選ぶ
	コールセンター＊3		コールセンターの電話番号を入力する［お買い上げ時の設定：**電話番号未設定**］	
	ロードサービス		ご加入のロードサービスなどの電話番号を入力する［お買い上げ時の設定：**電話番号未設定**］	

＊1 車種やグレードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。
＊2 車種やグレードによっては、これらの機能に対応していない場合があり、この場合、設定項目は表示されません。
＊3 車種やグレードによっては、「事故・故障センター」と表示される場合があります。

お知らせ
- 事故／故障・車両状態などの内容によっては、案内されない場合があります。

運転アシスト機能

パーキングブレーキアラーム

パーキングブレーキをかけたまま走行を開始すると…

“ポーン”
パーキングブレーキをご確認ください。

速度超過アラーム

車速が時速100 kmを超えると…

“ポーン”　速度に注意してください。

お知らせ
- 速度超過アラームには、案内表示はありません。

その他の車両状態の通知＊1

例：半ドアを検知すると…

“ポーン”

標識検知の通知＊1

例：車両進入禁止の道路標識を検知すると…

事故／故障の通知＊1

例：エアバッグの展開を検知すると…

“ポーン”

■お買い上げの販売店／コールセンター／ロードサービスに電話をかけるには

本機を利用する前に、必ず携帯電話を「ハンズフリー」に割り当ててください。（P.134）
- 携帯電話がハンズフリー接続されていないと本機能は利用できません。

1 故障／事故の通知画面（上記）で 電話をかける を選ぶ

2 連絡先の販売店／コールセンター／ロードサービスに登録した番号（P.160）に電話する

販売店／コールセンター＊2／ロードサービス を選ぶ

- 選択された連絡先に電話をかけます。
- 電話番号を入力し、発信 を選んでも、電話をかけることができます。

＊1 車種やグレードによっては、これらの機能に対応していない場合があります。
＊2 車種やグレードによっては、事故・故障センター と表示される場合があります。

地図更新について

無償地図更新サービス（Webダウンロード更新）

本製品は、地図データのダウンロード更新を最大５年間ご利用いただけます。
パソコンで地図更新アプリを使用し、地図データをダウンロードしてください。
無料地図更新のご利用は、ユーザー登録が必要となります。

※インターネットを利用できる環境などが必要です。詳しくは、Webサイトをご覧ください。
https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html
（通信費用はお客様のご負担となります。スマートフォンでのご利用はできません。）
※対応OSはWindowsのみです。

※「SDメモリーカードの送付」をご希望の場合は、巻末(P.247)をご覧ください。

【利用可能期間】本製品の利用開始日から5年間（お申し込み日から5年間ではありません）
【データ提供期間】2020年12月（予定）～2026年12月（予定）
- **部分地図更新：最大5年間可能**
  （道路データは2カ月毎更新、索引データ、逆走検知データは4カ月毎更新）
- **全地図更新：期間中2回可能（地図の全データは年1回更新）**

- 更新データの配信予定時期については、Webサイトをご覧ください。
- 上記期間以降の更新は、年度更新地図の販売をご利用ください。
（発売時期・販売方法については、販売店にお問い合わせください。）

○ 更新されます　× 更新されません

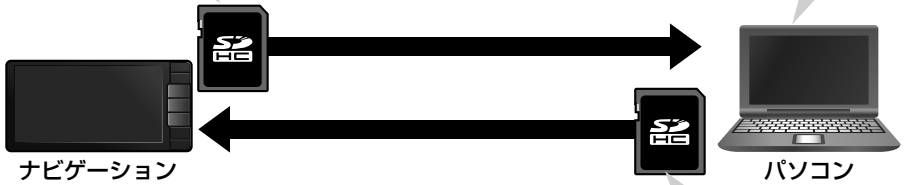
内容＼方法	全地図更新（地図の全データ）	部分地図更新（全国の主要道路のみ）
道路地図（縮尺50 m ～250 km）　※細街路含む。	○	○
案内画像（リアル3D表示・ジャンクションビュー・方面看板など）	○	○
音声案内	○	○
地点検索データ（施設情報・電話番号情報など）	○	○
逆走検知データ	○	○
市街地図（縮尺5 m ～25 m）	○	×

■ご利用の流れ

準 備（初回のみ）
- 地図更新アプリを専用サイトからダウンロードして、パソコンにインストールしてください。

1 地図SDHCメモリーカードをナビゲーションから取り出し、パソコンに挿入する。

2 地図更新アプリを起動し、専用サイトから地図データをダウンロードして地図SDHCメモリーカードに保存する。



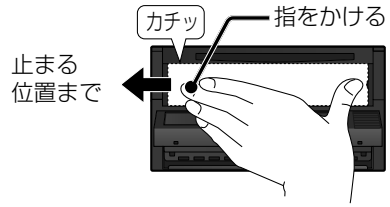
3 地図更新が完了したら、地図SDHCメモリーカードをパソコンから取り出し、ナビゲーションに挿入する。

地図SDHCメモリーカードの出し入れ

取り出しかた

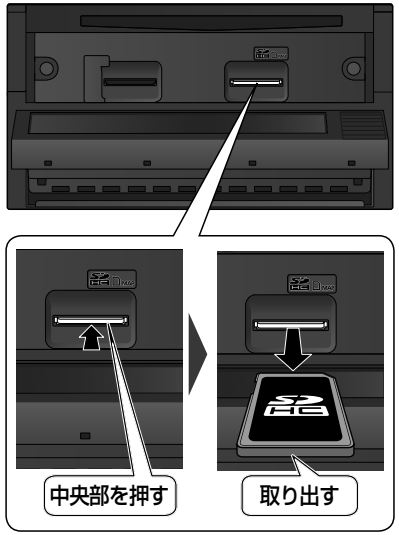
1 ▲ を押し、OPEN を選ぶ
- ディスプレイが開きます。

2 パネルを左にスライドさせ、取り外す



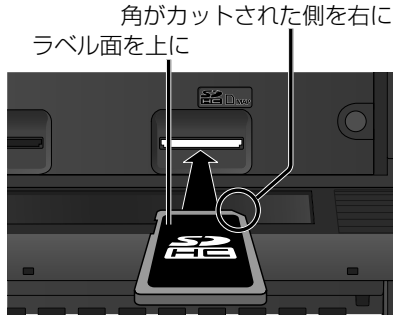
3 車のエンジンを切る（ACCをOFFにする）
- ディスプレイが開いたまま、電源が切れます。

4 地図SDHCメモリーカードを取り出す



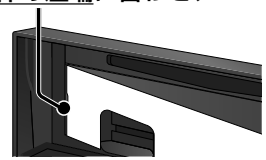
挿入のしかた

1 左記手順**4**の状態で、地図SDHCメモリーカードを挿入する



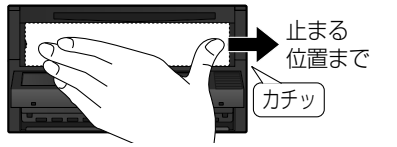
- カチッと音がするまで差し込みます。

2 パネルを本体の左端に合わせ、はめ込む



- パネル裏面の突起を、本体の孔にかみ合わせてください。

3 パネルを右にスライドさせ、取り付ける



4 ディスプレイを閉める

1 車のエンジンをかける（ACCをONにする）

2 ▲ を押す
- ディスプレイが閉まります。

お知らせ
- 地図SDHCメモリーカードを挿入したら、必ずパネルを取り付けてください。
パネルが取り付けられていない状態では、ディスプレイが閉まりません。

ETCシステムと組み合わせる

ETCシステムの概要

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。
本機能は別売のナビ対応のダイハツ純正ETCユニット/ETC2.0ユニットを接続した場合に表示・操作できます。

- ETCユニット …… ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
- ETCカード …… ICチップを搭載した、ETCユニット用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
- 車線表示板…… 料金所のETC車線に必要に応じて設定されています。料金所の車線運行状況（ETC車線・混在車線・一般車線の区別）が表示されます。
- 発進制御装置（ゲート）…… 料金精算を確実にするために、料金所のETC車線に必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏切の遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
- 路側表示器…… 料金所のETC車線に設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
- 路側無線装置…… 料金所のETC車線に設置されています。料金精算のため、ETCユニットとの通信を行うためのアンテナです。

ETC2.0の概要

従来のETCサービスのほかに、VICSの情報提供サービスを受けることができます。
狭い範囲での双方向通信を行う無線通信方式の一種を用いたサービスです。
高速道路本線上を中心に設置されたITSスポットと、車載器間での双方向通信により、道路上の渋滞や、事故、合流など、刻々と変わる情報を、リアルタイムに案内します。

- ITSスポットでプローブ情報が収集される場合があります。
  ITSスポットで収集される情報は、安全運転支援等を目的としたものであり、プローブ情報から車両または個人を特定することはできません。
- ITSスポットより提供される案内内容は、変更される場合があります。
- ETC2.0サービスおよびITSスポット設置エリアについては、下記ホームページでご確認ください。
  一般財団法人ITSサービス高度化機構
  https://www.go-etc.jp/etc2/index.html

本機能は別売のナビ対応のダイハツ純正ETC2.0ユニットを接続した場合に表示・操作できます。

VICS情報提供サービス（P.78）

ITSスポット（道路に設置される路側無線装置）より5.8 GHz VICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。

- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。（P.79）
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報*1を考慮したルート探索ができます。
- 高速道路上のITSスポットではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報を案内します。（P.79）

＊1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報（走行位置情報など）をITSスポットへ送信することをいいます。
送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。（P.195）

信号情報活用運転支援システム（TSPS）による情報

別売のETC2.0車載器（光ビーコン対応モデル）を接続すると、道路上に設置された高度化光ビーコンから取得する信号情報および車の走行情報を用いて、信号交差点を円滑に通行するための情報を表示と音声で案内します。（P.80）

- 信号情報活用運転支援システムの設定については→P.194

ETC機能

従来のETCのサービスも、利用することができます。
操作方法や動作内容は、ETCユニットの場合と同じです。

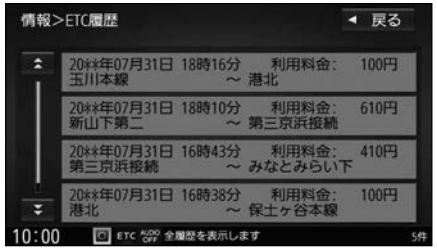
ETCシステムと組み合わせる

ETC料金履歴を見る

1 情報メニュー(P.26)から ETC情報 を選ぶ

2 ETC情報画面から ETC履歴 を選ぶ

- ETC履歴画面が表示されます。(履歴100件まで)
- 100件を超えると古い順に削除されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。



- ▲ ▼: ページ切換

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。ETC履歴を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因になります。

ETC管理情報を見る

1 情報メニュー(P.26)から ETC情報 を選ぶ

2 ETC情報画面から ETC管理情報 を選ぶ

- ETC管理情報が表示されます。

ETCの設定をする

1 情報・設定メニュー(P.26)から ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から ETC を選ぶ

3 各項目を設定する

[**太字**:お買い上げ時の設定]

項　目	設定内容
ETC音声ガイド	「**す　る**」:利用料金などを、本機から音声で案内する 「しない」:ETC音声ガイドしない
カード入れ忘れ案内	「**す　る**」:本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内される*1 「しない」:カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「**す　る**」:本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内される*1 「しない」:カード抜き忘れ案内しない

＊1 ETC音声ガイドを「しない」に設定しても案内されます。

ドライブレコーダー使用時のお願い

本機能は別売のナビ対応のダイハツ純正ドライブレコーダー（２チャンネル/１チャンネル）を接続した場合に表示・操作できます。

- 本章では、ドライブレコーダーの機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

2ch：ドライブレコーダー（２チャンネル　ナビ連動モデル）＊1

1ch：ドライブレコーダー（１チャンネル　ナビ連動モデル）

＊1 バックモニター・パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合は、後方の映像も録画/撮影されます。

ドライブレコーダーの上下の角度や前後の位置を調整するときは、必ず販売店にご依頼ください。不用意に角度を変更すると、破損したり、ブザーが鳴り続ける場合があります。

ドライブレコーダーについて

- 必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを挿入してご使用ください。
  ※ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード、またはドライブレコーダーで使用できるmicroSDメモリーカードをご使用ください。（P.169）
  ※microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。（P.173）
- 車のエンジンをかけた直後（ACC ON）やエンジンを切った直後（ACC OFF）は、ドライブレコーダーが動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 推奨動作温度（－10 ℃～＋ 60 ℃）の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- LED 式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSDメモリーカードを挿入した状態で、ドライブレコーダーを譲渡または処分するときは、プライバシー保護のため記録データを消去してください。（全削除→P.179）

電源について

- 「駐車録画」（P.173）が「する」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- ドライブレコーダーを利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がドライブレコーダーを利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- ドライブレコーダーの使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドライブレコーダーの駐車録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- **次の場合、補償はできません。**
  - **・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことによりドライブレコーダーが正常に動作しなくなった場合**
  - **・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどにmicroSDメモリーカードに記録されていたデータが変化・消失した場合**

ドライブレコーダーで使用できるSDメモリーカード

2ch
- microSDXCメモリーカード（**Class10 以上**・128 GB以下）＊1＊2
- microSDHCメモリーカード（**Class10 以上**・8 GB～32 GB以下）＊1＊3

1ch
- microSDXCメモリーカード（Class6 以上・128 GB以下）＊1＊2
- microSDHCメモリーカード（Class6 以上・8 GB～32 GB以下）＊1＊3

＊1 SD規格準拠カードのみ使用できます。
＊2 容量が256 GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。
＊3 容量が4 GB以下のmicroSDメモリーカードは使用できません。

ドライブレコーダーに付属またはダイハツ純正のmicroSDメモリーカードを使用することをおすすめします。

※本章では、上記のメモリーカードを「microSDメモリーカード」と表記しています。

お願い

- **microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、ドライブレコーダーで初期化してください。**（P.173「SDカードの初期化」）
- 「SDカードの初期化」（P.173）以外の方法で初期化（フォーマット）しないでください。
- ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、ドライブレコーダーでは使用できない場合があります。

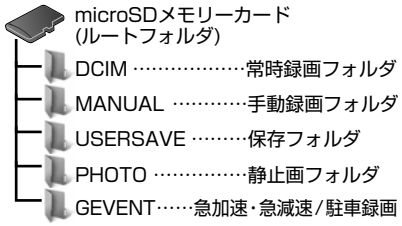
microSDメモリーカードの取り扱いについて

- **データの読み書き（録画や再生、初期化など）をしているときに、microSDメモリーカードをドライブレコーダーから取り出さないでください。**
- **microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。**
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販のmicroSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けないでください。
- microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクタ＊1などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。本機の起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または市販のmicroSDメモリーカードに交換することをおすすめします。

＊1 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

記録データが保存される階層について

ドライブレコーダーで録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードに右記の階層で保存されます。



お願い

- microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルの名称は、変更しないでください。

ドライブレコーダーと組み合わせる

カメラの映像を確認する

通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う確認です。

1 オーディオメニュー(P.26)から **ドライブレコーダー** を選ぶ

- ドライブレコーダー画面を表示します。

NSZN-Y71DS NSZN-W71D

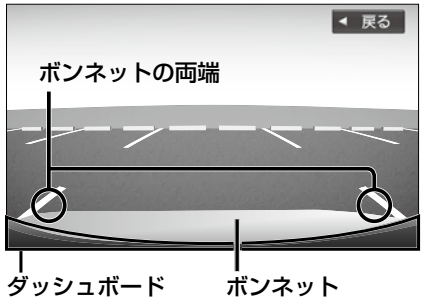
- オプションボタン設定(P.25)が「ドライブレコーダー」に設定されている場合は、★ を押してもドライブレコーダー画面を表示できます。

2 ドライブレコーダー画面から **カメラモニター** を選ぶ

- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。

3 映像が正しく映し出されていることを確認する

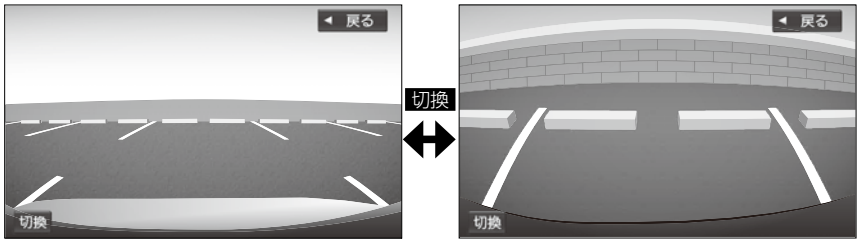
- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



2ch

バックモニター・パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合は、切換 を選ぶと、前方/後方のカメラ映像が切り換わります。

前方のカメラ映像　　後方のカメラ映像



加速度センサーを最適化する

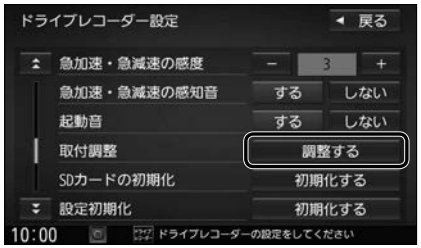
走行中、急加速・急減速をお知らせするブザーが頻繁に鳴ったり、ブザーが鳴り続ける(ピピピ…短く8回)場合は、加速度センサーの最適化を正しく行ってください。

最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。

※必ずドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが入っている状態で行ってください。

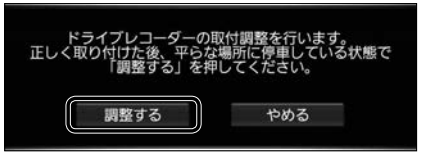
1 水平かつ平坦な場所に停車する

2 ドライブレコーダー設定画面(P.172)から **調整する** を選ぶ



3 **調整する** を選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない(ACC OFFにしない)でください。



4 メッセージが表示されたら、**OK** を選ぶ

5 現在地画面を表示させ、ドライブレコーダーの動作状態が「常時録画中」であることを確認する(P.174)

ドライブレコーダーの設定をする

1 ドライブレコーダー画面(P.170)から 設定 を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー設定画面を表示します。

2 ドライブレコーダー設定画面から各項目を設定する(右記)

- ⬇⬆で設定画面が切り換わります。

お知らせ

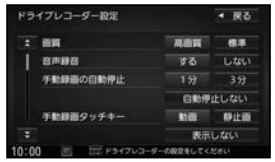
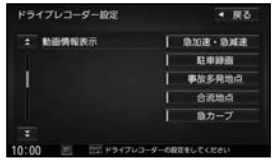
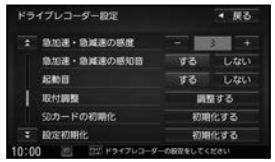
2ch

- 本機の設定を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダータイプは「前のみ」になります。
  前後にカメラがある場合は、「前後」に設定しなおしてください。

＊1 1ch のみ
＊2 手動録画タッチキーを「動画」または「静止画」に設定したり、ドライブレコーダーの設定初期化をすると、地図上へのエコタッチキー表示(P.157)は「しない」になります。
＊3 2ch のみ

■ 設定項目一覧

[**太字**:お買い上げ時の設定]

ドライブレコーダー設定画面	項　目	設定内容/操作
	画質	「**高 画 質**」:高画質で記録する 「標　　準」:標準の画質で記録する
	音声録音	「**す　　る**」:録画中、音声を録音する 「し な い」:録画中、音声を録音しない
	手動録画の自動停止＊1	「　**1　分**　」:手動録画開始後、1分で自動停止する 「　3　分　」:手動録画開始後、3分で自動停止する 「自動停止しない」:手動録画時に自動停止しない
	手動録画タッチキー＊2	「**動　　画**」:地図画面に手動録画(動画)のタッチキーを表示する 「静　止　画」:地図画面に手動録画(静止画)のタッチキーを表示する 「表示しない」:地図画面に手動録画のタッチキーを表示しない
	動画情報表示	記録ファイル再生中の動画情報表示について、「する/しない」を設定します。 ● 選ぶごとに、ON(する)/OFF(しない)が切り換わります。
	急加速・急減速	急加速・急減速した場面で、動画情報を表示「**する**」(ON)/「しない」(OFF)
	駐車録画	駐車録画した地点で、動画情報を表示「**する**」(ON)/「しない」(OFF)
	事故多発地点	事故多発地点で、動画情報を表示「**する**」(ON)/「しない」(OFF)
	合流地点	合流地点で、動画情報を表示「**する**」(ON)/「しない」(OFF)
	急カーブ	急カーブで、動画情報を表示「**する**」(ON)/「しない」(OFF)
	急加速・急減速の感度	−/＋で、急加速・急減速の測定感度を調整する　[調整範囲:1(低感度)〜**3**〜5(高感度)]
	急加速・急減速の感知音	「**す　　る**」:急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす 「し な い」:急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない
	起動音	「**す　　る**」:ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「し な い」:ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない
	取付調整	調整する:ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する
	SDカードの初期化	初期化する:ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする(メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) ● microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDメモリーカードを交換したときなどに行ってください。 2ch ● **ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカードを初期化すると、収録されているパソコンアプリ「DR Video Viewer」のインストーラーも削除されます。**
	設定初期化＊2	初期化する:ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す (録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)
	駐車録画	「す　　る」:駐車中に振動を検知すると、自動で録画する 「**し な い**」:駐車中、録画しない
	駐車録画のお知らせ	「す　　る」:ACC ON後に駐車中に録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「**し な い**」:メッセージ表示をしない
	駐車録画の感度	−/＋で、振動を検知する感度を調整する　[調整範囲:1(低感度)〜**3**〜5(高感度)]
	駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する　[調整範囲:10秒/**30秒**/1分]
	駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する　[調整範囲:**1分**/3分/5分] ● ACC OFF後、駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。
＊3	ドライブレコーダー警告音量＊3	本機の音量を設定する　[調整範囲:1〜**3**〜5]
	ドライブレコーダータイプ＊3	**※通常は、この操作は必要ありません。販売店が行います。** 「**前 の み**」:前方にのみカメラがある場合に選択する 「前　　後」:前後にカメラがある場合に選択する

ドライブレコーダーと組み合わせる

常時録画（動画）

ドライブレコーダーの電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

常時録画を開始すると、ドライブレコーダーのLEDランプが緑色に点灯します。

microSDメモリーカードの容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

- 手動録画した記録ファイル（P.176）、保存フォルダに移動した記録ファイル（P.179）は、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある動画を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のあるファイルが自動削除される場合があります。
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。（P.179）

お知らせ

- ドライブレコーダーの動作状態に応じて、本機の画面に以下のマークが表示されます。

：常時録画中（緑色）

：手動録画中（赤色）

：録画停止中

駐車録画（動画）

駐車中（ACC OFF中）に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

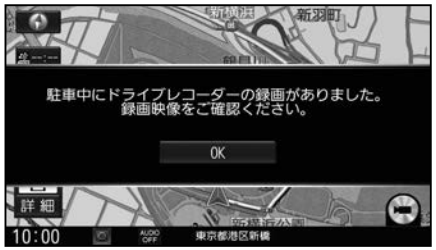
- 「駐車録画」を「する」に設定してください。（P.173）

2ch

- **バックモニター・パノラマモニターをドライブレコーダーの後方用カメラとして使用している場合も、駐車録画では後方の映像は録画されません。**

■ 駐車中に駐車録画があったときは

「駐車録画のお知らせ」（P.173）が「する」に設定されている場合は、車のエンジンをかけたとき（ACC ON）、駐車中に録画があったことをお知らせするメッセージが表示されます。

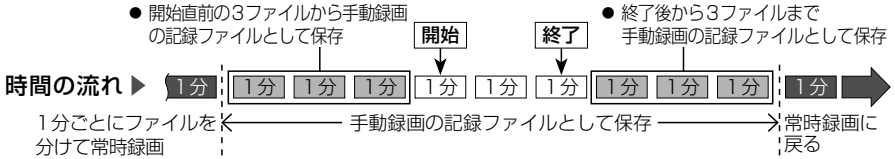


お知らせ

- 「駐車録画の無効時間」（P.173）が短い場合、車のエンジンを切ってから（ACC OFF）降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。
（「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。）
- 「駐車録画」（P.173）が「する」に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き換わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



準 備 ●「手動録画タッチキー」を「**動画**」に設定してください。(P.173)

地図画面で

をタッチする

●動画の録画を開始します。

2ch

●2分後に自動的に録画を停止します。

1ch

●「手動録画の自動停止」(P.173) **が「1分」/「3分」に設定されている場合は、設定された時間になると自動的に録画を停止します。**

●「手動録画の自動停止」が「自動停止しない」に設定されている場合は、手動で停止させるまで録画を継続します。

■ 手動で録画を終了させるには

地図画面で

をタッチする

●動画の録画を終了します。

手動で静止画を撮影する

準 備 ●「手動録画タッチキー」を「**静止画**」に設定してください。(P.173)

地図画面で

をタッチする

●タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

1 ドライブレコーダー画面(P.170)**から 再生 を選ぶ**

●録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストを表示します。

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、▶再生 を選ぶ

動画/静止画を切り換える

全表示:
すべての動画ファイル(常時録画・駐車録画・手動録画)のリストを表示

手動録画:
手動録画の動画ファイルのみのリストを表示

ファイルリスト

「保存フォルダ」(P.179) に保存された動画ファイルのリストを表示

記録された動画情報をマークで表示

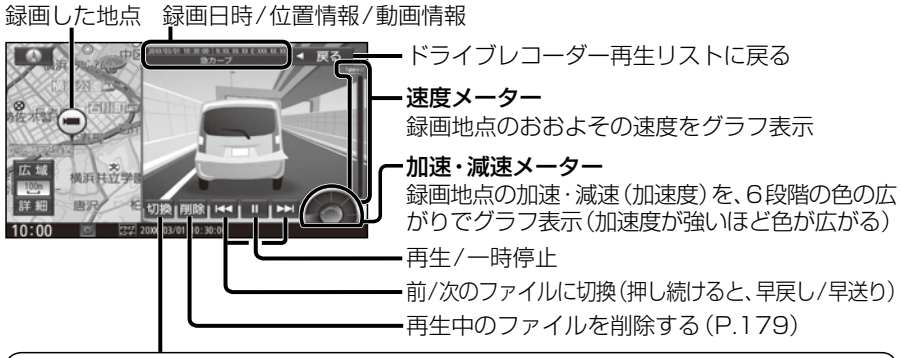
- : 手動録画された
- P : 駐車録画された
- : 急加速・急減速情報がある
- : 事故多発地点情報がある
- : 合流地点情報がある
- : 急カーブ情報がある

記録年月日・時刻

▲ ▼ : ページごとに切換
+1時間 −1時間 : 1時間ごとに切換

選んだファイルの再生を開始します。(P.178)

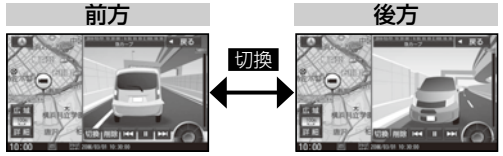
動画再生画面



2ch

動画切換

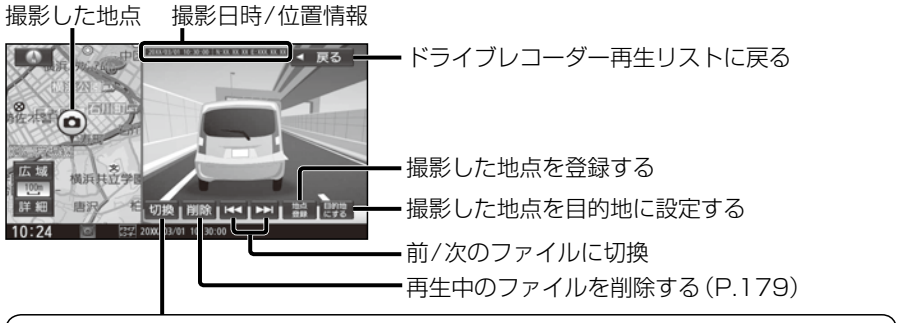
- 切換をタッチするごとに、前方/後方が切り換わります。



お知らせ

- 動画画面(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

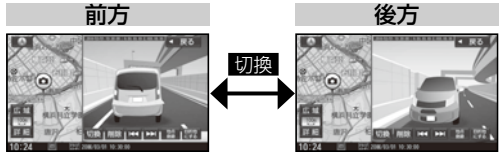
静止画再生画面



2ch

静止画切換

- 切換をタッチするごとに、前方/後方が切り換わります。



お知らせ

- 静止画画面(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.177)から移動させたいファイルを選び、保存を選ぶ

2 はい▶OKを選ぶ

- 選んだファイルが保存フォルダ(P.169)へ移動されます。

ファイルを削除する

再生中のファイルを削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.177)から削除したいファイルを選び、▶再生を選ぶ

2 動画再生画面/静止画再生画面(P.178)から削除を選ぶ

3 はいを選ぶ

- 選んだファイルが削除されます。

フォルダ内のファイルを全て削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.177)から削除したいフォルダのリストを表示させ、全削除を選ぶ

2 はいを選ぶ

- 選んだフォルダ内の全ファイルが削除されます。

お知らせ

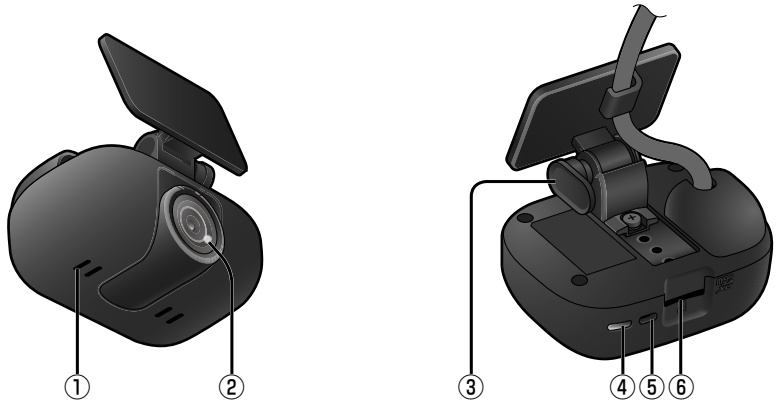
2ch

- ファイルを削除すると、動画/静止画は前後両方とも削除されます。どちらか一方のみを削除することはできません。

ドライブレコーダー（1チャンネル　ナビ連動モデル）について

各部のなまえとはたらき（ドライブレコーダー）

電源ボタンはありません。車のエンジンをかけると電源が入り、自動的に録画を開始します。



①	マイク	●動画録画時に、音声を録音します。
②	カメラ	●動画録画・静止画撮影に用います。少ない光量でも録画・撮影ができます。
③	カメラロックレバー	●上下の角度や前後の位置を調整するときに操作します。 ※調整するときは、必ずロックを解除し（レバーを上側に倒して押し込む）、調整を終えた後、必ず固定してください（押し込んだ指を離し、レバーを引き出して下側に倒す）。
④	LEDランプ	●ドライブレコーダーの状態がLEDで案内されます。 ・点灯（緑色）：録画中 ・点滅（緑色）：録画停止中 ・点灯（赤色）：microSDメモリーカードが未挿入または異常状態 ・点滅（赤色）：ドライブレコーダーが異常状態
⑤	スピーカー	●起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。 ※音量は調整できません。
⑥	microSDXCメモリーカード挿入口	●映像・音声を記録するmicroSDメモリーカードを挿入します。 ※お買い上げ時は、ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード（16 GB）が挿入されています。

● ドライブレコーダーに付属のカードアダプターは、パソコンなどで使用するときに必要に応じてご使用ください。

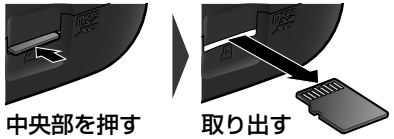
お願い

- **カメラのレンズを手で触らないでください。**
- **ドライブレコーダーの角度を変更した場合は、必ずドライブレコーダーの加速度センサーを最適化してください。**（P.171）
  必ず、microSDメモリーカードが挿入された状態で行ってください。
  ※ドライブレコーダーの取り付け後、および角度を変更した場合は、平らな場所に停車して必ず行ってください。最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。（P.171）

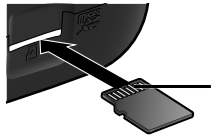
microSDメモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り（ACC OFF）、LEDランプが消灯した状態で出し入れをしてください。

取り出しかた



挿入のしかた



記録できるファイル数について

常時録画ファイルは、microSDメモリーカードの空き容量がなくなるまで記録され、いっぱいになると古いファイルから順に自動削除されます。

他のファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が下記のとおり異なります。

ファイルの種類＼容量	8 GB	16 GB（ドライブレコーダーに付属）	32 GB	64 GB	128 GB
手動録画＊1	15	30	60	120	240
保存データ＊1	15	30	60	120	240
静止画＊1	300	300	300	300	300
急加速/急減速/駐車録画＊2	15	30	60	120	240

＊1 ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。
＊2 ファイル数が上限に達すると、古いデータから順に自動削除されます。

■ パソコンでの再生について

ドライブレコーダーで記録した動画や画像は、パソコンで再生することができます。

推奨環境

- Microsoft® Windows® 8.1/10のいずれかを搭載していること
- ドライブレコーダーで動画の録画に使用したmicroSDメモリーカードを読み込めること
  ※必要に応じて、ドライブレコーダーに付属のカードアダプターをご使用ください。
- 動画（MP4）および静止画（JPEG）が再生できること
  （再生ソフトによっては、再生できない場合があります。）

お願い

- ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

画質の目安

画　質	解像度＊1	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間＊3
高 画 質	1 920×1 080	28 fps＊2	約75 MB/1分	約190分
標　準	1 280×720	14 fps	約25 MB/1分	約640分

＊1 手動撮影（静止画）の場合、設定した画質の解像度でJPEG として記録されます。
＊2 駐車録画の場合、14 fpsで記録されます。この場合のファイルサイズは約60 MB/1分です。
＊3 ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード（16 GB）を使用した場合

ドライブレコーダー（1チャンネル　ナビ連動モデル）について

ドライブレコーダーの仕様

ドライブレコーダー本体	
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	72 ㎜ ×32.2 ㎜ × 56 ㎜（取付部は除く）
質量	約250 g（コード含む）
推奨動作温度	－10 ℃～ +60 ℃
電源	
電源電圧	DC12 V マイナスアース
消費電流	280 mA
消費電力	3.4 W
カメラ部	
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度（動画・静止画）	高 画 質：1 920 × 1 080 標準画質：1 280 × 720
フレームレート	高 画 質：28 fps (駐車録画の場合は14 fps) 標準画質：14 fps
画角	水　　平：約115° 垂　　直：約　65°
記録メディア	microSDHCメモリーカード（Class6以上の8 GB ～32 GB） microSDXCメモリーカード（Class6以上の64 GB～128 GB）
記録形式	映　　像：H.264 音　　声：PCM、モノラル
ファイルフォーマット	動　　画：MP4 静 止 画：JPEG

- ドライブレコーダーの仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。

バックモニター・パノラマモニター使用時のお願い

別売のダイハツ純正バックモニターまたはパノラマモニター*1を接続した場合、シフトレバーを「R」（リバース）にすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像が表示されます。また、パノラマモニターを接続した場合は、タッチ操作などで前方のカメラ映像を表示させたり、左右側方の映像を表示させることもできます。カメラ映像には、ガイド線・目安線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。
バックモニター・パノラマモニターの設定については、お買い上げの販売店にご相談ください。

＊1パノラマモニターは一部の車両にのみ装着されております。

- カメラ映像を過信しないでください。バックモニター、パノラマモニターは、障害物などの確認のための**補助手段**として使用してください。
- カメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認してください。
- 雨滴などがカメラに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
- 以下のような状況では使用しないでください。
  ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道　　・バックドアが完全に閉まっていないとき
  ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき　・坂道など平坦でない道
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり確認しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- 自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線・目安線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックモニターが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障などの原因になります。
- カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引っ張ったりなどは、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線など、故障の原因になります。
- 寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- 高圧洗車機を使用する場合、カメラまたはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落するおそれがあります。

お知らせ

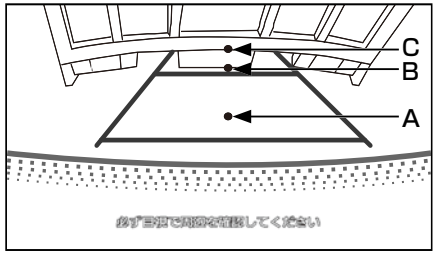
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 50 Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- 湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
- カメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

距離目安線の誤差について

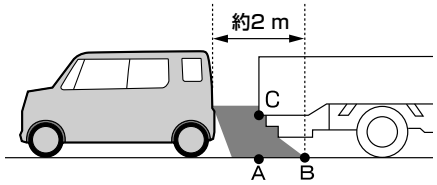
平らな路面での誤差

画面では、距離目安線により約2 m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。
画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

■ 画面

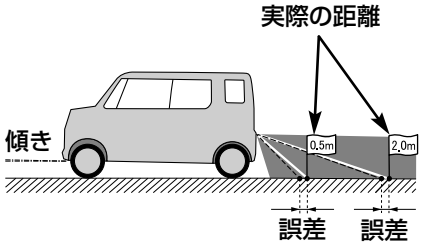


■ 実際のABCの位置



車両の傾きによる誤差

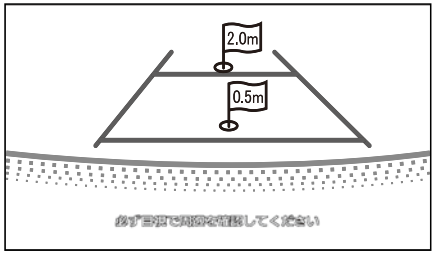
乗員や積載物などの重量の影響で車両が傾いている場合は、傾きの分だけ実際の距離・進路と誤差が生じます。



坂道での誤差

距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。
そのため、後方が上り坂のときは実際の距離より手前に、下り坂のときは実際よりうしろに距離目安線が表示されます。
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

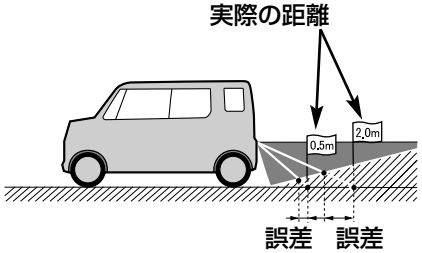
■ 画面



■ 車の状況

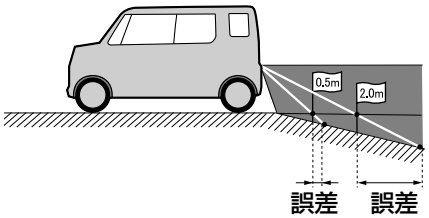
上り坂の場合

- 障害物が実際より遠くにあるように見えます。



下り坂の場合

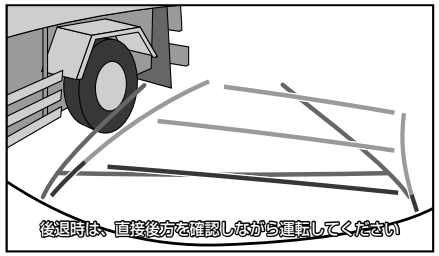
- 障害物が実際より近くにあるように見えます。



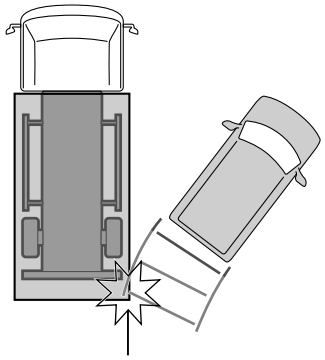
予想進路線の誤差について

画面では、トラックが予想進路線の外側にあり、ぶつからないように見えても、実際は、カメラには映っていない荷台が進路上に張り出しており、予想進路線に沿って進むと、接触する場合があります。

■ 画面



■ 車の状況



カメラには映っていない荷台が進路上に張り出しているため、予想進路線に沿って進むと接触してしまいます。

■：カメラに映っている部分（シャーシ）
□：カメラに映っていない部分（荷台）

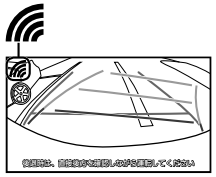
**＊障害物検知表示は、一部の車両にのみ装着されております。
対象車種について、詳しくは販売店にお問い合わせください。**

車両を後退させる際、進行方向の約60 ㎝以内の距離に障害物を検知すると、障害物の方向と距離を、の表示とブザー音で案内します。案内は、障害物までの距離に応じて下記のとおり変化します。

障害物までの距離	表示の色	ブザー音＊1
約 60 ～ 45 ㎝	緑	ピッピッピッ…
約 45 ～ 30 ㎝	黄	ピピピピピピ…
約 30 ㎝未満	赤	ピー（連続音）

＊1 ブザー音は本機からではなく車両から発せられます。ブザー音については、車両の取扱説明書をご覧ください。

表示例



バックモニター

パノラマモニター

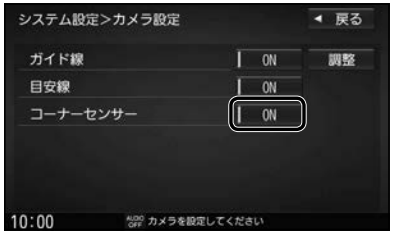
車両のコーナーセンサーに連動する/しないを設定する

障害物検知表示する/しないを設定するときは、コーナーセンサーの設定のON/OFFを切り換えてください。（バックモニターのみ）

- パノラマモニターでは設定できません。（常にONになります）

1 情報・設定メニュー(P.26)から システム設定 ▶ その他設定 ▶ カメラ設定 を選ぶ

2 コーナーセンサーの ON を選ぶ



- 選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。

バックモニターの映像を見る

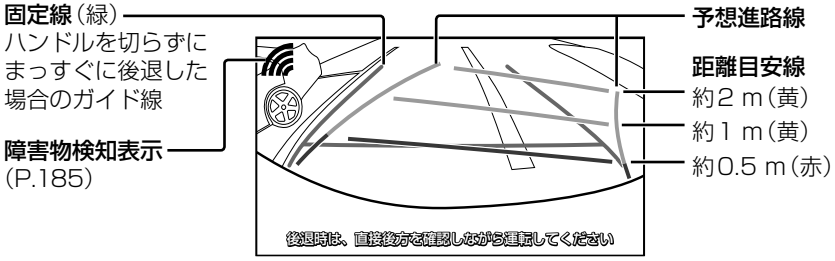
後方の映像を映す

車のシフトレバーを「R（リバース）」に入れる

- バックモニターの映像が表示されます。
- ガイド線の表示は、車両によって異なります。（下記）
  詳しくは販売店にお問い合わせください。

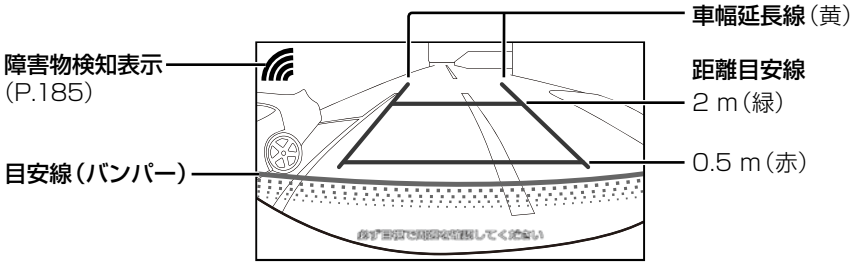
ガイド線（予想）の場合

ステアリング連動に対応している車種の場合は、ステアリング操作に連動して、予想進路を示したガイド線が表示されます。



ガイド線（固定）の場合

ステアリング連動に対応していない車種の場合は、大まかな目安となる固定のガイド線と、バンパーの位置の目安となる目安線が表示されます。



お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、カメラの映像は表示されません。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。(P.128)
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ（夜間など）
  - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）
  - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき
  - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき

ガイド線・目安線の設定をする［ガイド線（固定）の場合］

- ガイド線を調整する際には、車を安全な場所に停止して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のエンジンを停止してください。

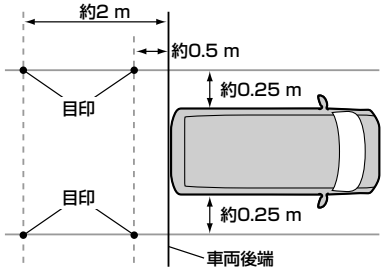
ガイド線（予想）の場合も、情報・設定メニューから システム設定 ▶ その他設定 ▶ カメラ設定 を選ぶと、ガイド線の調整（簡易調整）ができます。（通常は、調整の必要はありません。）

1 車両に対して右図の位置に目印を付ける

2 情報・設定メニュー(P.26)から システム設定 ▶ その他設定 ▶ カメラ設定 を選ぶ

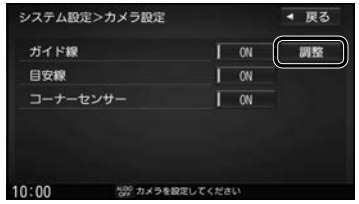
3 ガイド線・目安線の ON を選ぶ

- 選ぶごとに、表示/非表示が切り換わります。



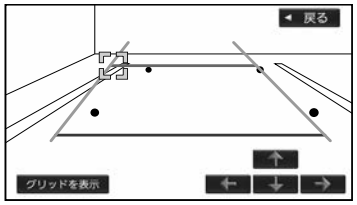
4 ガイド線を調整する

1 ガイド線の 調整 を選ぶ



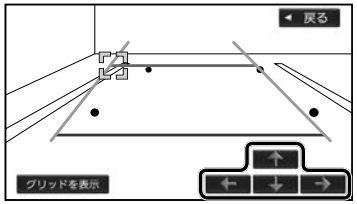
2 ガイド線の調整したい点をタッチする

- タッチした場所が で表示されます。

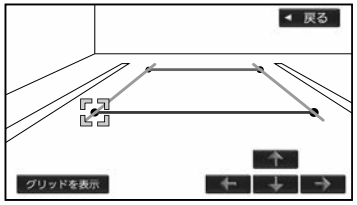


3 ← → ↑ ↓ で位置を調整する

- グリッドを表示：調整の目安となるグリッドを表示します。



4 手順4−2～4−3を繰り返して、4点を調整する



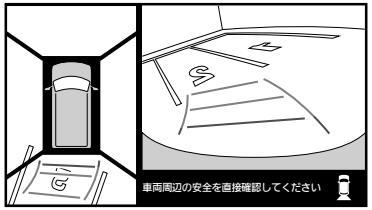
パノラマモニター*の映像を見る

＊パノラマモニターは、一部の車両にのみ装着されております。車種や年式によっては操作方法が異なる場合がございますので、この場合は車両の取扱説明書をご確認ください。

後方の映像を映す

車のシフトレバーを「R（リバース）」に入れる

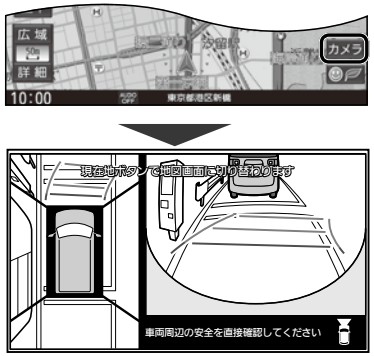
- 後方の映像が表示されます。



前方の映像を映す

時速約10 km以下に減速して、現在地画面から、カメラを選ぶ

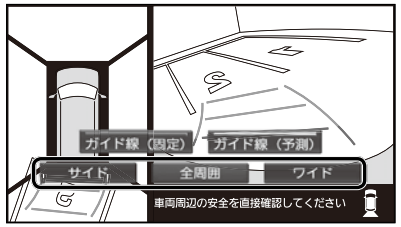
- 前方の映像が表示されます。



表示を切り換える

1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面をタッチする

2 サイド/全周囲/ワイドを選ぶ



- 選んだ表示に切り換わります。

ガイド線を切り換える

1 パノラマモニターの画面を表示させ、画面をタッチする

2 ガイド線（固定）/ガイド線（予測）を選ぶ

- 選んだガイド線の表示/非表示が切り換わります。
- ガイド線の調整はできません。

お知らせ

- 車のシフトレバーを「R」に入れないと、後方の映像は表示されません。
- 後方の映像を表示中にシフトレバーを「R（リバース）」以外に切り換えると、後方の映像に切り換える前の画面に戻ります。
- 前方の映像（全周囲・ワイド）を表示中に時速約10 km以上で走行すると、地図画面などに戻ります。
- 前方の映像を表示中に[▲]/[■]/[♪]のいずれかを押すと、地図/メニュー/オーディオの画面に切り換わります。
- 前方の映像を表示させたまま約3分間何も操作しないと、切り換える前の画面に戻ります。
- 時速約10 km以上で走行中にカメラを選ぶと、サイドの映像に切り換わります。

NSZN-Y71DS NSZN-W71D

- オプションボタン設定(P.25)が「カメラ画面切換」に設定されている場合は、[★]を押すごとに表示が切り換わります。カメラの表示について、詳しくは車両の説明書をご覧ください。

後席モニターと組み合わせる

本機の映像*1を、後席モニターに表示できます。

準 備

- 後席モニターを、本機が接続されている入力モード(「ビデオ入力」、「HDMI」など)に切り換えてください。

オーディオを切り換える(P.86)

- 本機および後席モニターに、選んだオーディオが表示されます。
- [▲]を押すと、後席モニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り換えることができます。
- 後席モニターには、走行中でも映像が出力されます。

＊1 TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、HDMI*2
（上記以外の映像は、後席モニターに出力できません。）
＊2 HDMI は NSZN-Y71DS NSZN-Y71D のみ

お知らせ

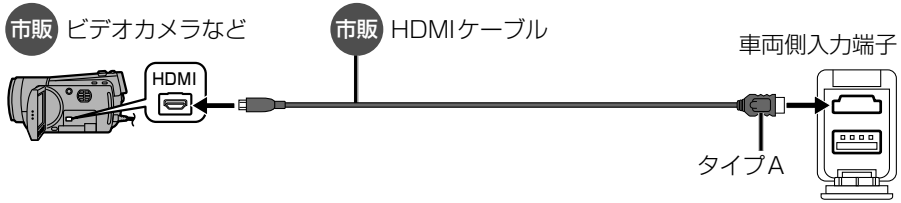
- 本機の映像を後席モニターに表示させた状態でオーディオを切り換えると、後席モニターの映像が一時的に乱れる場合がありますが、故障ではありません。

ビデオカメラなどと組み合わせる

本機とHDMIで接続した機器の映像を見ることができます。

ビデオカメラなどを本機と接続する

NSZN-X71D



NSZN-Y71DS　NSZN-Y71D　NSZN-W71D

＊1 別売品のお買い求めについては、販売店へお問い合わせください。

お願い

- ビデオカメラなどの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ビデオカメラなど、およびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を妨げないように固定してください。

ビデオカメラなどの映像を見る

オーディオメニュー(P.26)**から、HDMI を選ぶ**

- 接続した機器の映像と音声が出力されます。

利用に応じた設定に変える

表示の設定をする

1 **情報・設定メニュー**(P.26)**から ナビ設定 を選ぶ**

2 **ナビ設定画面から 表示 を選ぶ**

3 **各項目を設定する**(下記)

[**太字**：お買い上げ時の設定]

	項　目	設定内容
メイン画面用地図設定(1画面・左画面)	**地図モード** (P.48)	「北 向 き」：ノースアップで表示する 「**進行方向**」：ヘディングアップで表示する 「3　　D」：3D地図で表示する
	3D視角調整	3Dの地図の傾きを設定する 角度大　角度小
	吹き出しを表示 (P.38)	「**す　る**」：高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」：吹き出し表示しない
	標高地図を表示 (P.34)	「**す　る**」：広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」：標高地図を表示しない
右画面用地図設定	**右画面に地図表示** (P.49)	「す　る」：右画面に地図を表示する 「**しない**」：右画面に地図を表示しない
	名称の文字サイズ	「 **大** 」：右画面の地図の文字を大きくする 「 小 」：右画面の地図の文字を小さくする
	吹き出しを表示 (P.38)	「**す　る**」：右画面に高速道路や交差点を吹き出しで表示する 「しない」：右画面に吹き出し表示しない
	標高地図を表示 (P.34)	「**す　る**」：右画面の広域縮尺の地図で、標高地図を表示する 「しない」：右画面に標高地図を表示しない
	地図モード (P.48)	「北 向 き」：右画面をノースアップで表示する 「進行方向」：右画面をヘディングアップで表示する 「**3　　D**」：右画面を3D地図で表示する
	3D視角調整	右画面の3Dの地図の傾きを設定する 角度大　角度小
地図色設定	**昼夜切換**	「時 間 連 動」：時間に連動して、昼画面/夜画面を切り換える 「　　昼　　」：常に昼画面で表示する 「　　夜　　」：常に夜画面で表示する 「**スモール連動**」：車のスモールランプに連動して、昼画面/夜画面を切り換える ● 車種やグレードによっては、「スモール連動」に設定すると、周囲の明るさによって自動的に昼画面/夜画面を切り換える場合もあります。
	標高地図色 (P.34)	「**季 節 連 動**」：季節に連動して、標高地図の色を切り換える 「標　準」：標準的な色彩の地図色で表示する 「　春　」：常に春の地図色で表示する 「　夏　」：常に夏の地図色で表示する 「　秋　」：常に秋の地図色で表示する 「　冬　」：常に冬の地図色で表示する

表示の設定をする（続き）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

	項　目	設定内容
情報バー表示設定	MAPCODEを表示 （P.40）	「**す　る**」：情報バーにマップコードを表示する 「しない」：情報バーにマップコードを表示しない
	地図情報を表示	「**住所名**」：情報バーに現在地の住所を表示する 「道路名」：情報バーに現在地の道路の名称を表示する
	AUDIO情報を表示 （P.39）	「す　る」：情報バーにオーディオの情報を表示する 「**しない**」：情報バーにオーディオの情報を表示しない
	残距離／到着時刻を表示 （P.41）	「**経由地**」：経由地までの残距離と到着予想時刻を表示する 「目的地」：目的地までの残距離と到着予想時刻を表示する
その他設定	緯度・経度を表示 （P.40）	「す　る」：地図モード画面に緯度・経度を表示する 「**しない**」：緯度・経度を表示しない
	冠水注意ポイント表示	「**す　る**」：豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある地点を表示する 「しない」：冠水注意ポイントを表示しない
	市街地図での 冠水注意ポイント表示	「**す　る**」：冠水注意ポイント表示「する」のとき、市街地図でも冠水注意ポイントを表示する 「しない」：市街地図で冠水注意ポイントを表示しない
	登録地を表示 （P.73）	「**す　る**」：地図に登録地を表示する 「しない」：地図に登録地を表示しない
	時計表示 （P.39）	「**す　る**」：時計を表示する 「しない」：時計を表示しない 「映像中はしない」：オーディオがTV、DVD、SD（動画）、USB（動画）のとき、時計を表示しない（他の画面では表示する） ● 本機はGPSアンテナで受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時刻表示とは異なる時刻が表示される場合があります。
	デュアルウィンドウを表示 （P.49）	「す　る」：オーディオがTV、DVD、SD（動画）、USB（動画）のとき、右画面にオーディオの映像を表示する 「**しない**」：デュアルウィンドウ表示しない
	ランドマーク（P.51）	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
	ランドマーク表示（P.51）	「**す　る**」：ランドマークを表示する 「しない」：ランドマークを表示しない
	自車位置（P.17）	自車位置を修正できます。（通常は、この操作は必要ありません）
	走行軌跡（P.50）	走行軌跡の記録、表示の設定、削除ができます。

案内の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.26）から ナビ設定 を選ぶ

2 ナビ設定画面から 案内 を選ぶ

3 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

	項　目	設定内容
案内表示項目設定	ルートの全表示 （P.61）	「**す　る**」：ルート探索後、全ルート図を表示する 「しない」：ルート探索後、全ルート図を表示しない
	交差点情報の表示 （P.40、41）	「**常　時**」：常に交差点情報を表示する 「案内中」：ルート案内中のみ交差点情報を表示する 「しない」：交差点情報を表示しない
	ETCレーンの表示 （P.37）	「**す　る**」：ETCレーン案内を表示する 「しない」：ETCレーン案内を表示しない
	JCTビューの表示 （P.37）	「**す　る**」：ジャンクションビューを表示する 「しない」：ジャンクションビューを表示しない

案内の設定をする（続き）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

	項　目	設定内容
案内表示項目設定	目的地方向を表示 （P.41）	「**す　る**」：目的地方向直線を表示する 「しない」：目的地方向直線を表示しない
	ルート情報の表示 （P.35）	「す　る」：ルート案内中、専用レーン案内とハイウェイマップを表示する 「**しない**」：ルート情報を表示しない
	ハイウェイモードの表示 （P.35） ● ルート情報の表示が「しない」の場合のみ設定できます。	「**す　る**」：ハイウェイマップを表示する 「しない」：ハイウェイマップを表示しない
	交差点拡大図の表示 （P.36）	「**す　る**」：交差点拡大図を表示する 「しない」：交差点拡大図を表示しない
	リアル3D表示 （P.36）	「**す　る**」：複雑な交差点などを、リアルな3D図で表示する 「しない」：リアル3D表示しない
	方面看板の表示 （P.35）	「**常　時**」：常に方面看板を表示する 「案内中」：ルート案内中のみ方面看板を表示する 「しない」：方面看板を表示しない
	逆走注意アラーム （P.72）	「**す　る**」：逆走注意、および逆走警告の案内を表示する 「しない」：逆走注意、および逆走警告の案内を表示しない
	Audio画面中の案内割込み	「**す　る**」：オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内する 「しない」：オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
	デュアルウィンドウ中の 案内割込み	「**す　る**」：右画面にAudioの映像を表示させた地図（デュアルウィンドウ）に割り込んでルート案内する 「しない」：デュアルウィンドウ中に割り込んでルート案内しない
	EWS（緊急情報）の割込み （P.89）	「**す　る**」：TVのEWS（緊急情報）を受信したら、割り込み表示する 「しない」：EWS（緊急情報）の割り込み表示をしない
案内音声項目設定	案内出力スピーカー	「左　前」：本機の案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「**右　前**」：本機の案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
	専用レーン案内 （P.68）	「**す　る**」：ルート案内中に右左折専用レーンがある場合、案内する 「しない」：専用レーン案内しない
	案内音量の車速連動	「**す　る**」：高速走行時に、音量を自動的に上げる 「しない」：高速走行時も、音量を上げない
	案内時のAudio音量消音	「す　る」：ナビ音声案内時に音声出力スピーカーからのオーディオ音声が消音される 「**しない**」：ナビ音声案内時に音声出力スピーカーからのオーディオ音声は消音されない ※ 設定にかかわらず、ナビ音声案内時にスピーカーからのオーディオ音量は下がります。
	VICS案内 （P.69）	「**す　る**」：ルート案内中にVICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「しない」：渋滞／規制情報を音声で案内しない
	休憩メッセージ案内 （P.70）	「**す　る**」：ルート案内中に長時間経過すると、休憩を促す音声案内を行う 「しない」：休憩メッセージ案内しない
	トンネル出口案内 （P.68）	「**す　る**」：トンネル出口の情報がある場合、ルートの有無にかかわらず、音声でトンネル出口案内する 「しない」：トンネル出口案内しない

案内の設定をする（続き）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目		設定内容
信号情報活用運転支援設定	**光ビーコンアップリンク**	「**す　る**」：本機で収集した情報を光ビーコンに送信し、信号情報を受信する 「しない」：本機で収集した情報を光ビーコンに送信しない（信号情報を受信しない）
	赤信号減速支援＊1	「**す　る**」：前方の信号機が赤に変わると予測したことをアイコンで表示する 「しない」：アイコンを表示しない
	発進遅れ防止支援＊1	「**す　る**」：前方の信号機が青に変わるまでの残り時間をアイコンで表示する 「しない」：アイコンを表示しない
	支援音声ガイド＊1	「**す　る**」：赤信号減速支援、発進遅れ防止支援の情報を音声で案内する 「しない」：音声で案内しない

＊1「光ビーコンアップリンク」が「する」の場合のみ、設定できます。

探索条件の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.26）から **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **探索** を選ぶ

3 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目		設定内容
詳細条件	**自動再探索**（P.70）	「**す　る**」：ルートから外れた道を走ると自動的に再探索する 「しない」：自動再探索しない
	フェリーを優先	「す　る」：フェリー航路を優先して通るルートを探索する 「**しない**」：フェリー航路を優先して通るルートを探索しない
	時間規制道路を考慮（P.67、69）	「**す　る**」：時間規制を考慮したルートを探索する 「しない」：道路の時間規制を考慮しない
	VICS自動再探索＊1（P.69）	「**す　る**」：VICS情報を考慮して、ルートを自動的に再探索する 「しない」：VICS自動再探索しない
	新旧ルート比較画面を表示（P.69）	「**す　る**」：曜日時間規制探索やDRGSでルートが再探索されたとき、変更前のルートも通行可能であれば、新旧ルート比較画面を表示する 「しない」：新旧ルート比較画面を表示しない
	到着予想	「**自　動**」：VICS情報や統計交通情報を考慮して、自動的に到着予想時刻を計算する
		「手　動」：一般道・国道・有料道路の平均速度を手動で入力し、その数値をもとに到着予想時刻を算出する **＋/－ で設定する** ● 一　般　道：5～**50**～60 ㎞/h ● 国　　道：5～**65**～80 ㎞/h ● 有料道路：5～**80**～100 ㎞/h

＊1ナビチューン（ルート）で、VICS考慮「しない」に設定されている場合は、選択できません。（P.44）

渋滞情報（VICS）の設定をする

1 情報・設定メニュー（P.26）から **ナビ設定** を選ぶ

2 ナビ設定画面から **渋滞情報** を選ぶ

3 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目		設定内容
ビーコン割り込み設定	**ビーコン受信音**	「**す　る**」：情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」：情報を受信しても、受信音を鳴らさない
	ビーコン割込み	「**す　る**」：情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」：情報が自動的に表示されない
渋滞情報保存時間設定		渋滞情報を保存する時間を設定する 調整範囲：15分/30分/**1時間**/2時間
ETC2.0設定	**ETC2.0受信音**	「**す　る**」：一般情報を受信すると、受信音を鳴らす 「しない」：一般情報を受信しても、受信音を鳴らさない
	ETC2.0割込み	「**す　る**」：一般情報を受信すると、自動的に表示される 「しない」：一般情報は自動的に表示されない ※設定にかかわらず、優先情報は割り込み表示されます。
	ETC2.0自動音声再生	「**す　る**」：情報を受信すると、自動的に音声案内される 「しない」：情報は自動的に音声案内されない
	ETC2.0アップリンク	「**す　る**」：本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「しない」：本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

利用に応じた設定に変える

システムの設定をする

1 情報・設定メニュー（P.26）から システム設定 を選ぶ

2 各項目を設定する（下記）

［**太字**：お買い上げ時の設定］

項　目		設定内容
BLUETOOTH（P.132～137）		BLUETOOTH対応機器の登録やハンズフリーの通話設定などが設定できます。
セキュリティ	セキュリティ設定（P.30）	「す　る」：セキュリティ設定をする 「**しない**」：セキュリティ設定をしない
	インジケータ（P.31） ● セキュリティ設定が「する」の場合のみ設定できます。	「す　る」：セキュリティインジケータを点灯をする 「**しない**」：セキュリティインジケータを点灯をしない
	盗難多発地点 音声案内（P.16）	「**す　る**」：盗難多発地点を音声で案内する 「しない」：盗難多発地点を音声で案内しない
	盗難多発地点 表示案内（P.38）	「**す　る**」：盗難多発地点を表示で案内する 「しない」：盗難多発地点を表示で案内しない
	市街地図での盗難多発地点表示案内（P.38）	「**す　る**」：市街地図で盗難多発地点を表示で案内する 「しない」：市街地図で盗難多発地点を表示で案内しない
	iPod抜き忘れ案内（P.16）	「**す　る**」：iPodの抜き忘れ案内をする 「しない」：iPodの抜き忘れ案内をしない
ユーザーカスタマイズ（P.25）		ユーザーごとに各設定を記憶させることができます。
画質調整（P.128）		画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
運転アシスト（P.160）		速度超過、車両の故障、シートベルトのかけ忘れなどを案内します。
ステアリングスイッチ（P.12）		ステアリングスイッチに機能を登録することができます。
オプションボタン（P.25） NSZN-Y71DS NSZN-W71D		★（オプションボタン）に割り当てる機能を設定できます。
その他設定	車種設定（P.22）	使用しません。（販売店で設定します）
	車両メンテナンス（P.158）	メンテナンス情報（エンジンオイルや消耗部品の交換時期など）のお知らせ設定をすることができます。
	バージョンアップ	● **通常は、この操作は必要ありません。**
	カメラ設定（P.185、187）	バックモニターの設定をする場合に使用します。
	オープニング画面切換（P.23）	オープニング画像をダウンロードして、変更することができます。
	音声認識設定（P.151）	ステアリングスイッチのMODEを2秒以上押したときの動作を設定できます。
	キー操作音	「**す　る**」：キー操作音を鳴らす 「しない」：キー操作音を鳴らさない ● 「しない」に設定すると、ボイスコマンド操作時のビープ音も鳴らさなくなります。
	TVアンテナ設定	本機に接続したアンテナの本数に応じて「4アンテナ」/「3アンテナ」を選択する。 ● **通常は、この操作は必要ありません。販売店が行う設定です。**
	ダイハツコネクト設定（P.145）	ダイハツコネクトの設定をする場合に使用します。
	ボイスコマンド設定（P.152）	ボイスコマンド機能を設定できます。
	初期化（P.197）	各種設定をお買い上げ時の状態に戻す場合に使用します。

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 情報・設定メニュー（P.26）から システム設定 を選ぶ

2 システム設定画面から その他設定 を選ぶ

3 初期化 を選ぶ

4 初期化する項目を選ぶ

項　目	内　容
SDカードの初期化	SDメモリーカード＊1を初期化する ● 録音した音楽データも削除されます。 ＊1 NTFSファイルシステムは初期化できません。
登録データの初期化	登録・設定した内容（登録地・登録ルートなど）を初期化する
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化する
入力履歴の初期化	名称検索で入力した履歴を削除する
TVの初期化	TVで設定した内容を初期化する
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻す ● オーディオがOFFに切り換わります。 NSZN-Y71DS　NSZN-X71D ● 車種選択（P.15）の設定は、初期化されません。

5 はい を選ぶ

6 はい を選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- **初期化（削除）した項目は、もとに戻せません。**
  誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。

7 初期化が完了したら、車のエンジンを止め（ACC OFF）、約10秒間放置してから、再度車のエンジンをかける（ACC ON）

- 本機が再起動します。

お願い

- **初期化中は他の操作（オーディオを切り換えるなど）をしないでください。**
  故障の原因となります。

お知らせ

- 録音データの初期化はP.111、Gracenoteデータベースの初期化はP.125をご覧ください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報（登録地の住所や電話番号など）、登録ルートなどの登録情報を必ず削除してください。
- 他人への譲渡または処分などの場合は、センサー学習値初期化をしてください。（P.20）
- バッテリー交換をした際には、下記の設定が初期化されます。
  - ・CD再生モード
  - ・FM/AM
  - ・交通情報
  - ・オーディオチューン（車速連動音量以外）
  - ・音量調整
  - ・映像調整
  - ・画質調整

よくあるお問い合わせ

*斜体の項目*の確認には、専門の技術と経験が必要です。
安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
  →[▲]を押してください。(P.40)

自車位置が正しく表示されない

- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
  →しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。
  →しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- GPS信号を妨げる障害物などがないか確認してください。
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
  →「学習レベル」を確認してください。(P.20)

縮尺を切り換えたのに、もとの縮尺に戻る

- 地図モード画面で縮尺を切り換えている。
  →地図モード画面で切り換えた縮尺は、現在地画面に反映されません。
  現在地画面で 詳細 / 広域 を選び、縮尺を切り換えてください。(P.47)

ディスクやSDメモリーカードが正しく読めない

- ディスクやSDメモリーカードが汚れている。
  →汚れを取り除いてください。
- ディスクが表裏逆に挿入された。
  →正しい面で挿入しなおしてください。
- ディスクやSDメモリーカードに問題がある。
  →別のディスクやSDメモリーカードが本機で再生できる場合は、ディスクやSDメモリーカードに問題がある可能性があります。

地図の年度更新の方法について知りたい

通常の年度更新版地図については販売店にお問い合わせください。
また、本モデルでは無償地図更新サービスを提供しております。(P.247)

故障かな!?

電源・共通

	内　容	ページ
動作	**電源が入らない**	
	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	16
	低温状態になっている。 ● 故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。 (オーディオに関する一部の情報や設定はお買い上げ時の状態に戻ります。)	—
	車のエンジンをかけた状態(ACC ON)で、本機の電源が切れる。 車のバッテリー電圧が低い。 ● バッテリーを交換してください。	—
	本機が動作しない	
	地図SDHCメモリーカードが正しく挿入されていない。 ● 地図SDHCメモリーカードを正しく挿入して、電源を入れなおしてください。	16、163
	ディスプレイの上下角度が調整できない	
	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
	ディスプレイが閉まらない	
	地図SDHCメモリーカードを出し入れした際、パネルが正しく取り付けられていない。 ● パネルの取り付けを確認してください。	163
	タッチパネルの反応が悪い/反応しない	
	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ操作をしている。 ● 画面によっては、上記の操作ができません。	14
	指の腹でタッチすると、2点タッチとして誤動作することがあります。必ず、指の先でタッチしてください。	14
	爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	14
	指の動きより遅れて反応する場合がありますが、故障ではありません。	—
	ステアリングスイッチが正しく動作しない	
	ステアリングスイッチ設定が、正しく完了していない。 ● ステアリングスイッチ設定画面で、登録可能なすべてのステアリングスイッチを登録後、完了 を選んで設定を完了してください。	13
	本機が温かくなる	
	長時間連続して使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	SDメモリーカードを挿入しても本機が認識しない	
	● 本機または専用フォーマッター以外でフォーマットしたSDメモリーカードは、本機では認識しない場合があります。SDメモリーカードを本機で初期化するか、専用フォーマッターでフォーマットしてください。 ● SDメモリーカードによっては認識しないものもありますので、別のカードをお試しください。	197、218 —
画面/映像	**映像が暗い/白っぽい/色あいが悪い/色が薄い**	
	画質調整が適切でない。 ● 各項目を調整してください。	128
	画面に赤、青または緑の点が表示される	
	液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
	ディスプレイに何も表示されない/ナビゲーションの映像が表示されない	
	オーディオがHDMIになっている。 ● 他のオーディオに切り換えるなどして、HDMI以外の画面を表示させてください。	86
	一時的に画面を消している(画面消OFF) ● [▲]/[■]/[♪]/[⏏]のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	19

故障かな!?

電源・共通

	内　容	ページ
画面／映像	**音声は出るが、映像が出ない**	
	一時的に画面を消している(画面消OFF) ● Ⓐ/▭/♪/⏏のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	19
	パーキングブレーキをかけていない。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
音声	**左右前後のいずれかの音が出ない**	
	FADE/BALANCEの設定を確認してください。	122
	音が悪い(音が飛ぶ)	
	DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	217
	iPod・携帯電話・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
	雑音が出る	
	携帯電話などを本機から離してください。	—

ナビゲーション

	内　容	ページ
案内	**音声案内されない/オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない**	
	ナビ案内音量の設定で、音量が「消音」に設定されている。 ● ナビ案内音量の設定を調整してください。	18
	ルートから外れている。 ● 現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ● 再探索してください。	40、41 70
	自動再探索が「しない」に設定されている。 ●「する」に設定してください。	194
	ルートに対して逆走行している。 ● 目的地の方向を確認してください。 ● 再探索してください。	41 70
	ルート案内中に料金案内されない	
	ルートが有料道路上から始まっている。 ● 有料道路上で自動再探索や再探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金案内されない場合があります。	—
	有料道路以外で有料案内する	
	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
	料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
	高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	
	高速道路と一般道路が平行にあるときは、誤った道路が案内される場合があります。 ● ランチャーメニューから、道路切換 を選んでください。	70
	一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	
	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。(故障ではありません。) ● 通りたい一般道路上に経由地を設定してください。	60、63、64
動作	**登録地が登録されない/設定が変更されない/探索したルートが削除された**	
	操作のあと、すぐに電源を切った。 ● 再操作してください。	—

ナビゲーション

	内　容	ページ
動作	**戻る を選んでも、前の画面に戻らない**	
	画面によっては、戻る を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
	地図画面上でフリック/ドラッグ以外の操作ができない	
	フリック/ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ● 約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
	運転アシスト機能が動作しない	
	車両が非対応の場合は動作しません。	—
	「運転アシスト」の各機能が「しない」に設定されている。 ● 運転アシスト機能を利用するには、「する」に設定してください。	160
	車両からの信号を、本機で受信できていない。 ● 車両信号情報を確認してください。 「OFF」になっている場合、本機と車両との接続に異常があるおそれがありますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	20
	障害物検知表示機能が動作しない	
	車両が非対応の場合は動作しません。	—
	カメラ設定の「コーナーセンサー」が「OFF」に設定されている。 ● 障害物検知表示機能を利用するには、「ON」に設定してください。	185
	車両のコーナーセンサーからの信号を、本機で受信できていない。 ● 車両信号情報画面から、「コーナーセンサー状態」を確認してください。 「OFF」になっている場合、コーナーセンサーに汚れが付着しているおそれがありますので、コーナーセンサーを拭いてください。それでも「ON」にならない場合は、本機と車両のコーナーセンサーとの接続に異常があるおそれがありますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	20
	バックモニターのガイド線(予測)が、ステアリングに連動しない	
	車両が非対応の場合は動作しません。	—
	車両からの信号を、本機で受信できていない。 ● 車両信号情報画面から、「ステアリング連動ガイド線状態」を確認してください。 「OFF」になっている場合、本機と車両との接続に異常があるおそれがありますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	20
表示	**VICS情報が表示されない(FM VICS)**	
	VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	81
	FMの電波が弱い。 ● 障害物(トンネルやビルの陰など)のない場所に移動してください。 ● 電波の強い周波数の放送局を選局してください。	— 81
	地図情報の保持時間が過ぎた。 ● 新しい情報を再受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ● VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	モーターアンテナ設定がONの状態で、AUDIO OFFに切り換えると、VICS情報を受信できません。 ● AUDIO ONに切り換えてください。	22、87
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	VICS情報が表示されない(光ビーコン/ETC2.0) ※ 別売のETC2.0車載器が必要です。	
	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ● アンテナの上に物を置かないでください。 ● 極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。	— —

ナビゲーション

	内　容	ページ
表示	**TSPSアイコンが表示されない**※ 別売のTSPS対応ETC2.0車載器が必要です。	
	路側装置の機器メンテナンス作業や故障などにより、終日または時間帯によって、情報が提供されない場合があります。 地図データに対象交差点の情報がないときは、TSPSアイコンは表示されません。	—
	地図画面が黄色く表示される	
	表示中の地図全体に気象・災害情報がある場合は、地図画面全体が薄い黄色で表示されます。 また、ナビチューンでVICS WIDEの情報点滅がONに設定されている場合、気象・災害情報の薄い黄色も点滅するため、地図全体が点滅しているかのように表示されます。	45、52

オーディオ [TV]

	内　容	ページ
映像／音声	**映像も、音声も出ない**	
	本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
	電源を入れても映像がすぐに出ない	
	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
	映像や音声が（ときどき）出なくなる／静止する、音声が遅れて聞こえる	
	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により「黒色」画面になることがありますが、故障ではありません。	—
	● 車両の装備*（搭載機器の動作）によってノイズが発生し、受信状態が悪くなることがあります。 ＊カメラ装置（スマートアシストのステレオカメラなど）、パワーウィンドウ、電動ドアミラー、ランプ、エアコンなど	—
	自動車／バイク／高圧線／ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り換えてください。（ワンセグに切り換わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。）	91
	地上デジタル放送が受信できない／受信状態が悪い	
	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ● ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	91

オーディオ [FM/AM]

	内　容	ページ
動作	**車のエンジンをかけると、車のラジオアンテナが上下する**	
	エンジンをかけるタイミングにより、上下する場合がありますが、故障ではありません。	—

オーディオ [FM/AM]

	内　容	ページ
音声	**ラジオが受信できない／ノイズが多い**	
	放送局の電波が弱い。 ● 放送局を変えてください。	95
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。（これまで受信できた放送局が受信できなくなった） ● 新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	95
	ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ● ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—

オーディオ [DVD]

	内　容	ページ
動作	**タッチパネルを操作しても、動作しない**	
	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。（故障ではありません。）	—
	設定した字幕言語／音声言語／アングルが切り換わらない	
	複数の字幕／音声／アングルが記録されていないディスクでは、切り換えられません。 ● トップメニューなどで切り換えたり、特定の映像のみアングルなどを切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	設定した字幕言語／音声言語で再生されない	
	設定した字幕／音声が記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕／音声で再生されません。 ● トップメニューなどで切り換えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
	メニュー画面のメッセージが希望の言語にならない	
	「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	100
	ディスクを挿入しても再生できない	
	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。	97
	再生できるディスクを使用してください。	97、215
	ディスク挿入後、またはDVDに切り換えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音が途切れることがあります。	—
音声	**再生中に小さい音が聞き取りにくい**	
	「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	100
	DVD再生の音量が小さい	
	音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ● DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	18

オーディオ [MP3/WMA（CD-R/CD-RW）]/[SD]/[USB]

	内　容	ページ
動作	**再生するまで時間がかかる**	
	記録されているフォルダ／ファイル階層が多い。 ● MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	順番どおりに再生されない	
	書き込んだ順番に再生されます。 ● 再生したい順番に、書き込んでください。 ● ファイル名の頭に「001」～「254」などと入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	— —

オーディオ [MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

	内　容	ページ
動作	**再生できない**	
	本機に対応したメディアを再生してください。 ● SDメモリーカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDメモリーカード・USBメモリーをお試しください。	215、218 —
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	—
	ビットレート/サンプリング周波数を確認してください。	220
	ファイルが破損している。 ● 本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	220
	ファイルには以下の拡張子を必ず付けてください。 ● MP3ファイル：拡張子「mp3(MP3)」　● WMAファイル：拡張子「wma(WMA)」 ● AACファイル：拡張子「m4a(M4A)」　● WAVファイル：拡張子「wav(WAV)」*1 ● FLACファイル：拡張子「flac(FLAC)」「fla(FLA)」*1	—
音声	**音質が悪い(音が飛ぶ)**	
	音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。	220、221
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
	再生経過時間は表示されているが、音が出ない	
	ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ● ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—
表示	**ファイル名・フォルダ名が正しく表示されない/曲情報が正しく表示されない**	
	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	220
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
	再生経過時間の表示が実際と一致していない	
	再生中、ACCをOFFにした。 ● 他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
	可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

＊1 NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D のみ

オーディオ [MEMORY MUSIC]

	内　容	ページ
録音	**録音設定の切り換えができない**	
	録音中の場合は、録音を停止してください。	104
動作	**MEMORY MUSICを再生できない**	
	曲のファイルが破損している。 ● 再生できない曲を削除し、再度CDから録音してください。	104、111
	パソコンなどを使って、本機でSDメモリーカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名やファイル名を変更した。 ● 本機でSDメモリーカードを初期化して、再度録音してください。	104、197

オーディオ [MEMORY MUSIC]

	内　容	ページ
音声	**音質が悪い(音が飛ぶ)**	
	ご使用になるSDメモリーカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。 ● 改善されない場合は、本機またはSDフォーマッターでSDメモリーカードを初期化し、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて削除されます。必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。 ● それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDメモリーカードに変更してください。	104、111 197、218 —
表示	**録音した音楽CDのアルバム名/曲名が表示されない**	
	新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報がない。 ● タイトル検索ソフトを使用してタイトル情報を取得してください。	113

オーディオ [iPod]

	内　容	ページ
動作	**iPodが正しく動作しない**	
	iPodが正しく認識されていない。 ● iPodをリセットしてから再接続してください。	—
	iPodのバージョンが古い。 ● iPodのバージョンを確認してください。	120

BLUETOOTH

	内　容	ページ
登録	**BLUETOOTH対応機器を本機に機器登録できない**	
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能がOFFになっている。 ● BLUETOOTH 対応機器を操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。	—
	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したBLUETOOTH Audio機器を登録してください。	—
	HFP(Hands-Free Profile)に対応した携帯電話を登録してください。	—
	BLUETOOTH 対応機器のファームウェア(ソフトウェア)を最新にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器の登録機器リストで本機の機器名称を選択しても、本機を登録できない	
	デバイスアドレスが本機のものと異なる。 ● 本機と同じ名称の、別の機器が選択されています。本体情報画面でデバイスアドレスを確認して、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから、本機と同じデバイス機器アドレスの機器を選んで登録してください。	132、137
音声	**音質が悪い(音がゆがむ・ノイズが発生する)**	
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	226 —
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器の電池残量が少ない場合は、充電してください。	—
接続	**「携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか？」と音声案内される(「電話1」「電話2」に割り当てられている携帯電話に接続できない)**	
	接続確認案内の設定が「する」になっている場合に、音声案内されます。 ● 携帯電話のBLUETOOTH機能を有効にしてください。 ● BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。 ● 割り当てられている携帯電話を使用しない場合には、割り当てを解除してください。	— — 134

BLUETOOTH

	内　容	ページ
接続	**本機に接続できない**	
	BLUETOOTH対応機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。	132
	携帯電話がHFPに対応していないとBLUETOOTH接続できません。(機種によっては、HFPに対応していなくても本機に登録される場合があります。)	—
	スマートフォンがSPP(Serial Port Profile)に対応していないとスマホ連携接続できません。	—
	携帯電話の受信状態を確認してください。	—
	BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTH機器と見通しの良い状態で通信を行ってください。 障害物等の影響で通信距離が短くなるおそれがあります。特に金属や人体(ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能になる場合があります。	—
	BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。 接続が頻繁に途切れたり、通信不能になる場合があります。	—
	自動的にペアリング情報が削除された。 ● 本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	132、133
	自動接続が完了していない。 ● BLUETOOTH対応機器が本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。	—
	登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない	
	BLUETOOTHの接続設定が「しない」になっている。 ● 接続設定画面からBLUETOOTHの「する」を選んでください。	135
	BLUETOOTH対応機器のBLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
	BLUETOOTH対応機器が省電力モードに設定されている。 ● 一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。BLUETOOTH対応機器の設定を変更してください。	—
	BLUETOOTH対応機器を操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。 ● 再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	132、133
	BLUETOOTH対応機器が操作待ちになっている。 (機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ● BLUETOOTH対応機器を操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ● 混信するため、他の機器を本機から離してください。 ● それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	226 —
	BLUETOOTH対応機器が金属物に触れている場合は、離してください。	—
	BLUETOOTH対応機器と本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	—
	BLUETOOTH対応機器を本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ● いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。 ● それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からBLUETOOTH対応機器の登録を削除し、BLUETOOTH対応機器の登録機器リストから本機を削除してから、再度機器登録からやりなおしてください。	— 132、133

BLUETOOTH

	内　容	ページ
接続	**登録したBLUETOOTH対応機器が自動的に本機と再接続されない(続き)**	
	携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ● 携帯電話がBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
	BLUETOOTH Audio機器が自動接続に対応していない。 ● オーディオをBLUETOOTH Audioに切り換え、登録機器一覧画面からBLUETOOTH Audioを解除して、再度本機に割り当ててください。	134
	携帯電話がハンズフリー接続待機状態になっていない。 ● 携帯電話がハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。携帯電話を接続待機状態に設定してください。	—
スマートフォン連携	**「Drive T@lker」「NaviCon®」のデータを本機で取得できない**	
	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ● BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ● 本機のスマホ連携接続の状態を確認してください。 ● スマホ連携接続をいったん解除してから再接続してください。	— 134 134
	iPhoneまたはiPodを本機のケーブルで接続した状態でiPhoneをBLUETOOTH接続しようとした。 ● iPodまたはiPhoneをP.120の図のとおり接続すると、そちらでの接続が優先されるため、iPhoneで「Drive T@lker」「NaviCon®」を利用する場合は、iPodまたはiPhoneを取り外してください。	—
	「Drive T@lker」「NaviCon®」を終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	
	機器の割り当てを解除してください。	134
	スマホ連携の接続が完了しない	
	接続をいったん中止し、再度割り当てからやり直してください。	134
	スマホ連携の切断が完了しない	
	スマートフォンを操作して切断してください。	—
ハンズフリー通話	**本機に機器登録された携帯電話でハンズフリー通話できない**	
	通話が携帯電話に切り換わっている。 ● ハンズフリー切換 を選択し、ハンズフリー通話に切り換えてください。	138
	携帯電話のサービス圏外で使用している。 ● サービス圏内で使用してください。	—
	ハンズフリー用の携帯電話が割り当てられていない。 ● 登録機器一覧からハンズフリー用携帯電話を割り当ててください。	134
	BLUETOOTHの接続設定が「しない」になっている。 ● 接続設定画面からBLUETOOTHの「する」を選んでください。	135
	携帯電話がマナーモードになっている。 ● 機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
	発着信時に相手の名前が表示されない	
	携帯電話の電話帳が本機に登録されていない。 ● 電話帳を本機に登録してください。	140
	ハンズフリー通話中、エコーやハウリングが起こる	
	受話音量を下げてください。	138、141

BLUETOOTH

	内　容	ページ
ハンズフリー通話	**通話中、相手の音声が聞き取りにくい**	
	自分と相手が同時に発声した。 ● 交互に話してください。	—
	受話音量を上げてください。	138、141
	着信履歴から発信できない	
	番号非通知の相手にかけようとした。 ● 番号非通知の相手には発信できません。	—
	国際電話を受けた。 ● 携帯電話の契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。	—
	携帯電話の機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ● 携帯電話の着信履歴から直接発信してください。	—
	通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しづらい	
	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ● 適切な距離でお話しください。	—
	エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ● エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	—
	携帯電話の通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り換わる/本機と接続中、携帯電話で通話できない	
	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ● 携帯電話で通話するときは、携帯電話を操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
	走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	
	携帯電話の電波が弱い。 ● 電波の状態が良い場所でご使用ください。	—
	電話帳転送ができない	
	携帯電話がOPP(Object Push Profile)またはPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。(機種によっては、OPPに対応していても電話帳転送できない場合があります。)	—
BLUETOOTH Audio	**BLUETOOTH Audio画面から操作できない(再生はできる)**	
	BLUETOOTH Audio機器がAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ● AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。BLUETOOTH対応機器で操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
	音量が小さい	
	BLUETOOTH機器の音量を調整してください。	—
	音質が悪い(音がゆがむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	
	BLUETOOTH Audio機器を本機に近づけてください。また、BLUETOOTH Audio機器の向きを変えてみてください。(BLUETOOTHアンテナが本体に向くように)	226
	「電話1」「電話2」「スマホ連携」に割り当てた携帯電話/スマートフォンのうち、本機と接続されていないものがある。(例:電源がOFFになっている、車内に持ち込まれていない) ● 対象機器のハンズフリー、およびスマホ連携の割り当てを解除してください。	134
	スマートフォンで不要なアプリが起動している場合は、終了してください。	—
その他	**P.205～208の処置をしても問題が解決しない/その他の問題がある**	
	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。	—
	いったんBLUETOOTH対応機器の電源を切り、再度電源を入れてください。	—
	機器登録を削除し、再登録してください。	132、133
	それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—

ボイスコマンド

	内　容	ページ
動作	**ボイスコマンドを利用できない**	
	ボイスコマンドの利用が「しない」に設定されている。 ● ボイスコマンドの利用を「する」に設定してください。	152
	ボイスコマンドが「無効」に設定されている。 ● ボイスコマンドを「有効」に設定してください。	152
	ハンズフリー通話中に発声した。 ● ハンズフリー中の利用が「しない」に設定されている場合は、ハンズフリー通話中はボイスコマンドを利用できませんハンズフリー中の利用を「する」に設定するか、ハンズフリー通話中の利用を控えてください。	152
	Drive T@kler利用中にボイスコマンドを利用しようとした。 ● Drive T@lker利用中は、ボイスコマンドを利用できません。	—
	音声認識に失敗する	
	● 声が小さすぎると認識されません。マイクに向かってはっきり発声してください。 ● ボタン操作中はボイスコマンドを利用できません。 ● ボイスコマンドの認識レベルを高くすると、認識されやすくなります。 ● それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	— — 152 —
	誤認識が多い	
	● 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、マイクに向かってはっきり発声してください。 ● マイクは発声する人の口元に向けて20 ㎝～40 ㎝離してください。 ● 使用しないボイスコマンドは、「無効」に設定してください。 ● ボイスコマンドの認識レベルを調整すると、正しく認識される場合があります。 ● 発話者の音声をマイボイス録音として登録すると、認識されやすくなる場合があります。	152 — 152 152 152

Drive T@lker

	内　容	ページ
動作	**Drive T@lkerを利用できない**	
	● スマートフォンにDrive T@lkerをインストールして、「スマホ連携」に割り当ててください。 ● 接続したスマートフォンのロックを解除してください。 ● スマートフォンをWi-Fi®で接続している場合は、携帯電話回線に切り換えてください。 ● スマートフォンの省電力機能はOFFにしてください。 ● Drive T@lker以外のアプリを起動している場合は、終了してください。 ● スマートフォンにDrive T@lker画面が表示されているか確認してください。	134、149 — — — — —
	サーバーへの接続が失敗する	
	スマートフォンの電波状況によりサーバーに接続できなくなることがあります。 ● 場所を移動して、電波状況の良好な場所でお使いください。 ● しばらくしてから接続を行ってください。 ● Wi-Fi機器を利用して接続する場合、音声が途切れたり、通信が切断される場合があります。	— — —
	誤認識が多い	
	● 車の窓を閉め、同乗者に会話を控えてもらい、適正な音量ではっきり発声してください。 ● マイクは発声する人の口元に向けて20 ㎝～40 ㎝離してください。 ● 効果音が鳴ってから、続けて発声してください。	150 — —
	音声認識に失敗する	
	● 声が小さすぎると認識されません。適正な音量ではっきり発声してください。 ● それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	150 —
	音声が出力されない	
	本機またはスマートフォンの音量が小さい場合は、音量を調整してください。	18

ドライブレコーダー

	内　容	ページ
動作	**ドライブレコーダーの電源が入らない（LEDランプが点灯しない）**	
	車のエンジンがかかっていない。 ● エンジンをかけて（ACC をON にして）ください。	—
	ヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	ドライブレコーダーやmicroSDメモリーカードが温かくなる	
	長時間使用している。 ● 正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
	走行中、頻繁に急加減速を知らせるブザーが鳴る／ブザーが鳴り続ける（ピピピ…短く８回）	
	ドライブレコーダーの加速度センサーが最適化されていない。 ● 加速度センサーを最適化してください。	171
	走行中、路面上の段差を越えた際などに、ブザーが鳴る	
	路面の段差を越えたときなどの衝撃を急加速･急減速として感知し、感知音（ブザー）を鳴らすことがあります。（故障ではありません。） ● 「急加速・急減速の感度」を低感度に調整すると、段差の衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。 ● 感知音（ブザー）が頻繁に鳴るときは「急加速・急減速の感知音」を「しない」に設定すると、急加速・急減速を感知しても感知音（ブザー）を鳴らさなくなります。	173 173
	ドライブレコーダーの加速度センサーが最適化されない	
	ドライブレコーダーからmicroSDメモリーカードが抜かれた状態で加速度センサーを最適化しようとした。 ● microSDメモリーカードが抜かれた状態では最適化できません。 平坦な場所に停車し、ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを入れて加速度センサーを最適化してください。	171
	記録ファイルが消えている	
	常時録画の場合、古い記録ファイルから順に自動的に削除されるため、連続して記録されない場合があります。 ● 残したい記録ファイルは、保存フォルダへ移動してください。	179
	録画できない、または録画した映像が正しく表示されない	
	ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードが挿入されていない。 ● ドライブレコーダーにmicroSDメモリーカードを挿入してください。	181
	記録できるファイル数の上限に達している。（録画できない場合） ● 手動録画の記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除してください。 （削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。）	—
	microSDメモリーカードを初期化していない、またはドライブレコーダー以外（パソコンなど）で初期化している。 ● ドライブレコーダーで初期化してください。	173
	microSDメモリーカードを長期間使用している。 ● microSDメモリーカードには寿命があります。 新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	169
	録画や再生、初期化中に、ドライブレコーダーからmicroSDメモリーカードを取り出した。 ● microSDメモリーカードが損傷している場合があります。 新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	—
	ドライブレコーダー（2チャンネル　ナビ連動タイプ）で、後方のカメラ映像を録画できない	
	ドライブレコーダータイプが「前のみ」に設定されている。 ● 本機を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダータイプが「前のみ」になります。 「前後」に設定しなおしてください。	173

ドライブレコーダー

	内　容	ページ
動作	**車のエンジンをかけたときに（ACC ON）、駐車録画のお知らせが表示されたが、映像に振動の原因となるものが映っていなかった**	
	振動の原因が、ドライブレコーダーのカメラで映せる範囲外だった。 ● 車両の周囲をご確認ください。	—
	振動の原因が、すぐに車から離れた。 ● 振動を検知してから撮影するため、振動発生の瞬間は撮影できません。	—
	ドライブレコーダー（2チャンネル　ナビ連動タイプ）の後方のカメラでは、駐車録画できません。	—
映像	**映像が白っぽい、映像に白線（光の線）が出る**	
	太陽光を直接映したり、強い光（ヘッドライトなど）を映している。 ● 映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。 故障ではありません。	—
	映像が見えにくい	
	暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ● 故障ではありません。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが汚れている。 ● 汚れを拭いてください。	—
	カメラのレンズ、車のガラスが結露している。 ● ヒーターなどで車内を適温に保ち、結露が取り除かれるまでしばらくお待ちください。	—
	ドライブレコーダーが異常に高温になっている。 ● 高温時は、機器の保護のため画像が暗くなります。温度が下がるともとに戻ります。	—

ETC2.0ユニット

	内　容	ページ
動作	**ETC2.0ユニットが動作しない/電源ランプ（青）が点灯しない**	
	電源コードのヒューズが切れている。 ● お買い上げの販売店にご相談ください。	—
	ETCランプ（青）が点灯しない	
	ETCカードが挿入されていない。 ● ETCカードが正しく挿入されているかご確認ください。 ● 正常なETCカードが挿入されているかご確認ください。 ● ETCカードのコンタクト面が汚れていないかご確認ください。	— — —
	路側表示器に料金が表示され、通行できたにもかかわらず、本機から料金案内されない	
	料金の徴収は正常に行われたが、何らかの原因でETCカードに料金（利用履歴）を書き込めなかった。 ● 料金は徴収されていますので、クレジット会社からの明細にてご確認ください。	—

こんなメッセージが出たときは

	内　容
か	**高温のため、動作を停止しています。　エアコンをかけ車内の温度を下げてから安全な場所に停車し、エンジンをかけ直してください。**
	本機の内部温度が異常に高い。 ● 内部温度が下がるまでお待ちください。
	この画像は表示できません。表示可能サイズを超えているか、不正な画像ファイルです。
	再生できない形式の静止画データを再生した。 ● ファイルを確認してください。

こんなメッセージが出たときは

	内　容
か	**この曲は再生できません。**
	再生できない形式の音楽データを再生した。 ● ファイルを確認してください。
	このSDカードは書き込み禁止です。SDカードを確認してください。
	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。
さ	**再生可能なディスクを入れてください。**
	ディスクが汚れている、裏返しになっている。
	ディスクが音楽用でない、録音されていない。
	ディスクにキズが付いている。
	再生できないディスクを使用している。(P.216) ● ディスクを確認してください。
	再生可能なファイルがありません。
	異常のある動画を再生した。 ● ファイルを確認してください。
	再生できるファイルがない。 ● 再生できるファイルのあるメディアを挿入してください。
	受信できません(0020)
	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが低い。
	受信できません(E202)
	地上デジタル放送/ワンセグの電波を受信できていない。
	受信できません(E203)
	地上デジタル放送/ワンセグの受信レベルが非常に低い。
	放送休止のチャンネルを見ている。
	情報を受信していません。
	VICS情報がない。 ● FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。
	走行中はスクロールできません。
	市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。 ● 安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
た	**● 地図カードを挿入してください。 ● 地図カードがありません。**
	地図SDHCメモリーカードがしっかりと挿入されているか、確認してください。(P.163)
	地図データ異常により正常に起動できませんでした。
	地図SDHCメモリーカードに異常がある。 ● お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	地図SDHCメモリーカードは、お買い上げ時に挿入されていた機器でのみ使用できます。 他の同型の機種に挿入しても、使用できません。
	データがいっぱいになりました。 XX件 転送されました。
	アドレス帳を、最大保存可能件数(1 500件)まで保存した。 ● これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
	電源を入れ直してください。
	アンプに異常が発生した。 ● いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

こんなメッセージが出たときは

	内　容
は	**配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。**
	本機が故障している。 ● スピーカー及びその配線関係に異常がないか、お買い上げの販売店にご相談ください。 スピーカーや配線異常がない場合は、本機の故障の可能性があります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
	NSZN-Y71DS　NSZN-Y71D　NSZN-W71D 本機に接続しているiPod/USB接続用中継ケーブルに異常がありました。 ケーブルにキャップをした後、電源を入れ直してください。
	ケーブルが金属物に触れている。 ● 金属物から離してください。
	接続している機器やケーブル(iPod/USB接続用中継ケーブル、およびUSBケーブル)に異常がないことを確認してください。
ら	**ルート探索ができません。**
	極端に長い道のりのルートを探索しようとした。 ● 目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探索してください。
	録音可能な容量を超えました。　これ以上録音できません。
	SDメモリーカードに十分な空き容量がない。 ● 不要な音楽データを削除してください。
	録音できませんでした。 SDカードを確認し、もう一度録音してください。
	SDメモリーカードが本機に挿入されていない。 ● SDメモリーカードを本機に挿入してください。
G	**● Gracenoteデータベースの更新ができませんでした。 ● Gracenoteデータベースの取り込みができませんでした。**
	地図SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。
S	**SDカードが書き込み禁止になっています。**
	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ● 書き込み禁止スイッチを解除してください。
記号	⃠
	ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じることがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、約1時間ほど放置してください。もし、何時間たっても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、絶対におやめください。
● 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

文字入力のしかた

1 入力したい文字の種類を選ぶ

- 選ぶごとに種類が切り換わります。
- かな：ひらがな/漢字
- カナ：カタカナ
- 英数：英字/数字
- 記号：記号

2 文字を入力し、変換または無変換を選ぶ*（右記）

＊変換の選択は、ひらがな入力時のみ
記号入力時は、選択不要

- ■：スペースを入力
- ←→：カーソルを移動
- 修正：1文字削除
  1秒以上押して、全文字削除

3 文字入力が終わったら決定を選ぶ

携帯電話のボタンの感覚で入力する

1 入力切換を選ぶ

2 文字の種類を選び、入力する

ひらがな/漢字を入力する

- ←→：変換する範囲を変える
- 無変換：ひらがなのまま入力
- 変換：変換の候補を表示

カタカナを入力する

- 半角/全角：半角・全角の切換
  ・半角を選ぶと、全角が表示されます。

英字/数字を入力する

- 半角/全角：半角・全角の切換
  ・半角を選ぶと、全角が表示されます。
- 小文字：大文字・小文字の切換
  ・選ぶごとに切り換わります。

記号を入力する

お知らせ

- 入力できる字数は、項目によって異なります。詳しくは、各項目の説明をご覧ください。
- 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。（例：名称検索（P.56）で入力できるのは、「ひらがな」のみです。）
- **デジタルTVの文字入力のしかたについて**
  ・基本的な入力方法は上記と同じです。
  ・漢字は入力できません。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク＼フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3＊3	WMA＊3
DVD	○	—	—	—	—
DVD-R/RW＊1	○	○	—	—	—
CD	—	—	○	—	—
CD-R/RW＊2	—	—	○	○	○

＊1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。
＊2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。
＊3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CDは、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

ディスクについて

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号
- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。
  ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
  - **本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。**
    「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。

■ 字幕言語数　■ 音声言語数　■ アングル数

■ 画面サイズ(横：縦の比)＊1

4：3の標準サイズ

4:3

レターボックス

LB

16：9のワイドサイズ

画面サイズが標準(4：3) のときは、レターボックスで再生されます。　16:9 LB

画面サイズが標準(4：3) のときは、パン＆スキャンで再生されます。　16:9 PS

＊1 映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

再生できないディスク

- 8 ㎝ディスク＊2
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたディスク
- AVC REC方式で録画されたDVD
- AVCHD方式で撮影したDVD
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Ultra HD Blu-ray
- BDXL
- カートリッジ付きBD-RE (Ver.1.0)
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA＊3
- VSD
- CVD
- DualDisc＊4
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- DIVX Videoディスク　など

＊2 シングルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
＊3 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。
＊4 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなるおそれがあります。

ディスクの取り扱い

■持ちかた

記録面に
触れないように持つ

■ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ
  (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

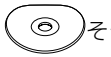
シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー(スタビライザーなど)

破損・変形したディスク


そっている

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

バリがある

お手入れ

本体・液晶画面のお手入れ

- 必ず車のエンジンを切った状態(ACC OFF)で清掃してください。
- 本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶画面は、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- 損傷の原因となるため、下記を使用しないでください。
  - ・洗剤(ガラス用クリーナー含む)
  - ・シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
  - ・硬い布やティッシュペーパー、ウェットシートなど
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこり、またはゴミが付着し、汚れてしまいます。
- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでもよくならない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。
- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い
- 市販のレンズクリーナーディスクは、レンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

SDメモリーカード・USBメモリーについて

SDメモリーカードについて

■本機で使用できるSDメモリーカード

※本書では特にことわりのない限り、下記のメモリーカードを「SDメモリーカード」と表記しています。

- SDXCメモリーカード(2 TB以下)*1
- SDHCメモリーカード(32 GB以下)*1
- SDメモリーカード(2 GB以下)
- microSDXCメモリーカード(2 TB以下)*1*2
- microSDHCメモリーカード(32 GB以下)*1*2
- microSDメモリーカード(2 GB以下)*2
- miniSDメモリーカード(2 GB以下)*2

＊1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

＊2 カードをSDメモリーカード挿入口へ挿入するときは、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

■SDメモリーカードは、使用する前に本機で初期化してください。(P.197)

- または、パソコンで「SDフォーマッター」(フォーマットソフトウェア)を使って初期化してから使用してください。SDフォーマッターについては、下記サイトをご覧ください。
  https://av.jpn.support.panasonic.com/support/sd_w/download/

お知らせ

- 規格に準拠したSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

USBメモリーについて

■本機で使用できるUSBメモリー

- USBマスストレージ規格準拠
- 容量:32 GB以下
- ファイルシステム:FAT 16、32
- USBコミュニケーションフォーマット:USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。
  正常に動作しないときは、接続したUSBメモリーを本機から取り外してください。

SDメモリーカード・USBメモリーの取り扱いについて

- **読み書きしているときに以下のことはしないでください。**
  ・SDメモリーカードを取り出す
  ・USBメモリーを取り外す
  ・機器の電源を切る
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、SDメモリーカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDメモリーカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDメモリーカードにシールやラベルを重ねて貼り付けないでください。
- SDメモリーカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。

データ作成時の留意点

静止画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した画像データを再生できます。

■本機で再生できる画像データ

項　目	内　容	
対応形式	JPEG(ベースライン)	
拡張子	JPG、jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)	
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1フォルダ内	255(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
使用可能文字	A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、_(アンダースコア)、漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)	
ファイルサイズ	10 MB以下	
画像解像度	16×16~4 092×4 092	

- 解像度が高い画像は画面に合わせて縮小して表示します。
- 以下のようなファイルは再生できません。
  ・プログレッシブ方式
  ・RGB以外(グレースケール、CMYKなど)

動画データについて

本機は、SDメモリーカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。

■本機で再生できる動画データ

項　目	内　容	
対応規格 プロファイル	MPEG-4 AVC(Advanced Simple Profile レベル5/Simple Profile レベル6まで)、H.264(High Profile レベル3.1/Main Profile レベル3.1/Baseline Profile レベル3.1まで)	
拡張子	MP4、M4V、mp4、m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)	
	映像	音声
コーデック	MPEG-4 AVC、H.264	AAC-LC
ビットレート	216 kbps~8 Mbps	8 kbps~320 kbps
フレームレート	15 fps、30 fps	
最大解像度	1 280×720	
サンプリング周波数		16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
最大階層	8階層	
最大ファイル数	メディア全体	10 000(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
	1フォルダ内	100(ルートフォルダ・フォルダ・ファイルの合計)
最大フォルダ数	100	
最大表示文字数	半角32文字(全角16文字)	
使用可能文字	A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、_(アンダースコア)、漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)	
ファイルサイズ	2 GB以下	

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 上記の仕様から外れたファイルは、再生できなかったり、音飛びする可能性があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- Windows Media Videoには対応していません。
- Global Motion Compensation、Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。
  映像が乱れ正しく再生できません。
- 著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)は再生できません。

データ作成時の留意点

音楽データについて

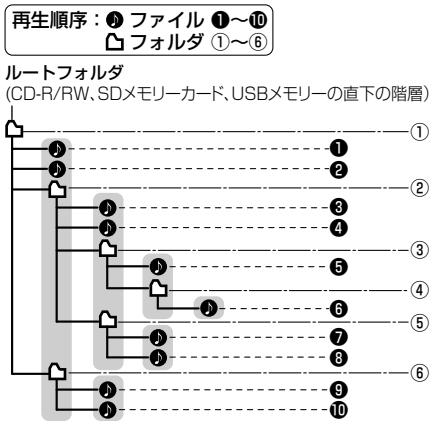
音楽データの規格について

ファイル形式	MP3	WMA	AAC	FLAC＊1	WAV＊1
使用可能なメディア	CD-R/RW、SD、USB	CD-R/RW、SD、USB	SD、USB	SD、USB	SD、USB
対応規格バージョン	MPEG1 Audio Layer3 MPEG2 Audio Layer3	Windows Media Audio Version 7/8/9 ※Standardのみ	Low Complexity	―	RIFF
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a	FLAC、flac、FLA、fla	WAV、wav
最大フォルダ名/ファイル名文字数	CD-R/RW：全角32文字/半角32文字 SD、USB：全角32文字/半角64文字		全角32文字/半角64文字		
フォルダ名/ファイル名使用可能文字	A～Z（全角/半角）、0～9（全角/半角）、_（アンダースコア）、全角漢字（JIS第一水準）、ひらがな、カタカナ（全角/半角）				
最大フォルダ階層	8階層				
1フォルダ内の最大ファイル数	255（ファイル＋フォルダ数：ルートフォルダ含む）				
1メディア内の最大ファイル数	CD-R/RW：512 SD、USB：10 000		10 000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD-R/RW：255 SD、USB：400		400		
表示可能なタグ	CD-R/RW：トラック名/アーティスト名/アルバム名 SD、USB：トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名		トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名		非対応
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver 1.0/1.1： 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3： CD-R/RW： 全角30文字 半角60文字 SD、USB： 全角32文字 半角64文字	CD-R/RW： 全角30文字 半角30文字 SD、USB： 全角32文字 半角64文字	全角32文字 半角64文字		非対応
サンプリング周波数	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz	16 kHz/22.05 kHz/24 kHz/32 kHz/44.1 kHz/48 kHz 88.2 kHz/96 kHz/176.4 kHz/192 kHz
ビットレート(kbps)	8 kbps～320 kbps、VBR	48 kbps～320 kbps、VBR	8 kbps～320 kbps	―	―
量子化ビット数	―	―	―	16 bit/24bit	16 bit/24 bit
ジャケット写真	CD-R/RW：非対応 SD、USB：対応		対応		非対応

- m3u/MP3iフォーマット/MP3 PROフォーマット/ディエンファシスには対応しておりません。
- WMA Professional/WMA Lossless/WMA Voiceには対応しておりません。
- DRM（デジタル著作権管理）には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル（SD-Audio規格など）は再生できません。
- 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。
- WAVファイルはLPCM（整数型）に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応しておりません。＊1
- FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。＊1

＊1 NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D のみ

階層と再生順序について



同じ階層（　で囲まれた範囲）内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ換えて再生します。（下記）

[CD-R/RWのMP3/WMAの場合]

- ルートフォルダは1つのフォルダとして数えられます。
- 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、1つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ換えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- 通常は、❶～❿の順に再生します。
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

音楽ファイルの再生について

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- リストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が想定している順とは異なった順で表示されることがあります。
  ※正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“001～254”など番号をつけてパソコンで期待する順番（名前順）などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

ファイル名について

- フォルダ名とファイル名の合計が半角240文字、全角120文字を超える場合、再生できません。

ジャケット写真について

JPEG形式のみに対応しています。
他の形式の場合、正常に表示できません。

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

データ作成時の留意点

音楽データについて（続き）

お知らせ

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC＊1/WAV＊1ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3/WMA/AAC/FLAC＊1/WAV＊1ファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3/WMA/AAC/FLAC＊1/WAV＊1ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）
- **不正なファイル（例えばMP3以外のファイルに“MP3”の拡張子を付けたファイル）は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。**
  音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC＊1/WAV＊1以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

＊1 NSZN-Y71DS NSZN-Y71D NSZN-X71D のみ

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。

自車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自車の位置を測位します。
※ 本書では特にことわりのない限り、下記の衛星を「GPS」と表記し、衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS 情報」「GPS信号」などと総称して表記しています。

■GPS（Global Positioning System）

アメリカ国防総省が配備を進めた人工衛星を利用した位置検出システムです。

■準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、より高精度で安定した測位を行います。

NSZN-Y71DS NSZN-Y71D
1号機、2号機、4号機に対応しています。
NSZN-X71D NSZN-W71D
1号機に対応しています。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。
※サブメータ級測位補強サービスやセンチメータ級測位補強サービスなどには対応していません。

■GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

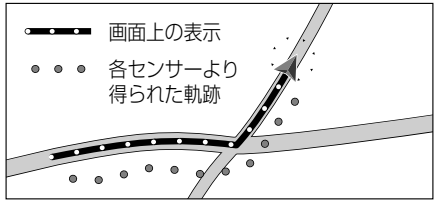
- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- 樹木の間

■現在地を測位するまでの時間

本機を最初にご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、自車の現在地を測位するまでに、5分程度かかります。また、通常は見晴らしの良い場所（GPS衛星の電波をさえぎる建物や樹木のない場所）で、2分程度で測位します。
電源を入れてすぐに走行すると測位するまでの時間が長くなるため、見晴らしの良い場所で測位ができるまで停車していることをおすすめします。

■マップマッチング

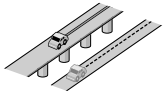
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路に自車マークを表示させる機能です。



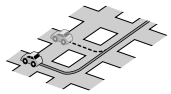
自車位置精度について

■走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

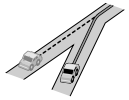
- 高速道路と一般道路が近くにある



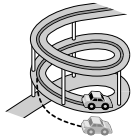
- 碁盤目状の道路を走行している



- 角度の小さなY字路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 車のエンジンスイッチON（電源ON）後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速（数km/h）での走行状態が続くとき（車種によっては車速信号を検出できないことがあるため）
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- 車のエンジンスイッチOFF（電源OFF）状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

自車位置精度について（続き）

■衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。（高架判定）

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50 ㎞程度の走行を要する場合があります。
- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。（道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど）
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習値初期化を選んでください。（P.20）
  ・別の車に載せかえた　・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。（一部地域のみ）

逆走警告について

■下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPSアンテナ上に障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき
- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走警告が表示された地点で ここでは案内しない をタッチしていた場合

■下記のような場合などでは、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でUターン可能な料金所でUターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは違う場合があります。

■次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作ることがあります。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかったり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。
- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- フェリー航路はルートに考慮されない場合があります。
- フェリー航路は補助手段であり、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるようにするために開発した、日本全国のあらゆる場所を最大13桁の数字で表したものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号で表せない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。
https://www.denso-communications.jp/mapcode/

電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報（ピンポイント情報）がないため、正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

■本機に登録されている個人名について

登録されている個人名は、公開電話番号の登録者名に基づいています。複数の読み方ができる「名字」については、実際とは異なる読みかたで登録されている場合があります。

例：「河内」という名字の場合、実際の読みが「こうち」でも、「かわち」や「かわうち」で登録されている場合があります。

名称・ジャンル・周辺施設検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号まで正確に検索できないことがあり、検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

FM多重について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高架道路の下
- 高層ビルなどの間
- サービス圏外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。（約3分）
- 車のエンジンをかけた（またはACCをONにした）あと、しばらくは情報が表示されません。

電波ビーコン5.8 GHz について

電波ビーコン5.8 GHzを受信するには、別売のETC2.0車載器が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ
- 高速高架道路の下（高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン5.8 GHzを受信してしまう場合があります。）

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコン5.8 GHzの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

光ビーコンについて

光ビーコンを受信するには、別売のETC 2.0車載器（光ビーコン対応モデル）が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 雪などの悪天候
- アンテナ受信部の汚れ
- フロントガラスの汚れ
- アンテナの上に物を置く
- 他の車両と並走して通信圏内に進入したとき
- 太陽光がアンテナ受光面に当たっているとき

お知らせ

- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンの受信ができないことがあります。
  取り付けの際は販売店にご相談ください。

BLUETOOTHについて

■使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

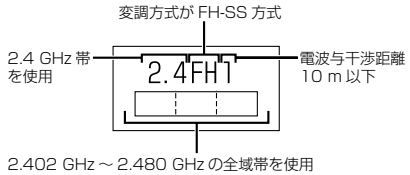
> 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します。）があります。
> 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
> 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店へご相談ください。

■機器設定（無線局の免許は不要です。）

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■周波数表示の見方（製品銘板に記載）



■使用可能距離

見通し距離約10 m以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しない、雑音の発生など、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■使用制限

- すべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。（BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。）
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTHの各機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器が下記のプロファイルに対応している必要があります。
  - ・BLUETOOTH Audio
    - →Advanced Audio Distribution Profile（A2DP）
    - →Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
  - ・ハンズフリー通話
    - →Hands-Free Profile（HFP）
  - ・電話帳転送
    - →Object Push Profile（OPP）または Phone Book Access Profile（PBAP）
  - ・「Drive T@lker」/「NaviCon®」/「CarAV remote」
    - →Serial Port Profile（SPP）
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

DVD言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称
1027	アファル語
1028	アブバジア語
1032	アフリカーンス語
1039	アムハラ語
1044	アラビア語
1045	アッサム語
1051	アイマラ語
1052	アゼルバイジャン語
1053	バシキール語
1057	ベラルーシ語
1059	ブルガリア語
1060	ビハーリー語
1061	ビスラマ語
1066	ベンガル、バングラ語
1067	チベット語
1070	ブルトン語
1079	カタロニア語
1093	コルシカ語
1097	チェコ語
1103	ウェールズ語
1105	デンマーク語
1109	ドイツ語
1130	ブータン語
1142	ギリシャ語
1144	英語
1145	エスペラント語
1149	スペイン語
1150	エストニア語
1151	バスク語
1157	ペルシャ語
1165	フィンランド語
1166	フィジー語
1171	フェロー語
1174	フランス語
1181	フリジア語
1183	アイルランド語
1186	スコットランドゲール語
1194	ガルシア語
1196	グアラニ語
1203	グジャラート語
1209	ハウサ語
1217	ヒンディー語
1226	クロアチア語
1229	ハンガリー語
1233	アルメニア語
1235	国際語

コード	言語名称
1239	国際語
1245	Inupiak 語
1248	インドネシア語
1253	アイスランド語
1254	イタリア語
1257	ヘブライ語
1261	日本語
1269	イディッシュ語
1283	ジャワ語
1287	グルジア語
1297	カザフ語
1298	グリーンランド語
1299	カンボジア語
1300	カンナダ語
1301	韓国語
1305	カシミール語
1307	クルド語
1311	キルギス語
1313	ラテン語
1326	リンガラ語
1327	ラオス語
1332	リトアニア語
1334	ラトビア、レット語
1345	マダガスカル語
1347	マオリ語
1349	マケドニア語
1350	マラヤーラム語
1352	モンゴル語
1353	モルダビア語
1356	マラータ語
1357	マレー語
1358	マルタ語
1363	ミャンマ語
1365	ナウル語
1369	ネパール語
1376	オランダ語
1379	ノルウェー語
1393	プロバンス語
1403	（アファン）オロモ語
1408	オリヤー語
1417	パンジャブ語
1428	ポーランド語
1435	パシュトー語
1436	ポルトガル語
1463	ケチュア語
1481	ラエティ＝ロマン語

コード	言語名称
1482	キルンディ語
1483	ルーマニア語
1489	ロシア語
1491	キニヤルワンダ語
1495	サンスクリット語
1498	シンド語
1501	サンゴ語
1502	セルビアクロアチア語
1503	シンハラ語
1505	スロバキア語
1506	スロベニア語
1507	サモア語
1508	ショナ語
1509	ソマリ語
1511	アルバニア語
1512	セルビア語
1513	シスワティ語
1514	セストゥ語
1515	スンダ語
1516	スウェーデン語
1517	スワヒリ語
1521	タミール語
1525	テルグ語
1527	タジク語
1528	タイ語
1529	ティグリニャ語
1531	トゥルクメン語
1532	タガログ語
1534	セツワナ語
1535	トンガ語
1538	トルコ語
1539	ツォンガ語
1540	タタール語
1543	トウィ語
1557	ウクライナ語
1564	ウルドゥー語
1572	ウズベク語
1581	ベトナム語
1587	ボラピュク語
1613	ウォロフ語
1632	コーサ語
1665	ヨルバ語
1684	中国語
1697	ズール語

VICSについて

- **VICSの車載機の動作、その他に関するもの**
- **VICSのサービスエリアに関するもの**
- **その他、上記に類するもの**

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター
受付時間　9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
電話番号　0570－00－8831
- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
- PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号　03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス: 当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約:当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者:当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー: FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス:文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス:簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス:車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。
(契約の成立等)
第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機(VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
(VICSサービスの種類の変更)
第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
(契約上の地位の譲渡又は承継)
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
(加入者が行う契約の解除)
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
(1)加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
(2)加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
(当センターが行う契約の解除)
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

(料金の支払い義務)
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

(当センターの保守管理責任)
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
(利用の中止)
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

(利用に係る加入者の義務)
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
(免責)
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]　視聴料金　300円(税抜き)
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「（株）ゼンリン」）間の「本機」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. （株）ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器１台に限り使用する権利を許諾します。
2. （株）ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、（株）ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
   （１）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
   （２）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
   （１）本ソフトの著作権は、（株）ゼンリンまたは（株）ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
   （２）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、（株）ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、（株）ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、（株）ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）
   （３）本規定に違反したことにより（株）ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
   （１）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
   （２）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
   （３）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
   （４）本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
   （５）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

⚠ 警告

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。
取り付ける車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合がありますが、常に実際の標識に表示された情報に従って運転してください。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

運転者は、走行中に操作をしたり、画面を注視したりしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

地図ソフトについて

【地図データについて】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。（承認番号 平29情使、第444-B389号）
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日）
- 3次元地図の作成に当たっては、測量法に基づく国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ（標高）を使用しています。（承認番号R1JHs 1112-001号）
- この地図の作成に当たっては、（一財）日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。（測量法第44条に基づく成果使用承認12-0060）
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリンの住宅地図データに基づき作成しています。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なる場合や、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 自然災害等の影響により、表示される地図が現地と一部異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2020年4月、国道、都道府県道についてはおおむね2020年2月までに収集された情報に基づき製作されていますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

  ◆3D 交差点…… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。

  ◆ジャンクションビュー… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。

  ◆方面看板…… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。（全国の主要交差点を表示）

  ※3D交差点、ジャンクションビュー、方面看板は、全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2019年11月までに収集された情報に基づき製作されています。時間指定の一方通行規制は、推奨ルートの探索にあたっては、考慮されません。また、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- この地図データは、以下の著作物を改変して利用しています。「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数」、東京都・【その他の著作権者】、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス　表示4.0国際（https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja）

【経路探索について】

- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

【交通規制データについて】

- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報、（公財）日本道路交通情報センター（JARTIC）の交通規制情報を（株）ゼンリンおよびMAPMASTERが加工して作成したものを使用しています。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるものが収録されています。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

【電話番号検索情報について】

- 本ソフトに使用している電話番号検索情報は、NTTのタウンページ電話帳2020年3月の情報を収録しています。なお、タウンページ電話帳に記載されている店舗情報の中でも、一部店舗の場所が特定できない情報については収録していません。また、お客様が電話番号や店舗名称等を用いて対象となる店舗の位置を検索した場合、該当する店舗の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 個人宅電話番号検索は、「電話番号」の入力で、全国で地図検索が可能ですが、各地域において、情報を収録している割合に格差があります。また、お客様が電話番号や名字を用いて対象となる物件の位置を検索した場合、該当する物件の周辺を到着地点として表示する場合があります。あらかじめご了承ください。

【VICSリンクについて】

- VICSリンクデータベースの著作権は、（一財）日本デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会に帰属しています。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

【登録商標について】

- “ゼンリン” および “ZENRIN” は（株）ゼンリンの登録商標です。
- 「VICS」および「VICS WIDE」は（一財）道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “タウンページ” は、日本電信電話（株）の商標です。

VICSセンター　お客様相談窓口

【電話番号】0570-00-8831（PHS、IP電話等からはご利用いただけません。）
【受付時間】平日 9：30 ～ 17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）
【FAX番号】03-3562-1719（24時間受付）
【URL】https://www.vics.or.jp/

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■ 道路：2020年4月（高速・有料道路）／2020年2月（国道・都道府県道）

■ 交通規制*1	：2020年3月	■ 住所検索	：2020年3月
■ 電話番号検索	：2020年3月	■ 個人宅電話番号検索	：2019年12月
■ 郵便番号検索	：2020年3月	■ ジャンル検索	：2020年2月
■ 高速・有料道路料金*2	：2020年4月	■ 市街地図	：2019年11月

＊1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

＊2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア（PA）、サービスエリア（SA）の施設情報は表示されない場合があります。

2020年12月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2020 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2020 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2020 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

ジャンル一覧

太字の項目は、小分類を選択できます。

ジャンル	中分類
コンビニエンスストア	ー
ガソリンスタンド	ー
駐車場	ー
交通機関	**駅**
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場
	映画館
	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等

ジャンル	中分類
観る(続き)	**イベント**
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	**カー用品**
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店
	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA

ジャンル	中分類
買う(続き)	**金物店・刃物店**
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	**ファミリーレストラン**
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	**郵便**
	理容・美容
	クリーニング
	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	ー
銀行	**都市銀行**
	地方銀行
	その他銀行

ジャンル	中分類
公共施設	**役所**
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
	ハローワーク
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	ー
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場
スポーツ施設	**ゴルフ**
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所

ジャンル	中分類
カーディーラー	スズキ
	スバル
	ダイハツ
	トヨタ
	トヨタ部品
	日産
	日産部品
	Honda Cars店
	マツダ
	三菱
	レクサス
	アウディ
	アバルト
	アルファロメオ
	クライスラー
	シトロエン
	ジャガー
	GM
	GMDAT
	BMW
	フィアット
	フェラーリ
	フォルクスワーゲン
	プジョー
	ベントレー
	ポルシェ
	ボルボ
	マクラーレン
	マセラティ
	MINI
	メルセデス・ベンツ
	ヤナセ
	ランドローバー
	ランボルギーニ
	ルノー
	ロータス
	ロールスロイス
	いすゞ
	日野
	三菱ふそう
	UDトラックス
	その他カーディーラー
自動車関連	**自動車整備工場**
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	ー

ジャンル	中分類
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

さくいん

あ行

アイドリング評価の反映 157
あかさたなタッチキー 54
明るさ 128
頭出し 99, 101, 102, 103, 106, 116, 119, 121, 144
アドレス帳 140, 141
アルバム 106
アルバム情報保存 109
アルバム編集 108
アングル 98
案内音量の車速連動 193
案内時のAudio音量消音 193
案内出力スピーカー 193
案内スタート 55
案内ストップ 55
案内表示項目設定 192
案内ルート 41
イコライザー 126
一時停止 98, 103, 119, 121
一般道 45
緯度・経度 40, 59
緯度・経度を表示 192
今すぐ見る 92
色合い 128
色の濃さ 128
インジケータ 196
迂回 64
運転アシスト 160
運転状況表示 157
エコde育成 156
エコ運転アドバイス 70, 157
エコ運転状態表示 38
エコ機能 154
エコ設定 157
エコタッチキー 38
エフェクトモード 122
エリア選局 81
エリアモード 95
エンター 99
オーディオチューン 122
オーディオメニュー 26, 86
オート放送局サーチ 91
オープニング画面切換 23
お気に入り 107
お気に入り地点 74
お気に入りフォルダ 107
音の匠 123
オプションボタン 25
音楽CD 101
音楽データ 220
音声 98
音声案内 68, 70
音声認識 150
音声認識設定 151
音声録音 173
音量 18, 144

か行

カーソル 40, 99
カーソルパネル 92
カード入れ忘れ案内 167
カード抜き忘れ案内 167
カーブ案内 44
ガイダンス 44
回転 118
ガイド線 186, 187, 188
学習レベル 20
拡大図表示 36
拡張ユニット情報 21
画質 173
画質調整 128
カスタムアップデート 113
画像・音声情報 79
カメラ 188
カメラ設定 185, 187
カメラモニター 170
画面OFF 19
画面表示サイズ 128
冠水注意ポイント 38
冠水注意ポイント表示 192
キー操作音 196
機器登録 132
気象・災害情報表示 52
規制 45
季節規制考慮 44
起動音 173
逆走警告 72
逆走注意アラーム 72, 193
ギャップレス 116
キャラクター変更 156
急カーブ 173
急加速・急減速 173
急加速・急減速の感知音 173
急加速・急減速の感度 173
休憩メッセージ案内 70, 193
曲管理 107
曲管理画面 108
距離目安線 184
緊急警報放送 89
緊急情報（特別警報） 83
携帯電話切換 138
携帯メモリ読み出し 140
経由地追加 63
経由地マーク 41
言語設定 100
現在地画面 40
検索結果画面 54, 151
広域 47
広域地図 34
高音質モード 122
交差点拡大図 36
交差点拡大図の表示 193
交差点情報の表示 192
交差点情報表示 40, 41
後席モニター 189
交通情報 96
合流案内 44
合流地点 173
コーナーセンサー 185
コーナーセンサー状態 20
コールセンター 160, 161
ここに行く 51, 55, 60
コントラスト 128

さ行

サーチ 99
細街路探索 66
再生時間 99
再生選択 110
再生モード 101, 102, 103, 106, 116, 121
再生リスト 119
再探索 70
撮影 176
残距離／到着時刻表示 41
残距離／到着時刻を表示 192
市街地図 34
市街地図での冠水注意ポイント表示 192
市街地図での盗難多発地点表示案内 31, 196
時間規制道路を考慮 194
自局番号 136
事故／故障の通知 160, 161
事故多発地点 38, 173
事故多発地点案内 44
自車位置 16
自車マーク 38, 45
事象・規制マーク 82
システム設定 22, 196
施設詳細 51
施設名 40
自宅 24, 58
自宅登録 24
視聴制限レベル 100
視聴予約 93
視聴予約確認／編集 93, 94
自動応答保留 141
自動再探索 70, 194
自動選局 81
自動録音 104
字幕 98
シミュレーション 62
ジャケット写真 110, 116, 221
車種設定 22
車種選択 15
車速パルス 20
車速連動音量 124
シャッフル 121
車両情報接続状態 20
車両信号情報 20
車両メンテナンス 158
ジャンクションビュー 37
ジャンル 58, 110, 234
ジャンルカスタマイズ 109
住所 57
渋滞回避 44
渋滞・混雑 45
渋滞情報 53, 81
渋滞情報保存時間設定 195
渋滞なし 45
周波数 95
周波数再編（リパック） 89
周波数設定 81
周辺検索 51
周辺施設 57
縮尺 47
縮尺表示 38
受信モード 91
出荷状態に戻す 197
手動選局 81
手動録音 104
手動録画タッチキー 173
手動録画の自動停止 173
受話音量 138, 141
障害物検知表示 185
詳細 47
詳細情報 62
詳細条件 194
情報・設定メニュー 26
情報点滅 45
情報バー 39
情報バー表示設定 192
情報メニュー 26
初期化 197
新旧ルート比較 69
新旧ルート比較画面を表示 194
信号切替 94
数字パネル 92
スキャン 91, 101, 102, 106, 116
スクロール 46
スクロールタッチキー 54
図形表示型（レベル2） 78
ステアリングスイッチ 13, 151
ステアリング連動ガイド線状態 20
スピーカー出力レベル 127
スピーカーディレイ 127
スマートIC 67
スマートIC考慮 44
スマホ連携 142, 144, 145
スマホ連携アプリ選択 135, 145
スモールランプ 20
スライドショー 118
スロー再生 99
静止画 118
静止画データ 219
セキュリティ 29, 30, 196
セキュリティ設定 196
設定 40
設定初期化 173
選局 81, 90, 95, 144
選局パネル 90
選曲モード 103, 106, 117, 121
全曲録音 104
選択曲録音 104
専用レーン案内 193
全ルート図 55, 61
走行軌跡 50
走行状態（パーキングブレーキ） 20
送話音量 138, 141
側道拡大図 36
速度超過アラーム 160, 161
その他設定 192, 196
その他の車両状態の通知 160, 161
ソフト情報表示 94

た行

対応サービス 136
タイトルメニュー 98
タイトルリスト 98
ダイナミックガンマ 128
ダイナミックレンジ圧縮 100
ダイハツコネクト 145
ダイヤル 139
立寄る 51, 60
探索条件 63, 66
地上D選局対象 91
地上D/ワンセグ切替設定 91
地図SDHCメモリーカード 163
地図画面 38
地図更新 162
地図上へのエコタッチキー表示 157
地図情報を表示 192
地図色 45
地図色設定 191

さくいん

地図表示型(レベル3) 52, 79
地図モード 191
地図モード画面 40
地点登録 51, 73
地点編集 51, 75
地点メニュー 51
着信音量 138, 141
着信履歴 139
注意案内表示 41, 71
駐車場 45
駐車場マーク 53
駐車録画 173
駐車録画のお知らせ 173
駐車録画の感度 173
駐車録画の時間 173
駐車録画の無効時間 173
昼夜切換 191
ツートップメニュー 26, 54
通話設定 141
通話中の着信拒否 141
続き再生解除 98
提携駐車場 59
停止 98
ディスク 97, 215
出入口 59
データベース再検索 109
データ放送 92
テナント情報 51
デバイスID表示 94
デバイスアドレス 136, 137
デバイス名 136, 137
デバイス名変更 137
デュアルウィンドウ 49, 129
デュアルウィンドウ中の案内割込み 193
デュアルウィンドウを表示 192
テレビ 88
テレビ初期設定 88
テレビメニュー 90
電話に出る 138
電話番号 56
電話を切る 138
動画 119
動画情報表示 173
動画データ 219
統計情報 45
到着予想 194
盗難多発地点 38
盗難多発地点音声案内 31, 196
盗難多発地点表示案内 31, 196
道路切換 70
登録機器一覧 133
登録地 58, 73
登録地編集 73, 75
登録地を表示 192
登録データの初期化 197
登録ルート 65
トーン 138
時計表示 192
トップメニュー 98
ドライブ診断 154
ドライブレコーダー 21, 168, 170
トラック編集 108
取付調整 173
トンネル出口案内 193

な行

ナビ案内音量 18
ナビ設定 17, 191
ナビチューン 44
入力履歴の初期化 197
燃費計算 155
ノイズキャンセル 141
ノースアップ 48

は行

パーキングブレーキアラーム 160, 161
バージョンアップ 94
ハイウェイ入口案内 36
ハイウェイマップ 35
ハイウェイモード 49
ハイウェイモードの表示 193
パスキー 137
パスキー変更 137
パスワード変更 100
バックモニター 183, 184, 186
発信履歴 139
パノラマモニター 183, 184, 188
早送り 99, 101, 102, 103, 106, 116, 119, 121, 144
早戻し 99, 101, 102, 103, 106, 116, 119, 121, 144
範囲 45
番組内容 92
番組表 92
番組表表示形式 91
ハンズフリー 138
販売店 160, 161
微調整 40, 46
ビット・周波数拡張 125
ビデオカメラ 190
標高地図 34
標高地図色 191
標高地図を表示 191
標識検知の通知 161
フェリーを優先 194
フォルダ 102, 116
フォルダ名編集 73
吹き出し表示 38
吹き出しを表示 191
複数探索 61
踏切案内 44
プリセット選局 81, 95
プリセットメモリー 95
プレイリスト 98
分岐案内頻度 44
ページ送り 98
別ルート 61
ヘディングアップ 48
ボイスコマンド 152
方位マーク 38, 48
放送局一覧 94
方面看板 35
方面看板の表示 193
保留 138
本体情報 137

ま行

マップ 45
マップコード 40, 59, 225
マニュアル設定 91
右画面に地図表示 191
右画面表示 49, 129
右画面用地図設定 191
道幅優先 44
ミュート 18, 138, 144
名称 56
名称の文字サイズ 191
メイン画面用地図設定 191
メニューカスタマイズ 28
目安線 187
メンテナンス情報 158
モード切換 117, 118, 119
目的地追加 63
目的地方向直線表示 41
目的地方向を表示 193
目的地マーク 41
目的地メニュー 27, 54
文字サイズ 45
文字入力 214
文字表示型(レベル1) 78

や行

ユーザーカスタマイズ 25, 38
ユーザー情報設定 88, 94
ユーザープリセット設定 91
郵便番号 59, 88
有料道 45
有料道路優先 44
曜日時間規制探索 67, 69
予想進路線 185

ら行

ラジオ 95
ランダム 101, 102, 103, 106, 116
ランチャーメニュー 42
ランドマーク 38, 51
リアル3D表示 36, 193
リジューム 98
リスト 118
リターン 99
リダイヤル 139
立体ランドマーク 38
リバース 20
リピート 101, 102, 103, 106, 116, 121
利用開始 15
履歴 56
ルート 44, 55
ルート学習 44, 66
ルート学習結果の初期化 197
ルート削除 55
ルート情報 35, 49
ルート情報の表示 193
ルートの全表示 61, 192
ルート編集 63
ルート保存 65
ローカルアップデート 112
ロードサービス 160, 161
録音 104
録音設定 104
録音データ初期化 111
録画 176

数字・記号・アルファベット

3D 48
3D視角調整 48, 191
5ルート 51
10キー 99
+B電圧 20
AAC 116
AUDIO OFF 87
AUDIO ON 87
Audio画面中の案内割込み 193
AUDIO情報を表示 192
BLUETOOTH 130, 132, 226
BLUETOOTH Audio 103
CarAV remote 144
Drive T@lker 149
DSP 124
DVD-Video 98
DVD-VR 98
DVD言語コード 227
ETC2.0 165
ETC2.0アップリンク 165, 195
ETC2.0自動音声再生 195
ETC2.0受信音 195
ETC2.0設定 195
ETC2.0ユニット 21
ETC2.0割込み 195
ETC音声ガイド 167
ETC管理情報 166
ETCシステム 164
ETCユニット 21
ETC履歴 166
ETCレーン案内 37
ETCレーンの表示 192
EWS 89
EWS(緊急情報)の割込み 193
FADE/BALANCE 122
FLAC 116
FM/AM 95
GPS受信状態 38
GPS情報 17
Gracenote 112, 113, 125
HDMI 190
iPod 21, 120
iPod抜き忘れ案内 31, 196
JCTビューの表示 192
LAUNCHER 40, 42
MAPCODEを表示 192
MEMORY MUSIC 106
MP3 102, 116
NaviCon® 142
SA・PA入口案内 37
SA/PAマーク 53
SDカード情報 111
SDカードの初期化 173, 197
SDメモリーカード 218
TILT 19
TVアンテナ設定 196
TVの初期化 197
USB 21
USBメモリー 218
VICS 78
VICS WIDE 45
VICS案内 69, 193
VICS考慮 44, 67
VICS自動再探索 69, 194
VICS情報マーク 53
VICSタイムスタンプ 38, 52
WAV 116
WMA 102, 116

商標などについて

- 本機はMicrosoft® Windows® Automotiveで動作します。
- Microsoft, Windows, Windows Automotive and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Audio及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- "DVD Logo" は、DVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- MHLは、米国およびその他の国におけるMHL, LLCの商標または登録商標です。その他のすべての商標および登録商標は、米国およびその他の国におけるそれぞれの所有者に帰属します。
- "ゼンリン" および "ZENRIN" は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- "タウンページ" は、日本電信電話株式会社の商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- NaviConは株式会社デンソーの登録商標です。
- AndroidはGoogle LLCの商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して（以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ）を記録すること。
  - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, and iPod nano trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。
(1)パナソニック株式会社(「パナソニック」)により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
(2)パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
(3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
(4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(「LGPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
(5)GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL: http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
LGPL: http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。
これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。
http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03
GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。
商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。
パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。
ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。
Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地
パナソニック株式会社 オートモーティブ社 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

http://car.panasonic.jp/oss/b01qhs03

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含む様々なオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

・RSA Data Security' s MD5 License
RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved. License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software. Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

・Independent JPEG Group's License
This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

・Apache License 2.0
This software includes Google Protocol Buffers. You may obtain a copy of the License at "http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0". Please be noted that a portion of this software is made by changing or modifying original source files.

・OpenSSL License
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

・TOPPERS/JSP Kernel
Toyohashi Open Platform for Embedded Real-Time Systems/
Just Standard Profile Kernel

Copyright (C) 2000-2003 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
Toyohashi Univ. of Technology, JAPAN
Copyright (C) 2005, 2006 by Embedded and Real-Time Systems Laboratory
Graduate School of Information Science, Nagoya Univ., JAPAN

上記著作権者は, 以下の(1)-(4)の条件か, Free Software Foundation によって公表されている GNU General Public License の Version 2 に記述されている条件を満たす場合に限り, 本ソフトウェア(本ソフトウェアを改変したものを含む. 以下同じ)を使用・複製・改変・再配布(以下, 利用と呼ぶ)することを無償で許諾する.
(1) 本ソフトウェアをソースコードの形で利用する場合には, 上記の著作権表示, この利用条件および下記の無保証規定が, そのままの形でソースコード中に含まれていること.
(2) 本ソフトウェアを, ライブラリ形式など, 他のソフトウェア開発に使用できる形で再配布する場合には, 再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に, 上記の著作権表示, この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること.
(3) 本ソフトウェアを, 機器に組み込むなど, 他のソフトウェア開発に使用できない形で再配布する場合には, 次のいずれかの条件を満たすこと.
(a) 再配布に伴うドキュメント(利用者マニュアルなど)に, 上記の著作権表示, この利用条件および下記の無保証規定を掲載すること.
(b) 再配布の形態を, 別に定める方法によって, TOPPERSプロジェクトに報告すること.
(4) 本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じるいかなる損害からも, 上記著作権者およびTOPPERSプロジェクトを免責すること.

本ソフトウェアは, 無保証で提供されているものである. 上記著作権者およびTOPPERSプロジェクトは, 本ソフトウェアに関して, その適用可能性も含めて, いかなる保証も行わない. また, 本ソフトウェアの利用により直接的または間接的に生じたいかなる損害に関しても, その責任を負わない.

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。
https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html

■Gracenoteについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のWebサイトwww.gracenote.com をご覧ください。

- Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。
- Gracenote、Gracenoteロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴ、CDDB、MusicID は、米国およびその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

仕　様

	NSZN-Y71DS	NSZN-Y71D	NSZN-X71D	NSZN-W71D
電源				
電源電圧	DC12 V (試験電圧 14.4 V)マイナスアース			
消費電流	2.5 A 以下 (AUDIO OFF時)			2.0 A 以下 (AUDIO OFF時)
液晶ディスプレイ				
画面寸法(幅×高さ×対角)	9V型ワイド 199 ㎜×112 ㎜×228 ㎜		8V型ワイド 175 ㎜×105 ㎜×204 ㎜	7V型ワイド 157 ㎜×82 ㎜×177 ㎜
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)			
画素数	2 764 800画素(縦720×横1 280×3)		1 152 000画素 (縦480×横800×3)	
有効画素数	99.99 %			
表示方式	透過型カラーフィルター方式			
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式			
使用光源	内部光 (LED)			
タッチパネル	静電方式			抵抗感圧式 アナログタイプ (フィルム+ガラス)
アンプ				
定格出力	18 W×4			
最大出力	50 W×4			
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4～8 Ω 使用可能)			
接続端子				
カメラ入力レベル	映像:NTSC　1.0 Vp-p (75 Ω)			
ビデオ出力レベル	—		映像:NTSC　1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)	
HDMI入力	・HDMI端子:1系統(19ピン typeE端子) ・映 像 信 号:720p, 1080i, 480p (16:9、4:3) Field Rate: 59.94 Hz, 60 Hz ・音 声 信 号:リニアPCM (最大2ch、サンプリング周波数32 kHz/44.1 kHz/48 kHz)			
HDMI出力	・HDMI端子:1系統 (19ピン typeE端子) ・映 像 信 号:480p, 720p ・音 声 信 号:リニアPCM		—	
ナビゲーションユニット				
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	249 ㎜×134 ㎜×191 ㎜ (取付奥行き寸法158.5 ㎜)	236 ㎜×134 ㎜×177 ㎜ (取付奥行き寸法161 ㎜)	203 ㎜×130 ㎜×178 ㎜ (取付奥行き寸法165.5 ㎜)	206 ㎜×104 ㎜×176 ㎜ (取付奥行き寸法161 ㎜)
質量	約2.8 kg	約2.8 kg	約2.6 kg	約2.3 kg
動作温度	−10 ℃～+60 ℃			
DVDプレーヤー				
信号方式	Y=1.0 Vp-p　Cb=Cr=0.7 Vp-p(内部) HDMI方式(出力)		Y=1.0 Vp-p　Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部) NTSC方式　1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性 DVD	5 Hz～22 kHz			
周波数特性 CD	5 Hz～20 kHz			
信号対雑音比(SN比)	90 dB (IHF、A)			
ワウ・フラッター	測定限界以下			
MP3 デコーダー ビットレート MPEG 1	64 kbps～320 kbps			
MP3 デコーダー ビットレート MPEG 2	64 kbps～160 kbps			
MP3 デコーダー サンプリング周波数 MPEG 1	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz			
MP3 デコーダー サンプリング周波数 MPEG 2	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz			

	NSZN-Y71DS	NSZN-Y71D	NSZN-X71D	NSZN-W71D
FMチューナー				
受信周波数	76.0 MHz～99.0 MHz			
実用感度(SN比、30 dB)	15 dBμV以下			
SN比(入力54 dBμV)	50 dB以上			
ステレオ分離度(入力60 dBμV)	35 dB			
AMチューナー				
受信周波数	522 kHz～1 629 kHz			
実用感度(SN比、20 dB)	37 dBμV			
地上デジタルTVチューナー				
受信可能放送	地上デジタル放送(ワンセグ対応)			
受信周波数	470 MHz～710 MHz (13ch～52ch)			
入力信号レベル	−75 dBm～−20 dBm			
入力インピーダンス	50 Ω			
iPod/USB中継ケーブル接続端子				
通信方式	USB			
出力電圧	5 V　2 100 mA			
BLUETOOTH				
通信周波数	2 402 MHz～2 480 MHz			
パワークラス	Class 2			
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散			

● 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

- **本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。**
- **寸法・質量はおおよその数値です。**
- **イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。**
- **画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。**
- **URLは、予告なく変更になることがあります。**

アフターサービスについて

1．**保証書（別に添付しています。）**
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
万一、故障が発生したときは、保証書の内容に従って、お買い上げの販売店で修理させていただきます。おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

2．**補修用性能部品の最低保有期間**
このSDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。
アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無償地図更新サービスのご案内

サービスのご提供方法を次のどちらか（Ⓐ または Ⓑ）1つ選択のうえ、お申し込みください。

Ⓐ Webダウンロード更新（最大5年間利用可能）　Web申込 のみ

お客様ご自身で地図データのダウンロード更新を最大5年間ご利用いただけます。

- **利用可能期間：**本製品の利用開始日から5年間（お申し込み日から5年間ではありません）
- **データ提供期間：**2020年12月（予定）～2026年12月（予定）
  - **・部分地図更新：**最大5年間可能（道路データは2カ月毎更新、索引データ、逆走データは4カ月毎更新）
  - **・全地図更新：**期間中2回可能（地図の全データは年1回更新）
- **お申込み方法**
  下記サイトよりダウンロードした地図更新アプリ経由で、ナビcafeにユーザー登録してください。
  お申し込みが遅くなるとご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。
  https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html
- **登録受付期間**
  Webダウンロード更新の利用可能期間内（本製品利用開始日より5年間）

※対応OSはWindowsのみです。地図更新の利用方法の詳細はP.162をご確認ください。

Ⓑ SDメモリーカードの送付（2024年度版1回のみ）　ハガキ申込 または Web申込

2024年度版地図データを格納したSDメモリーカードを、パナソニック株式会社から、ご登録済の住所へ郵送いたします。（発送時期：2023年10月頃より順次発送　最終発送2024年2月予定　※お申し込み順での発送）

- **お申込み方法**
  本製品に同梱されているハガキに必要事項を記入のうえ送付してください。
  - ・必要事項がすべて記入されていなかったり、シリアルNo.ラベル（本書の入ったポリ袋に添付されています）が貼られていないと、本サービスを受けることができませんのでご注意ください。
  - ・Webサイトでのお申し込みも可能です。下記サイトよりダウンロードした地図更新アプリ経由で、ナビcafeにユーザー登録してください。

  https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html
- **登録受付期間**
  ハガキ、Webとも2022年11月30日まで（ハガキは当日消印有効）
  - ・登録受付期間を過ぎますと、本サービスを受けることができませんのでご注意ください。

■ご注意

本サービスはⒶまたはⒷのどちらか1つしか選択できません。お申し込み後は変更できません。
Ⓑを選択した場合は、Ⓐの地図更新サービス（部分地図更新/全地図更新）を受けることができません。
重複してお申し込みされた場合は先に登録が完了したサービスを優先いたします。
その際お客様にはご連絡いたしませんのでご了承ください。

■ご連絡先変更時のお願い

パナソニック株式会社　オートモーティブ社 お客様ご相談センター
0120-50-8729　※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
上記電話番号がご利用できない場合
045-929-0511　※ご利用の際の通話料金はお客様のご負担となります。

個人情報のお取り扱いについて
以下の「個人情報のお取り扱いについて」をご確認いただき、同意したうえでハガキを送付してください。
（必要事項記入欄の下にあるチェック欄にチェックしてください。）
（1）会社名および個人情報保護管理者
パナソニック株式会社　オートモーティブ社
インフォテインメントシステムズ事業部　市販・用品ビジネスユニット長
（2）個人情報の利用目的
お客様の個人情報は無償地図更新サービス対応のみに利用させていただきます。またアンケートは今後の商品作りへ反映させるために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
（3）個人情報の第三者提供について
委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。
（4）個人情報の取扱いの委託について
取得した個人情報につきましては、地図データの発送業務およびダウンロードシステムへのユーザー登録業務において、委託する場合があります。
（5）開示対象個人情報の開示等および問い合わせ窓口について
ご本人からの求めにより、当社が保有する開示対象個人情報の、利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および提供の停止（「開示等」といいます。）に応じます。開示等に応じる窓口は下記となります。
パナソニック株式会社　オートモーティブ社　お客様ご相談センター
（電話番号につきましては、上記の「ご連絡先変更時のお願い」をご覧ください。）